

Iwate Medical University Educational Data Book 2020



岩手医科大学教学IRデータ集

目次

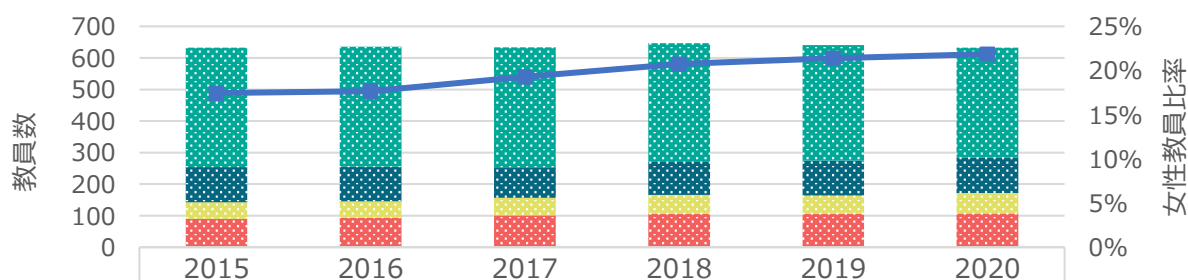
1. 教職員・学生数等	
1-1 教員数推移	1
1-2 在学生数推移	4
1-3 収容定員充足率推移、S/T比推移	8
2. 志願者数・入学状況	
2-1 志願者数、志願倍率推移	9
2-2 志願状況学外比較	13
2-3 入学者年齢推移	18
2-4 入学者男女比推移	22
2-5 入学者出身校地域別推移	24
3. 在学時状況	
3-1 ストレート進級率推移	29
3-2 留年者・退学者・休学者数推移	31
3-3 標準年限超過者数推移	35
3-4 奨学金等受給者・受給率推移	36
3-5 学修支援アンケート集計結果経年推移	38
4. 卒業時状況	
4-1 年度別卒業者数・卒業率推移	63
4-2 就職者・就職率および大学院進学者・進学率推移	65
4-3 国家試験合格率推移	67
4-4 卒後直近の進路状況	68

○本データ集の対象期間は2015年度～2020年度の6年間です。一部対象期間以外のデータについても掲載しています。

○グラフ中の西暦はすべて年度を表しています。また、データの算定根拠となる数値は、原則として各年度の5月1日時点での値となります。

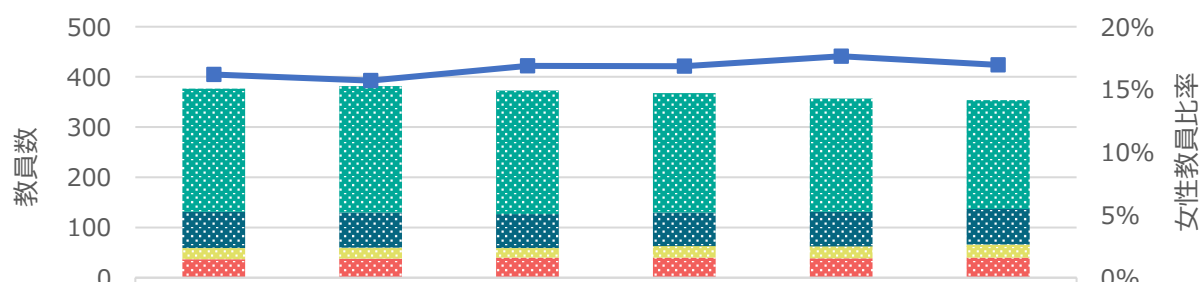
○3-2「留年者・退学者・休学者数推移」、4「卒業時状況」は、表示年度の3月31日時点の値となります。

教員数推移_大学全体



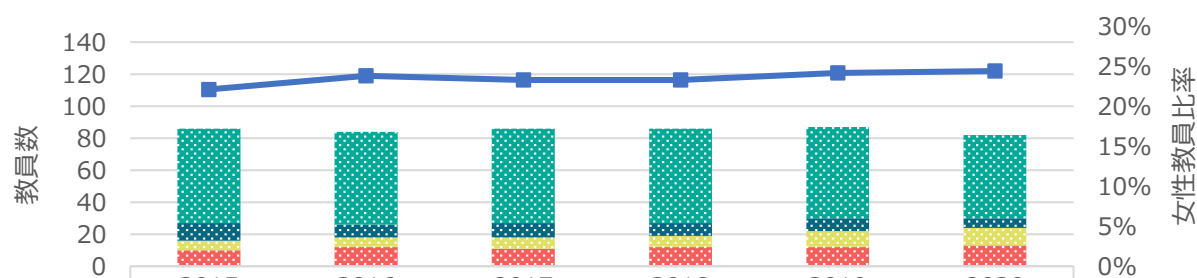
助教・助手	379	381	383	377	367	348
講師	111	109	94	104	110	113
准教授	53	53	56	60	58	65
教授	90	93	101	106	106	107
女性教員比率	17.5%	17.7%	19.3%	20.7%	21.4%	21.9%

医学教員数推移



助教・助手	246	252	246	238	226	217
講師	72	70	68	67	69	71
准教授	22	22	19	23	23	26
教授	37	38	40	40	39	40
女性教員比率	16.2%	15.7%	16.9%	16.8%	17.6%	16.9%

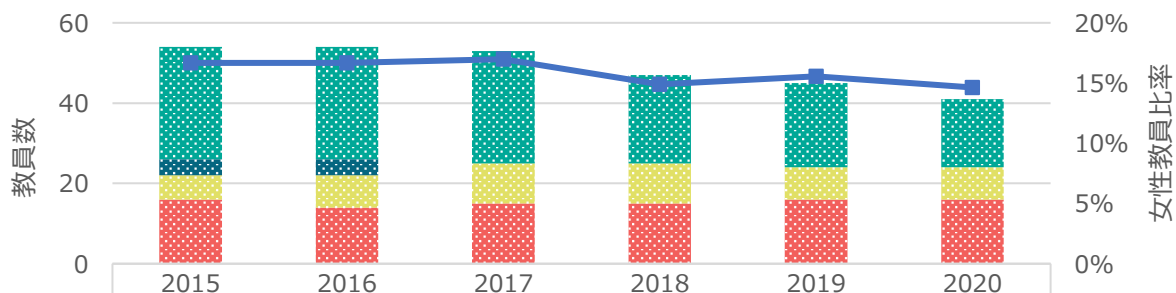
歯学部教員数推移



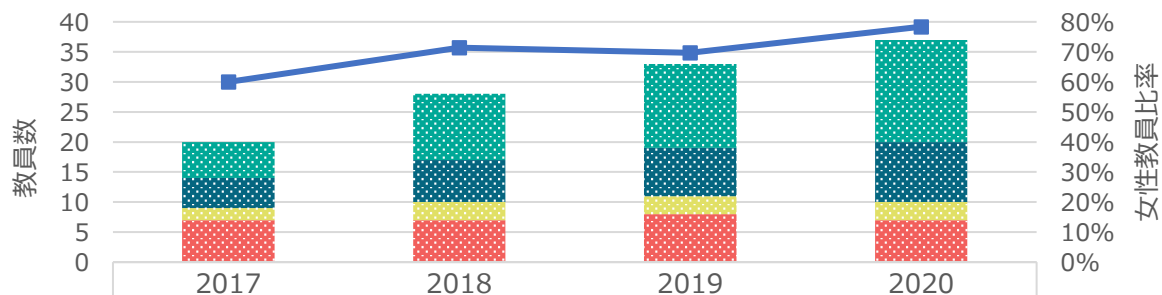
助教・助手	59	58	59	59	57	52
講師	11	8	9	8	8	6
准教授	6	6	7	7	10	11
教授	10	12	11	12	12	13
女性教員比率	22.1%	23.8%	23.3%	23.3%	24.1%	24.4%

教員数推移（つづき）

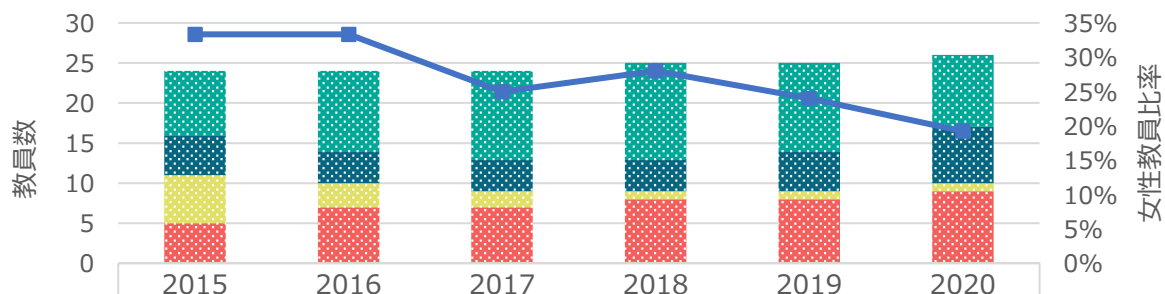
薬学部教員数推移



看護学部教員数推移 ※2017新設

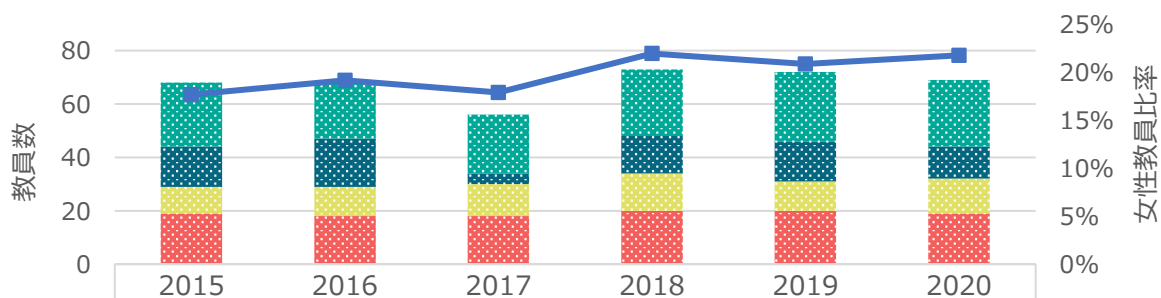


教養教育センター教員数推移

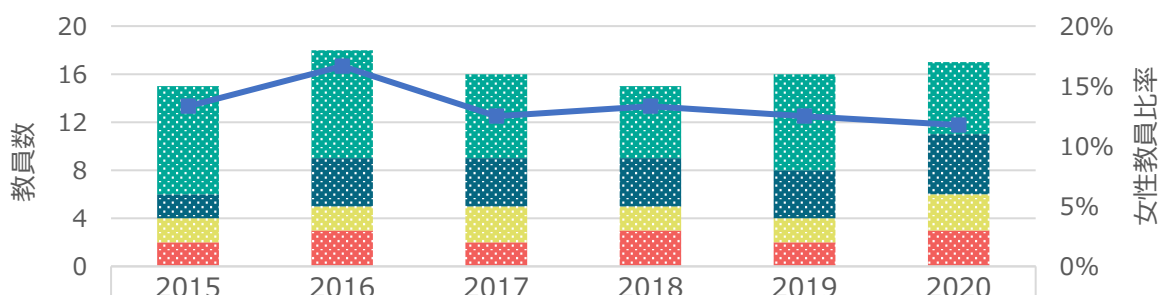


教員数推移（つづき）

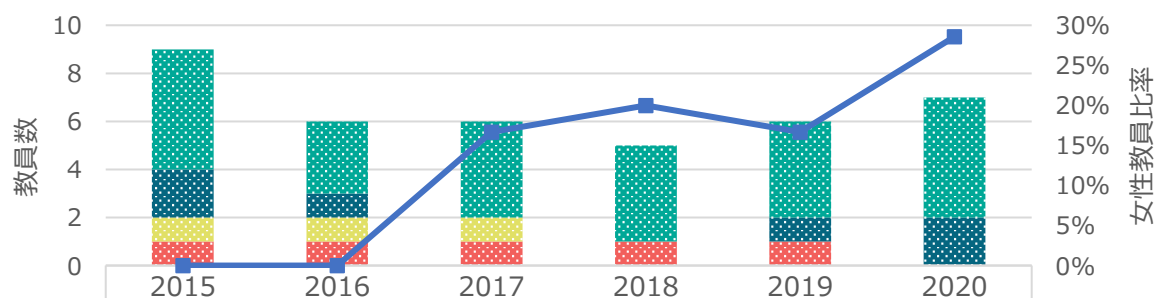
統合基礎講座教員数推移



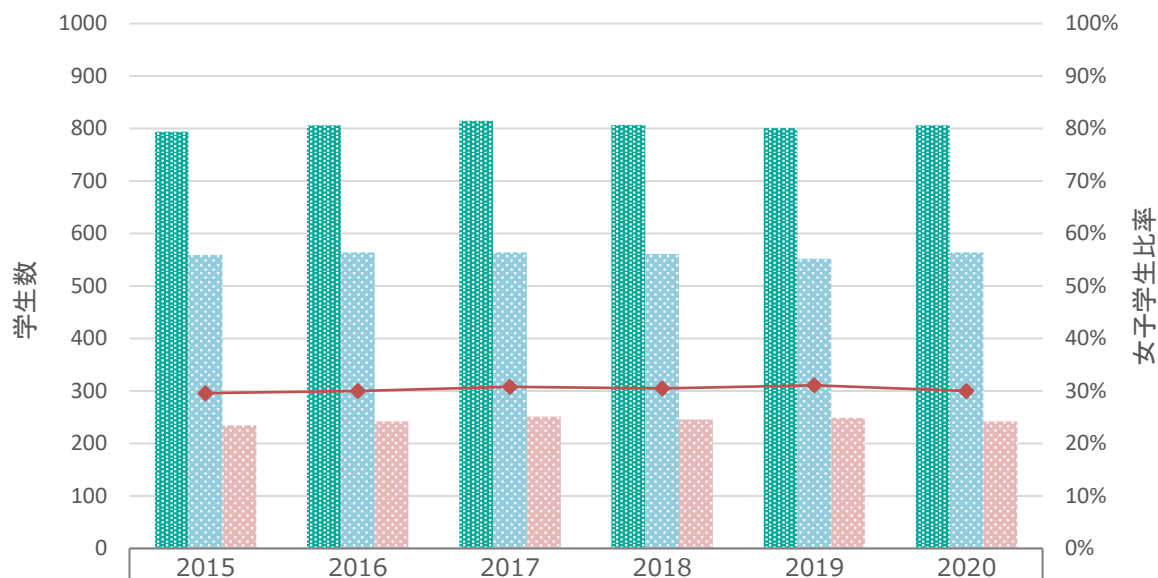
医歯薬総合研究所教員数推移



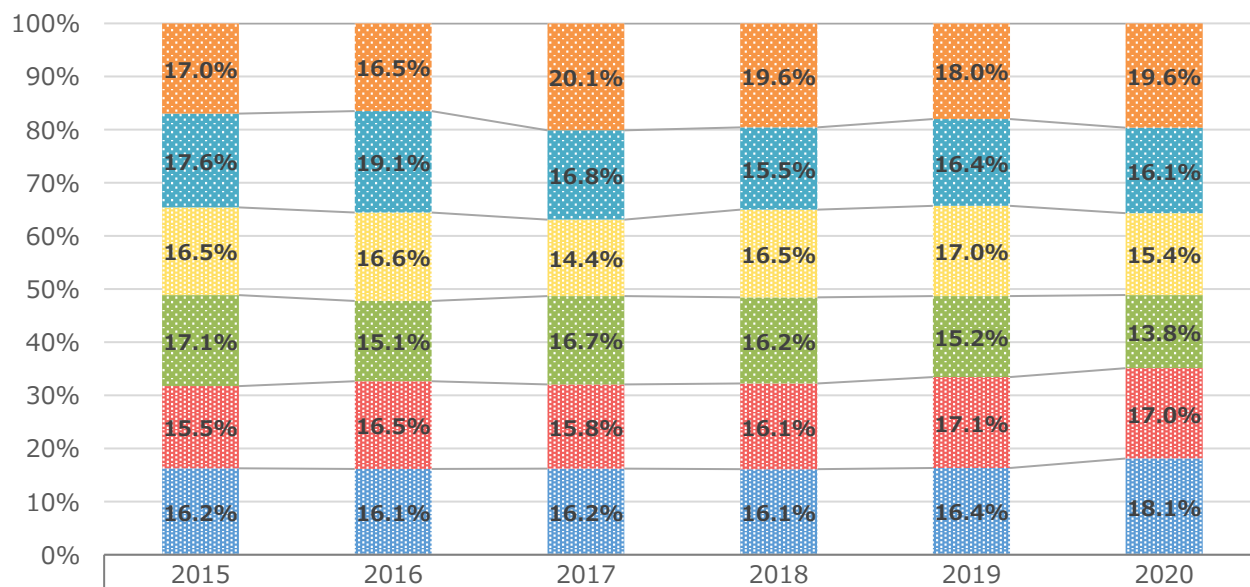
災害復興事業本部教員推移



在学生数推移_医学部



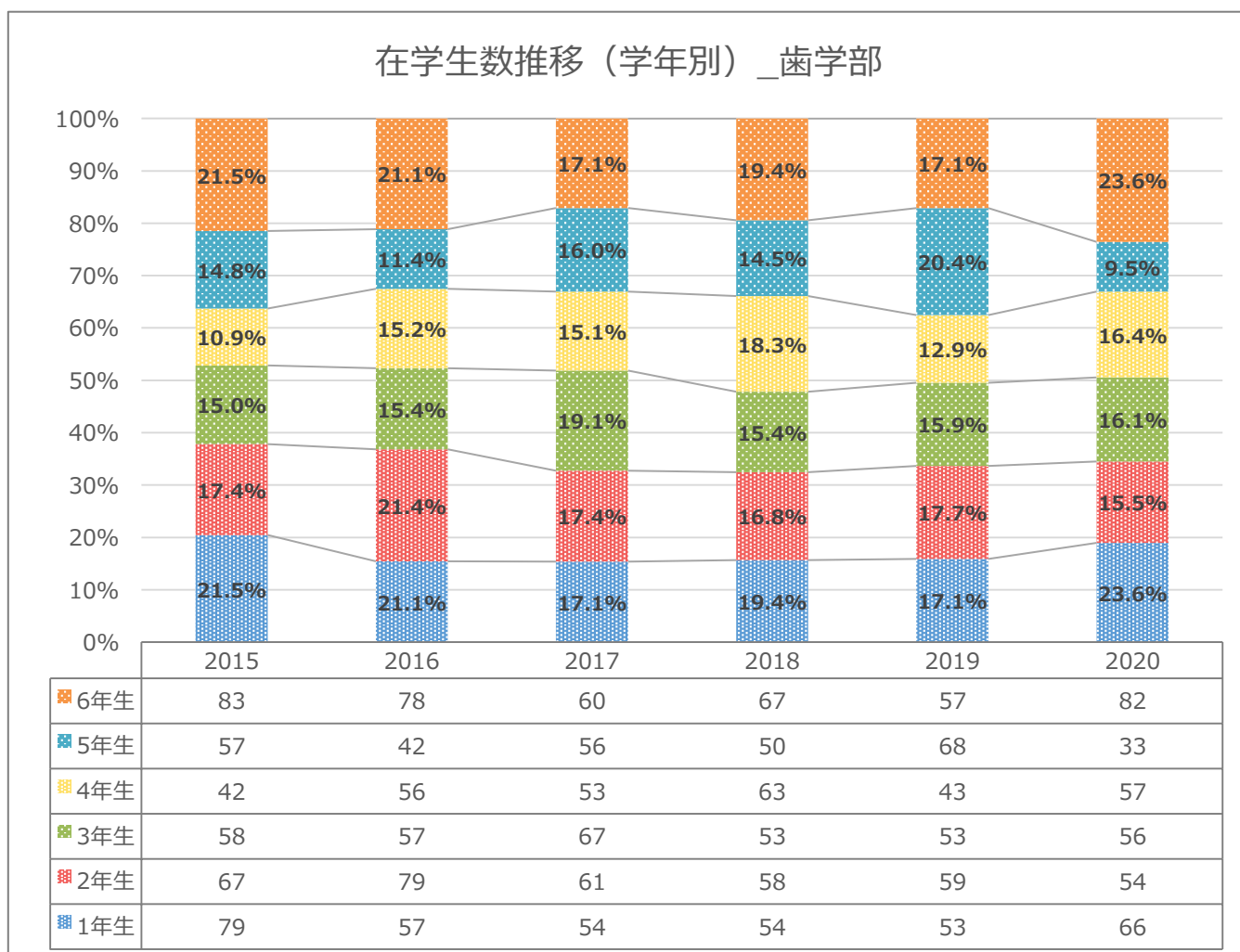
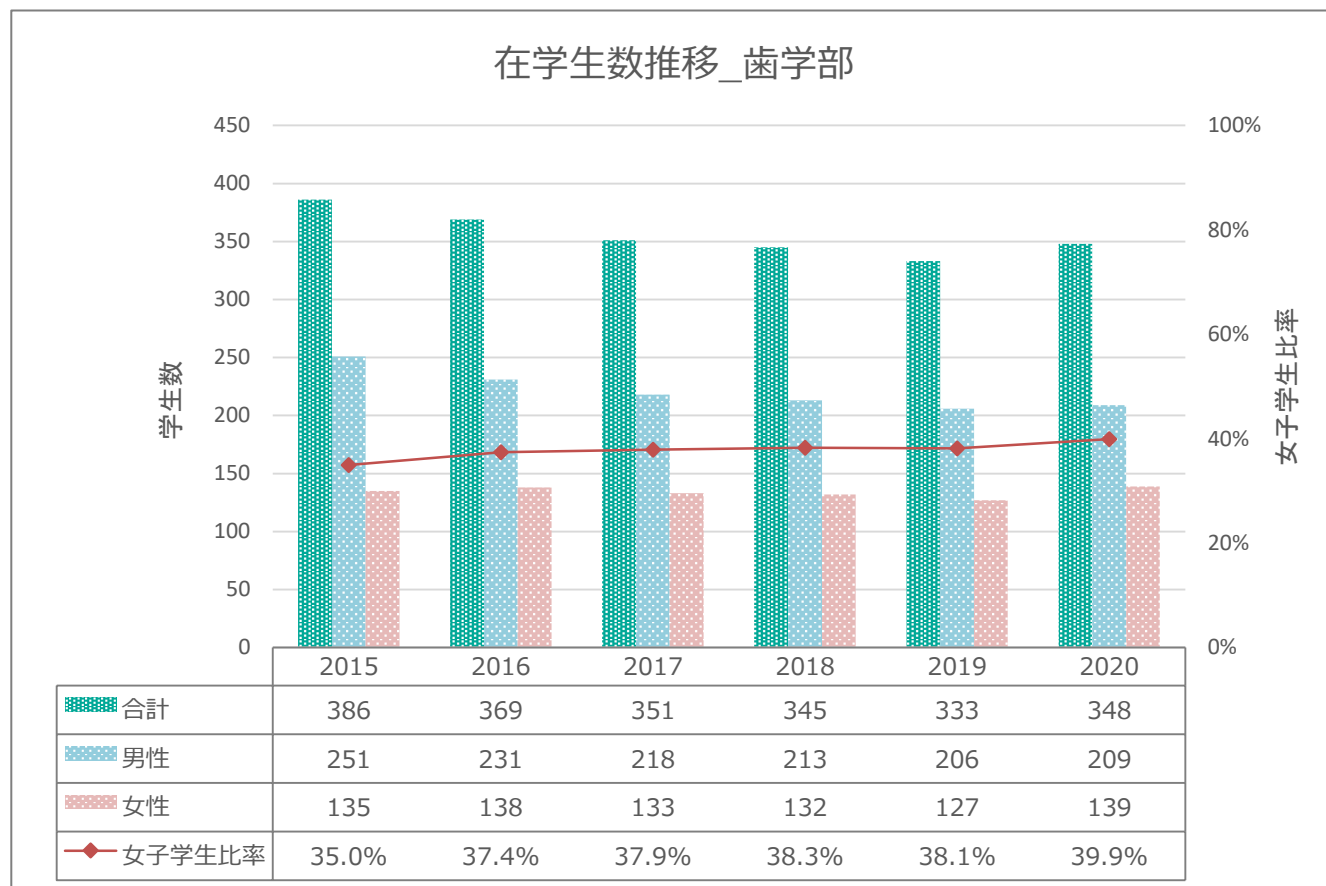
在学生数推移（学年別）_医学部



	2015	2016	2017	2018	2019	2020
6年生	135	133	164	158	144	158
5年生	140	154	137	125	131	130
4年生	131	134	117	133	136	124
3年生	136	122	136	131	122	111
2年生	123	133	129	130	137	137
1年生	129	130	132	130	131	146

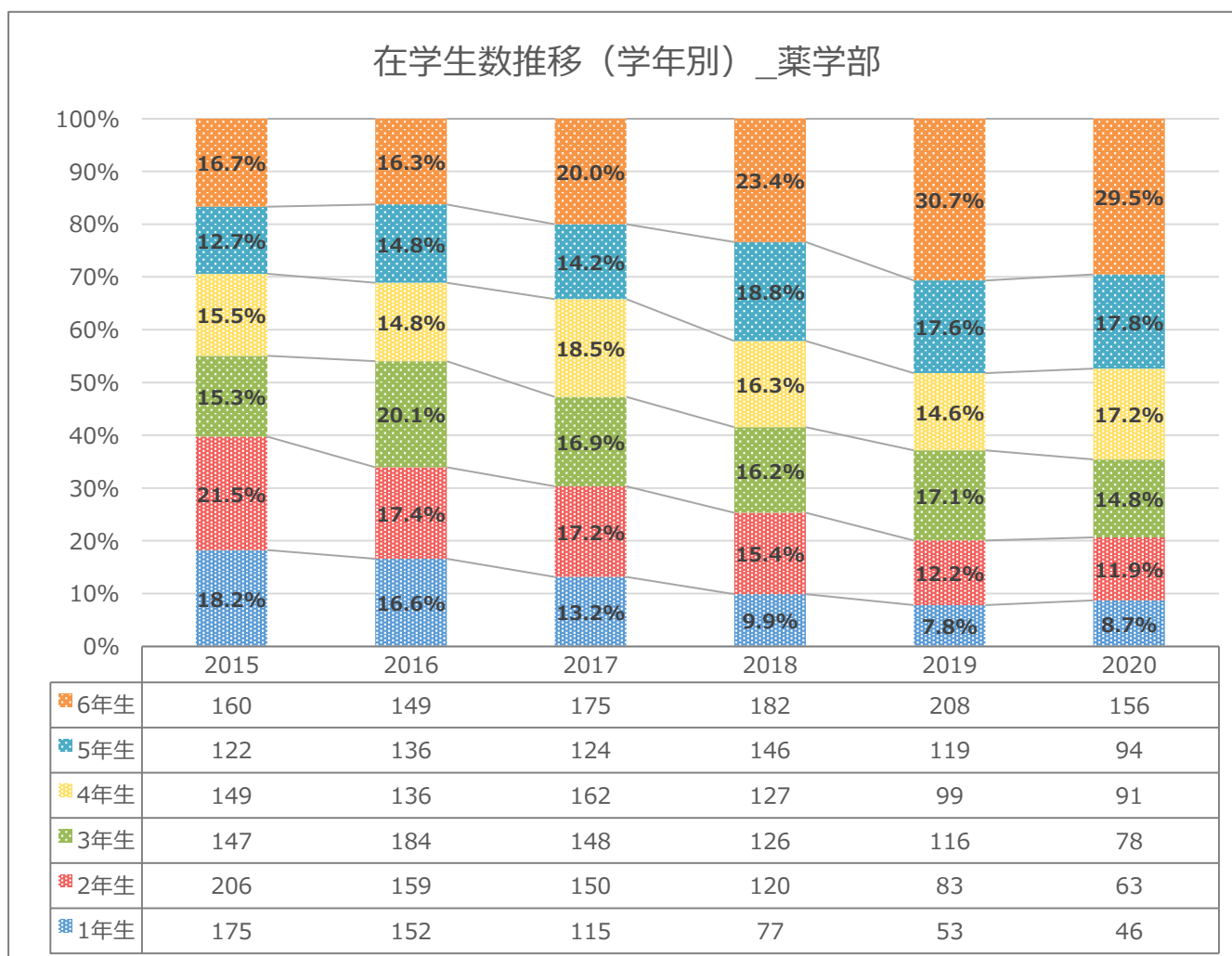
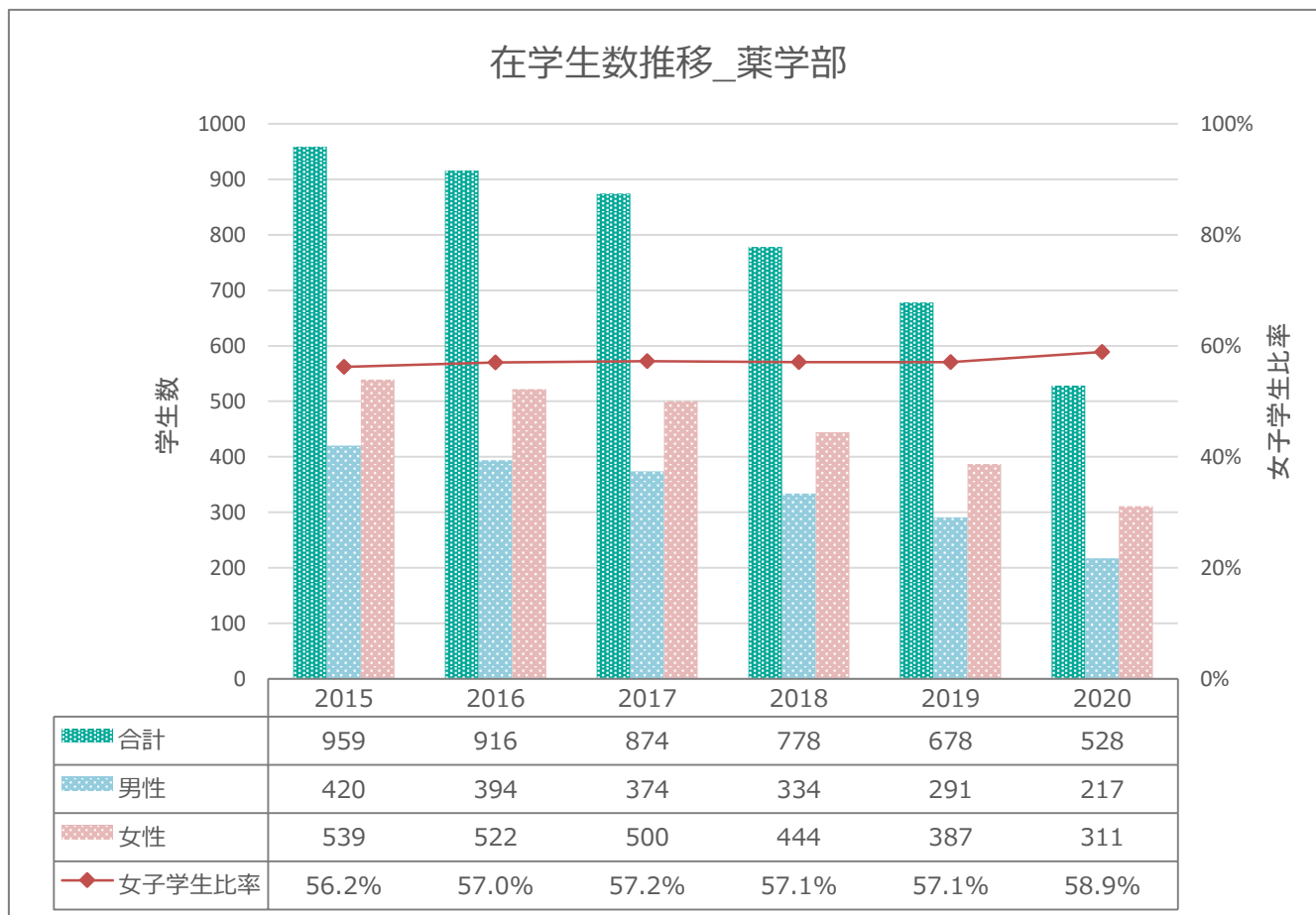
※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

在学生数推移（つづき）



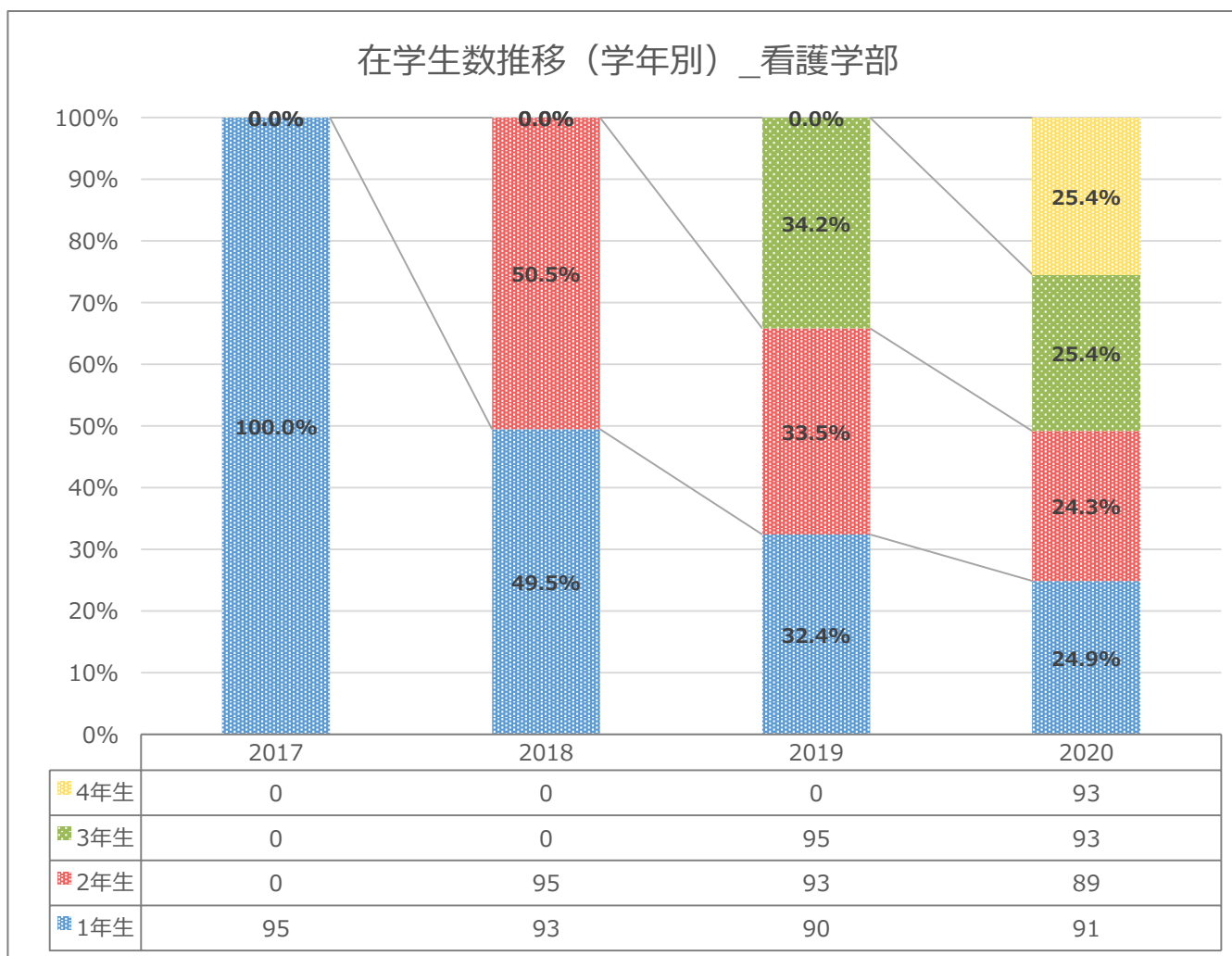
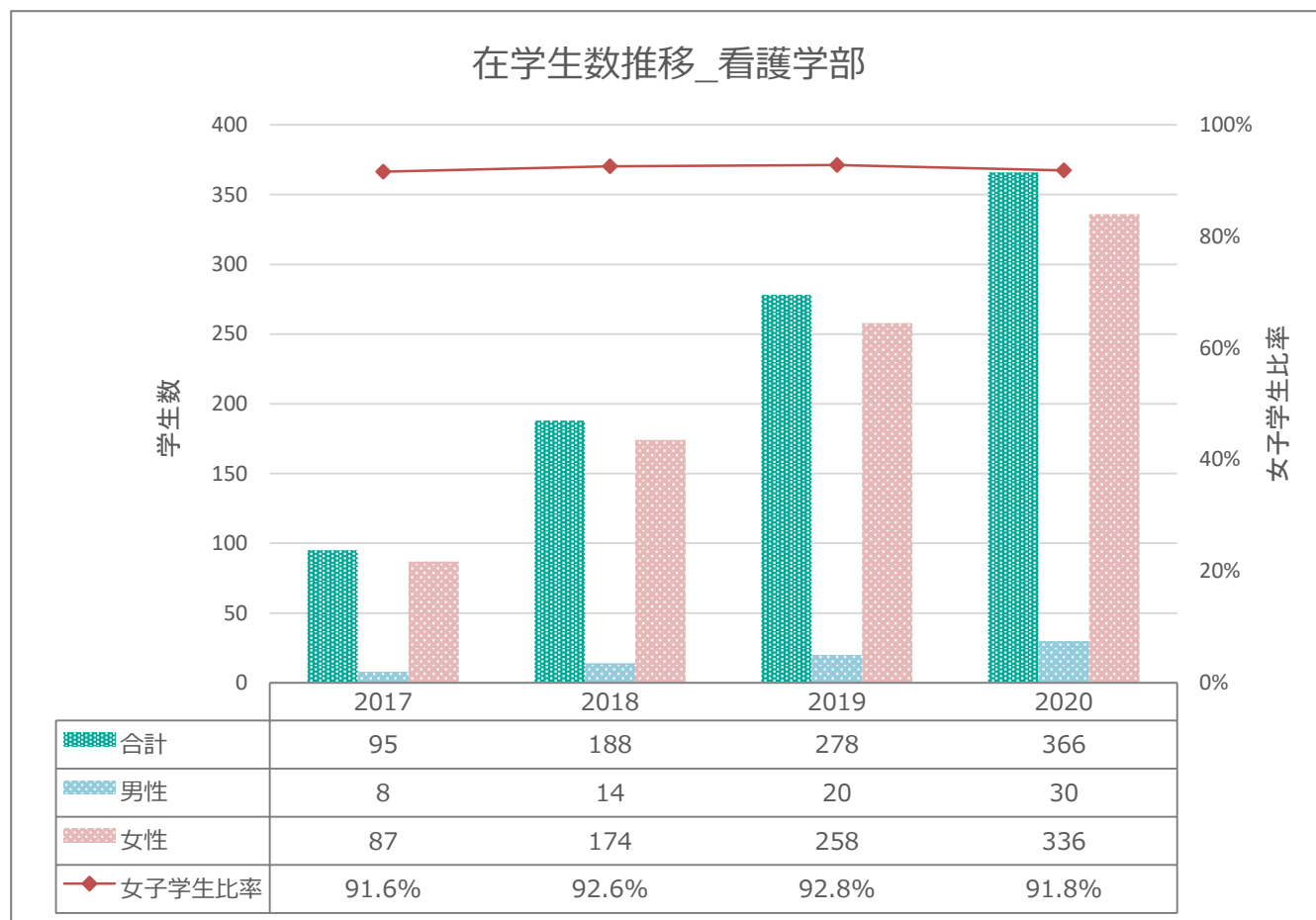
※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

在学生数推移（つづき）



※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

在学生数推移（つづき）

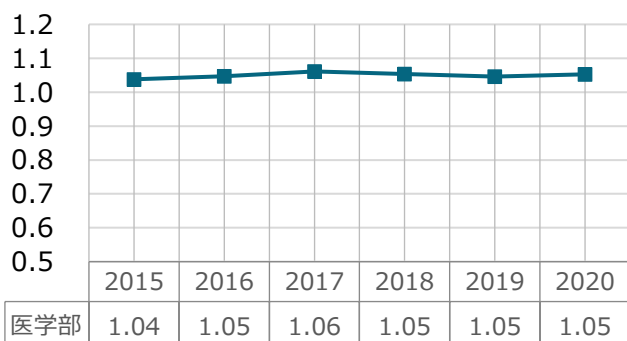


※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

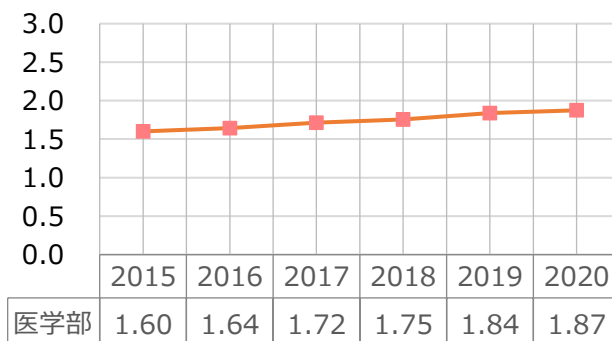
定員充足率：大学が学則において定める、各年度の収容定員をどの程度満たしているかを図る指標

S/T比：Student-Teacher比、教員1人あたりが受け持つ学生数を示す指標

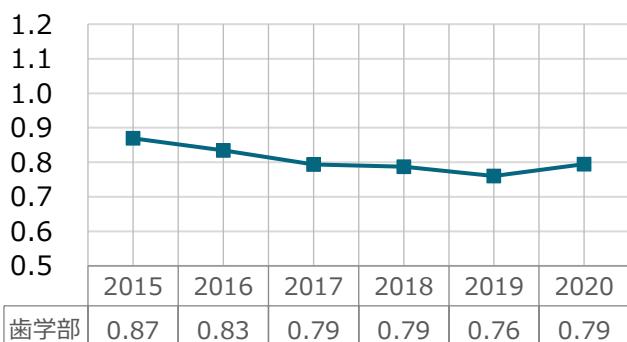
定員充足率推移_医学部



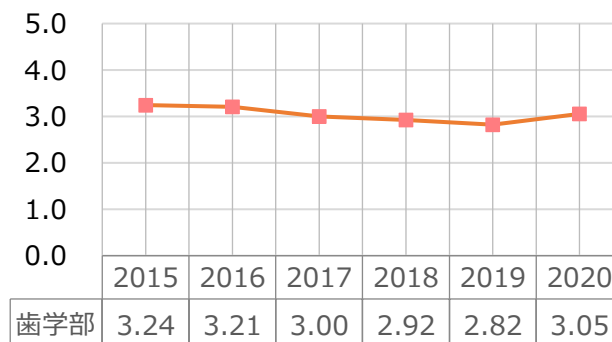
S/T比推移_医学部



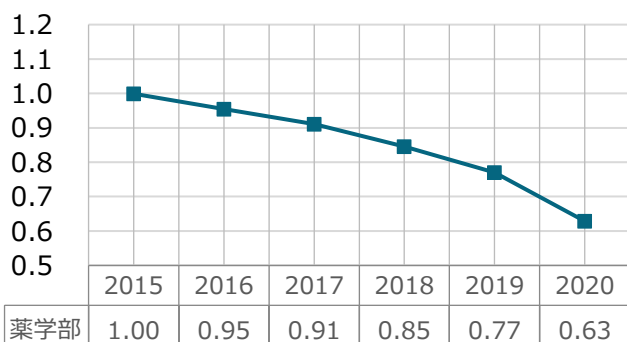
定員充足率推移_歯学部



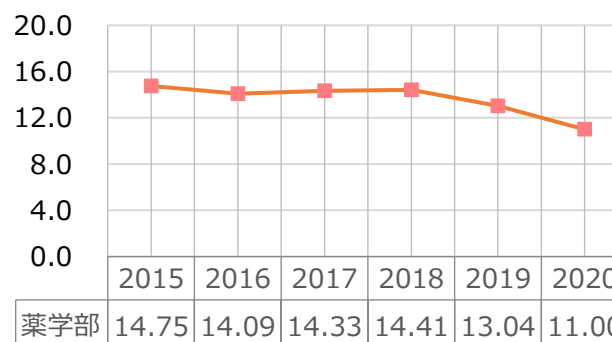
S/T比推移_歯学部



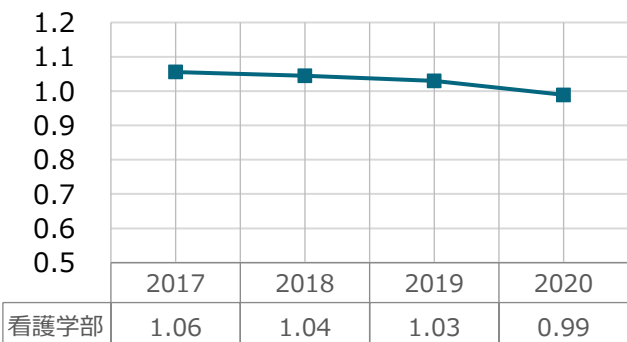
定員充足率推移_薬学部



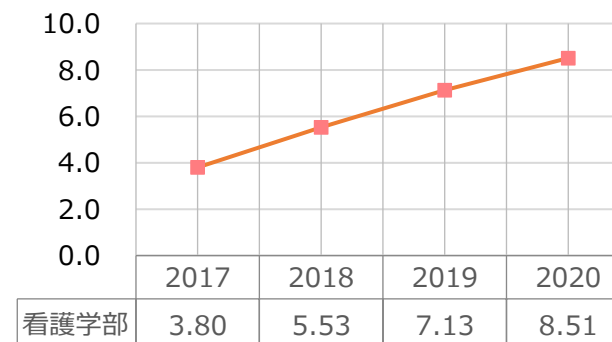
S/T比推移_薬学部



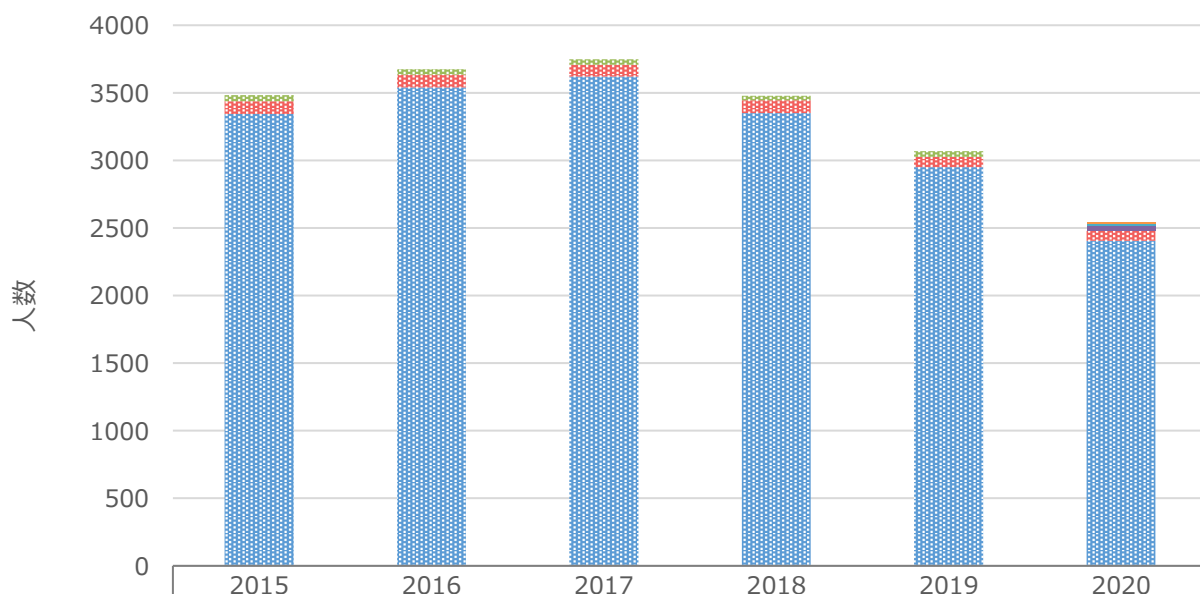
定員充足率推移_看護学部



S/T比推移_看護学部

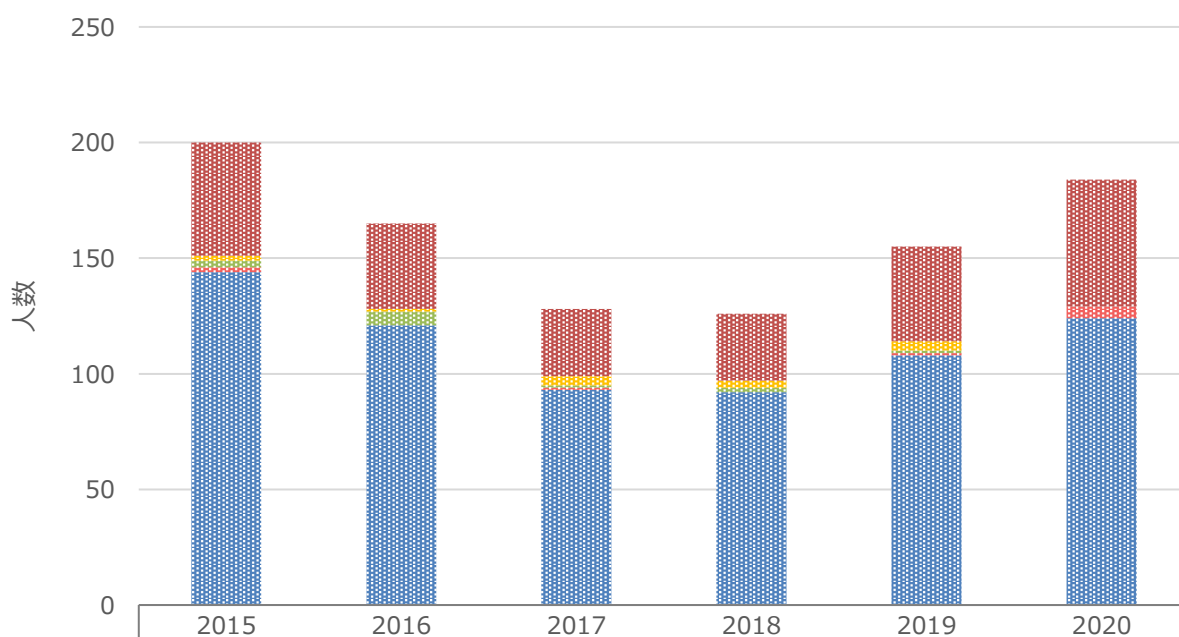


医学部志願者推移



地域枠特別入試C						14
地域枠特別推薦入試B						21
地域枠特別推薦入試A						34
地域枠特別推薦入試	47	40	41	33	43	
一般推薦入試	93	95	86	94	75	73
一般入試	3344	3540	3621	3350	2951	2406

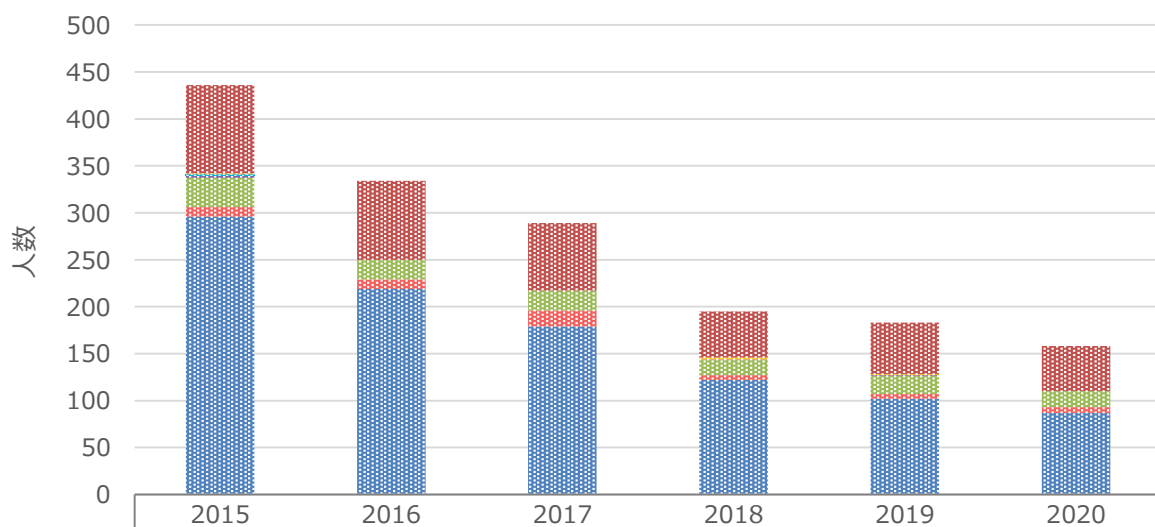
歯学部志願者推移



センター試験利用入試	49	37	29	29	41	55
同窓生推薦入試	2	1	4	3	4	0
指定校推薦入試	3	6	1	2	1	0
一般推薦入試	2	0	1	0	1	5
一般入試	144	121	93	92	108	124

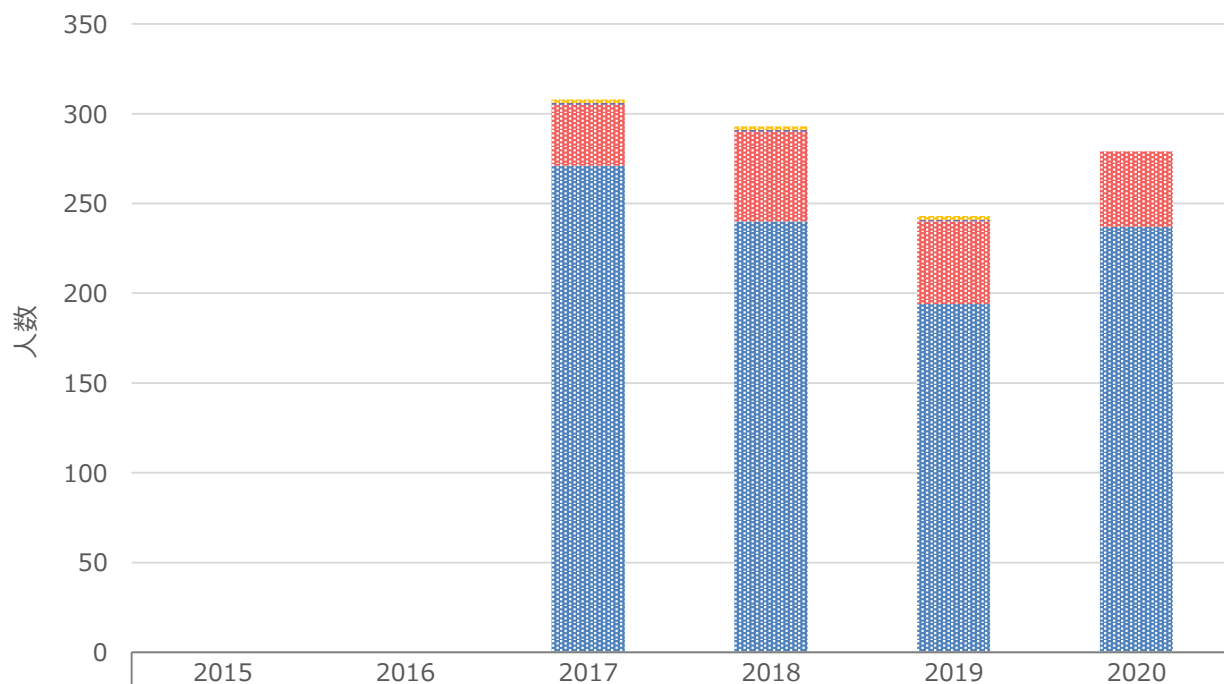
志願者数推移（つづき）

薬学部志願者推移



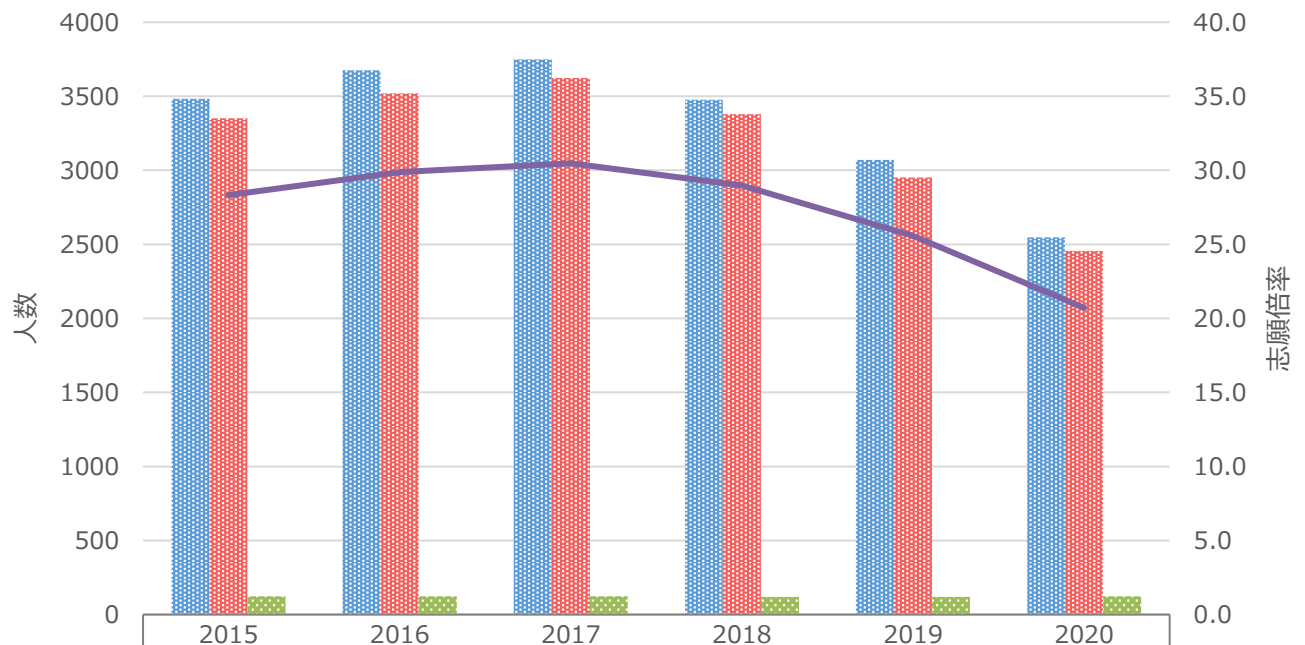
	2015	2016	2017	2018	2019	2020
センター試験利用入試	94	84	72	49	55	48
同窓生推薦入試	1	0	0	2	1	0
帰国子女特別推薦入試	1	0	0	0	0	0
社会人特別入試	3	0	0	1	1	0
指定校推薦入試	31	21	21	16	19	17
一般推薦入試	10	10	17	5	5	6
一般入試	296	219	179	122	102	87

看護学部志願者推移



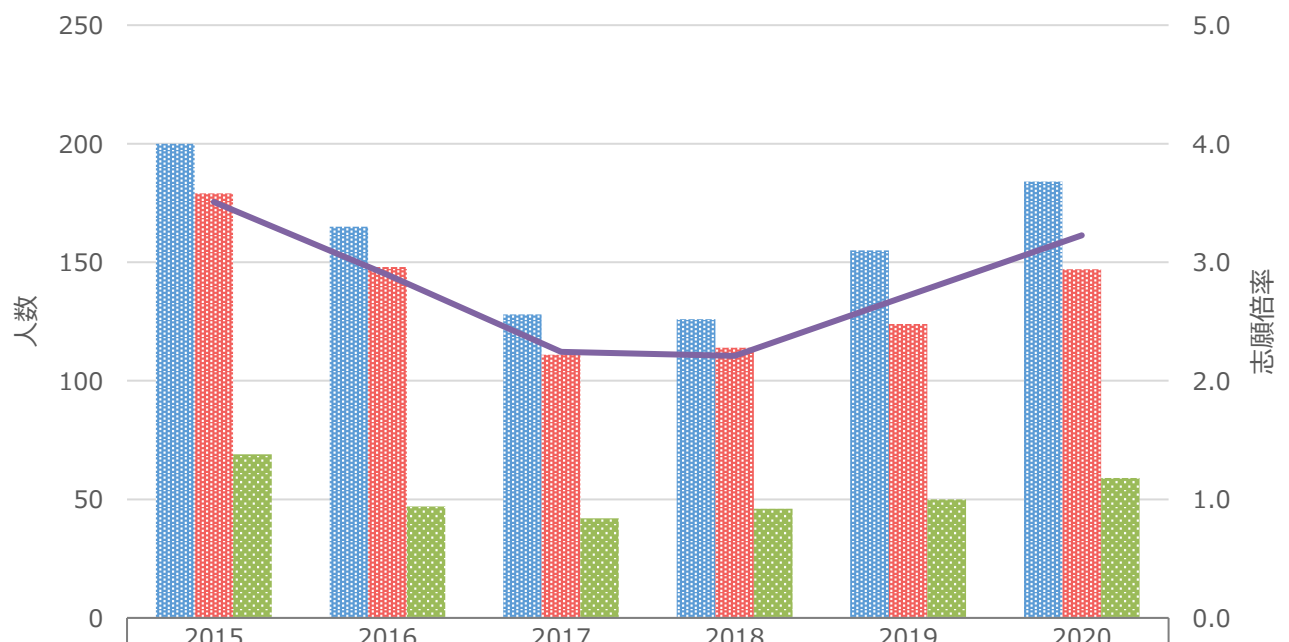
	2015	2016	2017	2018	2019	2020
同窓生推薦入試			2	2	2	0
社会人特別入試			1	1	1	0
一般推薦入試			34	50	46	42
一般入試			271	240	194	237

医学部



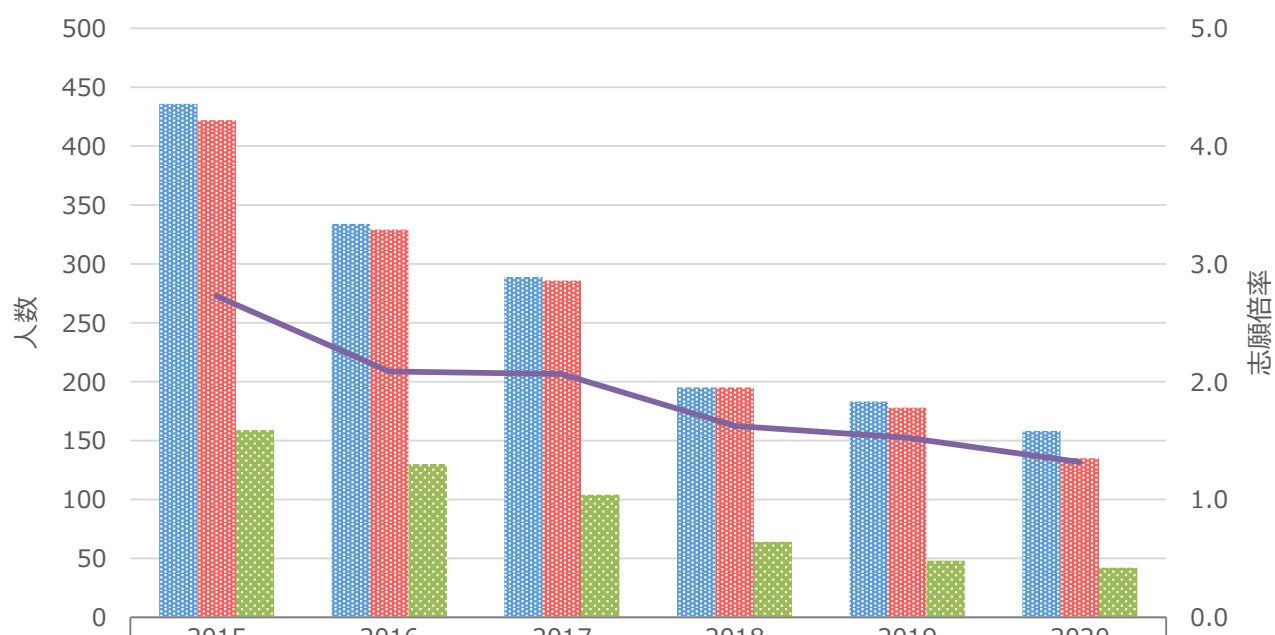
志願者数	3484	3675	3748	3477	3069	2548
受験者数	3351	3519	3623	3379	2952	2456
入学者数	123	123	123	120	120	123
志願倍率	28.3	29.9	30.5	29.0	25.6	20.7

歯学部



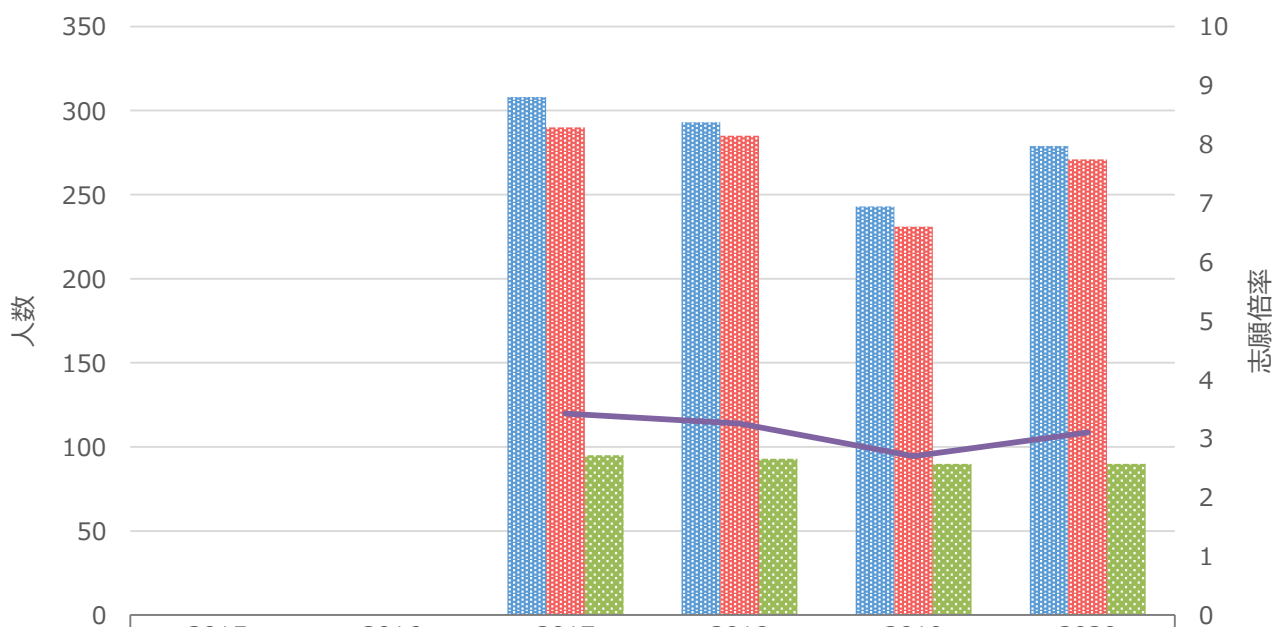
志願者数	200	165	128	126	155	184
受験者数	179	148	111	114	124	147
入学者数	69	47	42	46	50	59
志願倍率	3.5	2.9	2.2	2.2	2.7	3.2

薬学部



志願者数	436	334	289	195	183	158
受験者数	422	329	286	195	178	135
入学者数	159	130	104	64	48	42
志願倍率	2.7	2.1	2.1	1.6	1.5	1.3

看護学部



志願者数			308	293	243	279
受験者数			290	285	231	271
入学者数			95	93	90	90
志願倍率			3.4	3.3	2.7	3.1

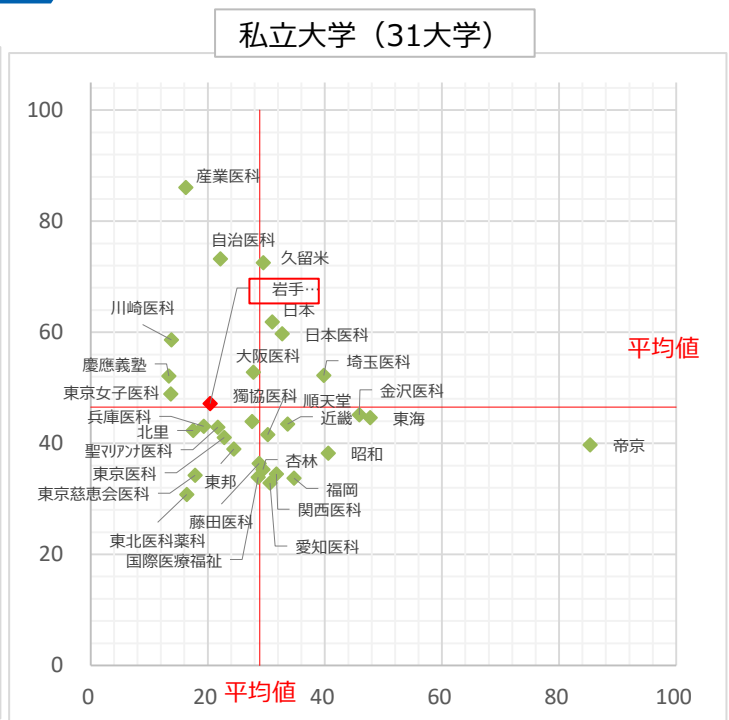
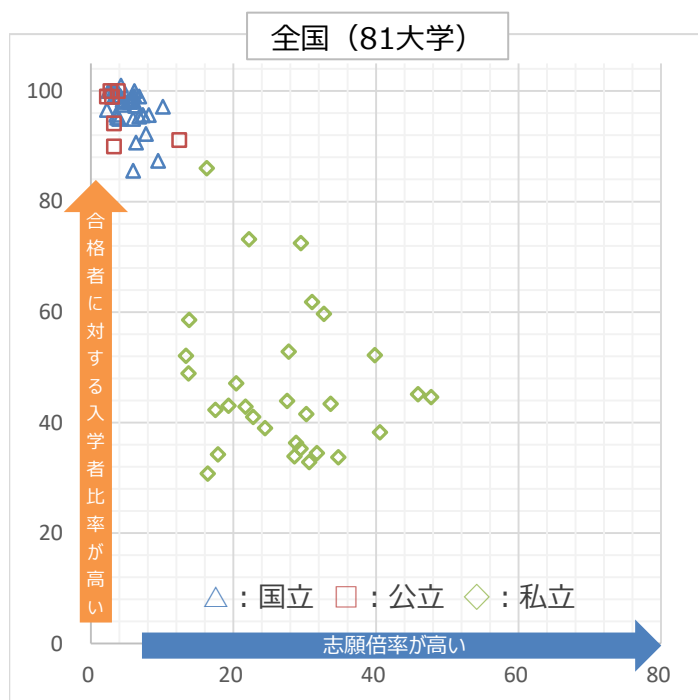
2-2-1 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_医学部

出典：文部科学省 医学教育課 令和元年度の各大学医学部医学科の入学状況等
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/1324090.htm

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
1	国立	北海道大学	102	377	351	102	102	3.7	100.0
2	国立	旭川医科大学	95	733	563	103	95	7.7	92.2
3	国立	弘前大学	112	443	381	119	113	4.0	95.0
4	国立	東北大学	116	517	406	121	118	4.5	97.5
5	国立	秋田大学	124	840	441	130	124	6.8	95.4
6	国立	山形大学	105	565	391	107	105	5.4	98.1
7	国立	筑波大学	134	476	446	140	134	3.6	95.7
8	国立	群馬大学	108	350	335	112	112	3.2	100.0
9	国立	千葉大学	117	740	378	129	117	6.3	90.7
10	国立	東京大学	100	423	338	100	101	4.2	101.0
11	国立	東京医科歯科大学	100	594	383	118	101	5.9	85.6
12	国立	新潟大学	122	490	419	123	122	4.0	99.2
13	国立	富山大学	105	616	384	106	105	5.9	99.1
14	国立	金沢大学	111	404	274	111	111	3.6	100.0
15	国立	福井大学	110	800	350	115	110	7.3	95.7
16	国立	山梨大学	125	1181	362	143	125	9.4	87.4
17	国立	信州大学	120	445	383	126	120	3.7	95.2
18	国立	岐阜大学	110	1111	526	107	104	10.1	97.2
19	国立	浜松医科大学	115	685	354	120	114	6.0	95.0
20	国立	名古屋大学	107	369	307	111	111	3.4	100.0
21	国立	三重大学	125	557	337	127	125	4.5	98.4
22	国立	滋賀医科大学	95	343	302	96	95	3.6	99.0
23	国立	京都大学	107	295	272	108	108	2.8	100.0
24	国立	大阪大学	100	330	316	101	100	3.3	99.0
25	国立	神戸大学	112	385	260	112	112	3.4	100.0
26	国立	鳥取大学	104	706	648	105	104	6.8	99.0
27	国立	島根大学	102	574	510	104	102	5.6	98.1
28	国立	岡山大学	112	464	411	111	110	4.1	99.1
29	国立	広島大学	118	545	489	120	118	4.6	98.3
30	国立	山口大学	107	653	450	108	107	6.1	99.1
31	国立	徳島大学	114	258	200	118	114	2.3	96.6
32	国立	香川大学	109	799	483	114	109	7.3	95.6
33	国立	愛媛大学	110	893	595	115	110	8.1	95.7
34	国立	高知大学	110	696	509	113	110	6.3	97.3
35	国立	九州大学	110	274	255	111	111	2.5	100.0
36	国立	佐賀大学	103	632	378	103	103	6.1	100.0
37	国立	長崎大学	120	380	348	120	120	3.2	100.0
38	国立	熊本大学	110	574	539	112	110	5.2	98.2
39	国立	大分大学	100	451	241	102	100	4.5	98.0
40	国立	宮崎大学	110	683	327	114	111	6.2	97.4
41	国立	鹿児島大学	110	643	387	112	110	5.8	98.2
42	国立	琉球大学	112	617	385	114	112	5.5	98.2
43	公立	札幌医科大学	110	414	355	110	110	3.8	100.0
44	公立	福島県立医科大学	130	420	345	137	129	3.2	94.2
45	公立	横浜市立大学	90	292	240	100	90	3.2	90.0
46	公立	名古屋市立大学	97	287	287	98	97	3.0	99.0
47	公立	京都府立医科大学	107	261	225	101	107	2.4	105.9
48	公立	大阪市立大学	95	262	210	95	95	2.8	100.0
49	公立	奈良県立医科大学	113	1403	699	124	113	12.4	91.1
50	公立	和歌山県立医科大学	100	225	178	101	100	2.3	99.0
51	私立	岩手医科大学	126	2571	2479	263	124	20.4	47.1
52	私立	東北医科薬科大学	100	1642	1582	325	100	16.4	30.8
53	私立	自治医科大学	123	2728	2634	168	123	22.2	73.2
54	私立	獨協医科大学	120	3305	3020	273	120	27.5	44.0
55	私立	埼玉医科大学	130	5179	4725	249	130	39.8	52.2
56	私立	国際医療福祉大学	140	4001	3882	413	140	28.6	33.9
57	私立	杏林大学	115	3385	3186	326	115	29.4	35.3
58	私立	慶應義塾大学	110	1467	1228	211	110	13.3	52.1

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
59	私立	順天堂大学	135	4082	3771	325	135	30.2	41.5
60	私立	昭和大学	109	4421	4099	285	109	40.6	38.2
61	私立	帝京大学	116	9897	9341	307	122	85.3	39.7
62	私立	東京医科大学	119	2713	2377	290	119	22.8	41.0
63	私立	東京慈恵会医科大学	110	1963	1800	321	110	17.8	34.3
64	私立	東京女子医科大学	110	1506	1478	227	111	13.7	48.9
65	私立	東邦大学	115	2810	2626	295	115	24.4	39.0
66	私立	日本大学	120	3722	2944	194	120	31.0	61.9
67	私立	日本医科大学	126	4118	3720	211	126	32.7	59.7
68	私立	北里大学	118	2064	1996	279	118	17.5	42.3
69	私立	聖マリア医科大学	115	2496	2134	268	115	21.7	42.9
70	私立	東海大学	103	4917	4446	233	104	47.7	44.6
71	私立	金沢医科大学	107	4911	4514	237	107	45.9	45.1
72	私立	愛知医科大学	115	3521	3454	356	117	30.6	32.9
73	私立	藤田医科大学	120	3455	3274	330	120	28.8	36.4
74	私立	大阪医科大学	112	3110	2724	212	112	27.8	52.8
75	私立	関西医科大学	127	4030	3830	371	128	31.7	34.5
76	私立	近畿大学	107	3599	3413	244	106	33.6	43.4
77	私立	兵庫医科大学	112	2165	2067	260	112	19.3	43.1
78	私立	川崎医科大学	124	1713	1657	215	126	13.8	58.6
79	私立	久留米大学	115	3387	3049	160	116	29.5	72.5
80	私立	産業医科大学	105	1708	1549	122	105	16.3	86.1
81	私立	福岡大学	110	3819	3598	326	110	34.7	33.7

入学者比率・志願倍率プロット_医学部

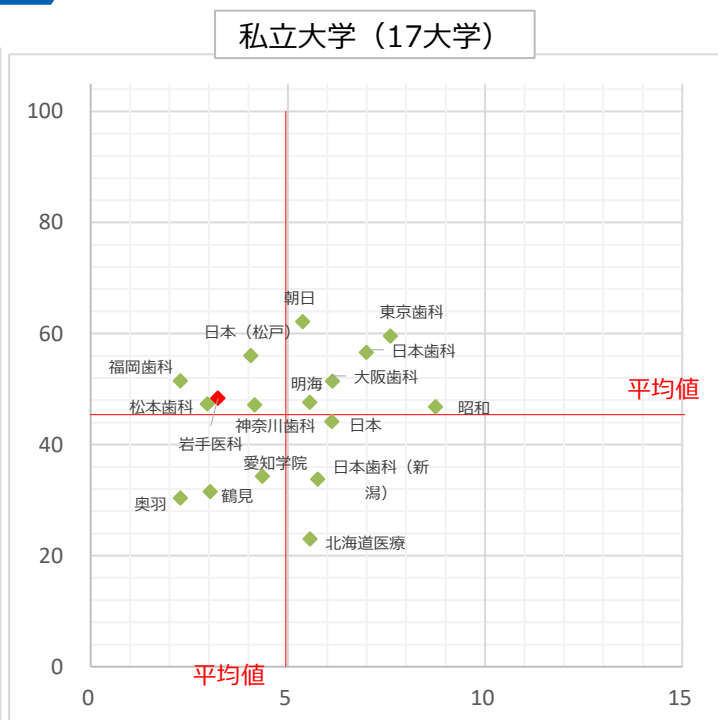
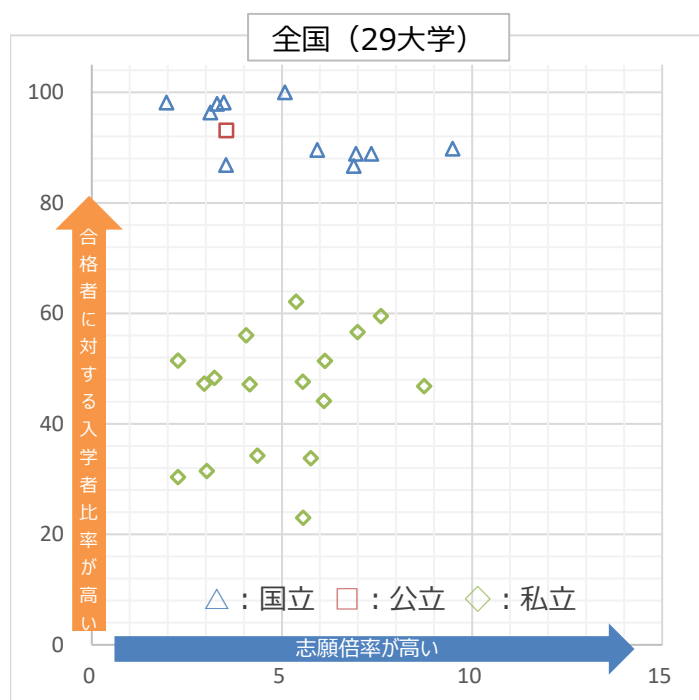


2-2-2 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_歯学

出典：文部科学省 医学教育課 令和元年度の各大学歯学部歯学科入学状況等
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1324090.htm

順位	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
1	国立	北海道大学	43	255	242	48	43	5.9	89.6
2	国立	東北大学	53	187	133	61	53	3.5	86.9
3	国立	東京医科歯科大学	53	365	175	60	52	6.9	86.7
4	国立	新潟大学	40	278	201	45	40	7.0	88.9
5	国立	大阪大学	53	104	101	54	53	2.0	98.1
6	国立	岡山大学	48	158	101	49	48	3.3	98.0
7	国立	広島大学	53	503	310	59	53	9.5	89.8
8	国立	徳島大学	40	294	183	45	40	7.4	88.9
9	国立	九州大学	53	165	138	55	53	3.1	96.4
10	国立	長崎大学	50	254	181	50	50	5.1	100.0
11	国立	鹿児島大学	53	184	126	54	53	3.5	98.1
12	公立	九州歯科大学	95	336	302	102	95	3.5	93.1
13	私立	北海道医療大学	80	445	431	339	78	5.6	23.0
14	私立	岩手医科大学	57	184	147	122	59	3.2	48.4
15	私立	奥羽大学	96	218	216	148	45	2.3	30.4
16	私立	明海大学	120	666	627	252	120	5.6	47.6
17	私立	東京歯科大学	128	973	846	215	128	7.6	59.5
18	私立	昭和大学	96	839	798	205	96	8.7	46.8
19	私立	日本大学	128	782	674	283	125	6.1	44.2
20	私立	日本大学(松戸歯学部)	115	467	389	207	116	4.1	56.0
21	私立	日本歯科大学	128	895	809	226	128	7.0	56.6
22	私立	日本歯科大学(新潟生)	70	403	372	222	75	5.8	33.8
23	私立	神奈川歯科大学	110	457	408	229	108	4.2	47.2
24	私立	鶴見大学	115	348	312	219	69	3.0	31.5
25	私立	松本歯科大学	96	284	259	205	97	3.0	47.3
26	私立	朝日大学	128	688	631	206	128	5.4	62.1
27	私立	愛知学院大学	125	544	455	353	121	4.4	34.3
28	私立	大阪歯科大学	128	785	761	249	128	6.1	51.4
29	私立	福岡歯科大学	96	218	199	171	88	2.3	51.5

入学者比率・志願倍率プロット_歯学部



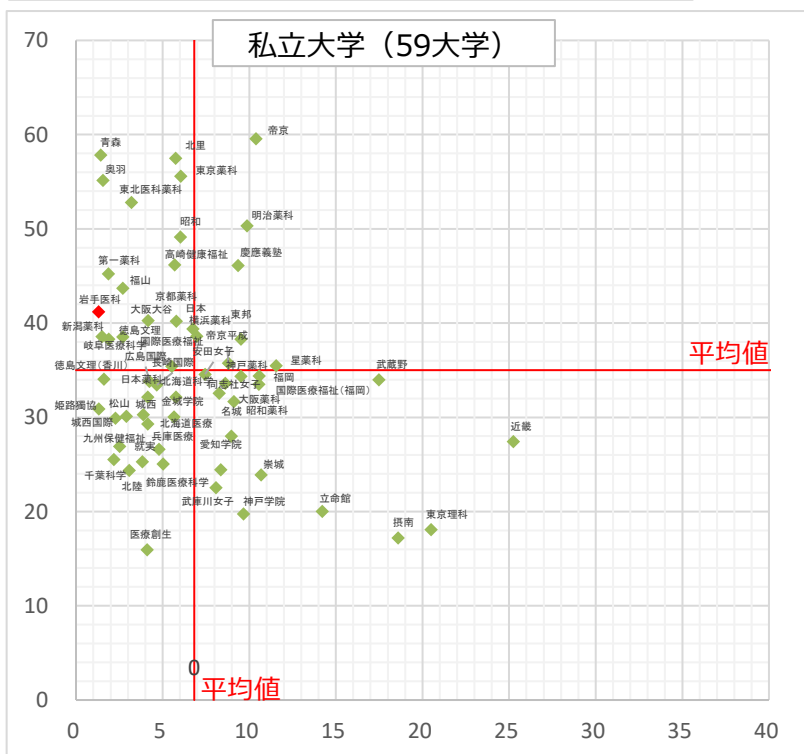
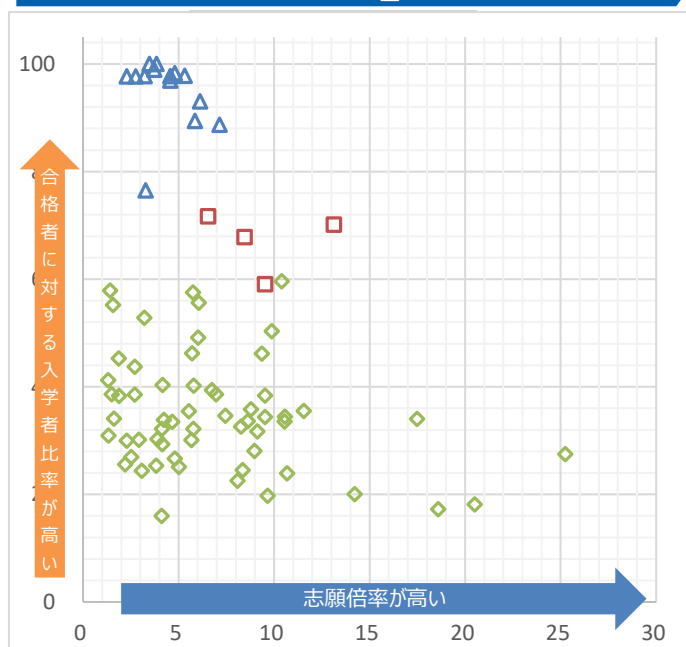
2-2-3 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_薬学部

出典：文部科学省 医学教育課 令和元年度の入学試験・6年制学科生の修学状況
http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/1361518.htm

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学率 (%)
1	国立	北海道大学	80	262	262	34	26	3.3	76.5
2	国立	東北大学	80	259	208	87	85	3.2	97.7
3	国立	千葉大学	90	528	403	104	93	5.9	89.4
4	国立	東京大学(理科Ⅱ類)	532	1982	1858	556	550	3.7	98.9
5	国立	富山大学	55	393	299	62	55	7.1	88.7
6	国立	金沢大学	75	207	189	85	83	2.8	97.6
7	国立	京都大学	80	184	179	86	84	2.3	97.7
8	国立	大阪大学	80	279	265	80	80	3.5	100.0
9	国立	岡山大学	40	183	139	44	43	4.6	97.7
10	国立	広島大学	38	146	130	40	40	3.8	100.0
11	国立	徳島大学	40	245	220	43	40	6.1	93.0
12	国立	九州大学	30	137	109	32	31	4.6	96.9
13	国立	長崎大学	40	213	119	45	44	5.3	97.8
14	国立	熊本大学	55	264	249	58	57	4.8	98.3
15	公立	岐阜薬科大学	120	1015	649	174	118	8.5	67.8
16	公立	静岡県立大学	80	524	332	113	81	6.6	71.7
17	公立	名古屋市立大学	60	788	444	87	61	13.1	70.1
18	公立	山口東京理科大学	120	1,143	665	205	121	9.5	59.0
19	私立	北海道医療大学	160	665	652	529	155	4.2	29.3
20	私立	北海道科学大学	180	1040	1002	622	200	5.8	32.2
21	私立	青森大学	70	100	99	83	48	1.4	57.8
22	私立	岩手医科大学	120	158	135	102	42	1.3	41.2
23	私立	東北医科薬科大学	300	965	878	608	321	3.2	52.8
24	私立	医療創生大学	90	370	344	307	49	4.1	16.0
25	私立	奥羽大学	140	219	217	145	80	1.6	55.2
26	私立	国際医療福祉大学	180	997	978	514	182	5.5	35.4
27	私立	国際医療福祉大学(福岡薬学部)	120	1267	1242	391	131	10.6	33.5
28	私立	高崎健康福祉大学	90	514	495	197	91	5.7	46.2
29	私立	城西大学	250	973	859	578	175	3.9	30.3
30	私立	日本薬科大学	260	1077	1022	728	234	4.1	32.1
31	私立	城西国際大学	130	297	288	254	76	2.3	29.9
32	私立	千葉科学大学	120	264	248	231	59	2.2	25.5
33	私立	帝京平成大学	240	2112	1957	551	197	8.8	35.8
34	私立	東京理科大学	100	2050	1894	575	104	20.5	18.1
35	私立	東邦大学	220	2096	1997	629	241	9.5	38.3
36	私立	日本大学	244	1648	1452	645	254	6.8	39.4
37	私立	北里大学	260	1497	1436	461	265	5.8	57.5
38	私立	慶應義塾大学	150	1404	1275	336	155	9.4	46.1
39	私立	昭和大学	200	1207	1162	407	200	6.0	49.1
40	私立	昭和薬科大学	240	2191	1877	830	263	9.1	31.7
41	私立	東京薬科大学	420	2546	2320	885	492	6.1	55.6
42	私立	星薬科大学	260	3005	2860	761	270	11.6	35.5
43	私立	武蔵野大学	160	2799	2589	409	139	17.5	34.0
44	私立	明治薬科大学	300	2962	2570	626	315	9.9	50.3
45	私立	帝京大学	320	3326	2981	611	364	10.4	59.6
46	私立	横浜薬科大学	340	2370	2214	961	371	7.0	38.6
47	私立	岐阜医療科学大学	100	271	261	205	79	2.7	38.5
48	私立	新潟薬科大学	180	341	330	282	108	1.9	38.3
49	私立	北陸大学	160	493	471	443	108	3.1	24.4
50	私立	愛知学院大学	145	1212	1108	589	144	8.4	24.4
51	私立	金城学院大学	150	851	826	469	141	5.7	30.1
52	私立	名城大学	265	2,380	2,183	1035	290	9.0	28.0
53	私立	鈴鹿医療科学大学	100	503	492	359	90	5.0	25.1
54	私立	京都薬科大学	360	2,085	2,041	938	377	5.8	40.2
55	私立	同志社女子大学	125	1,078	1,043	363	122	8.6	33.6
56	私立	立命館大学	100	1,422	1,355	504	101	14.2	20.0
57	私立	大阪大谷大学	140	583	537	350	141	4.2	40.3
58	私立	大阪薬科大学	294	2,431	2,271	958	312	8.3	32.6
59	私立	近畿大学	150	3,787	3,496	565	155	25.2	27.4
60	私立	摂南大学	220	4,092	3,546	1349	232	18.6	17.2

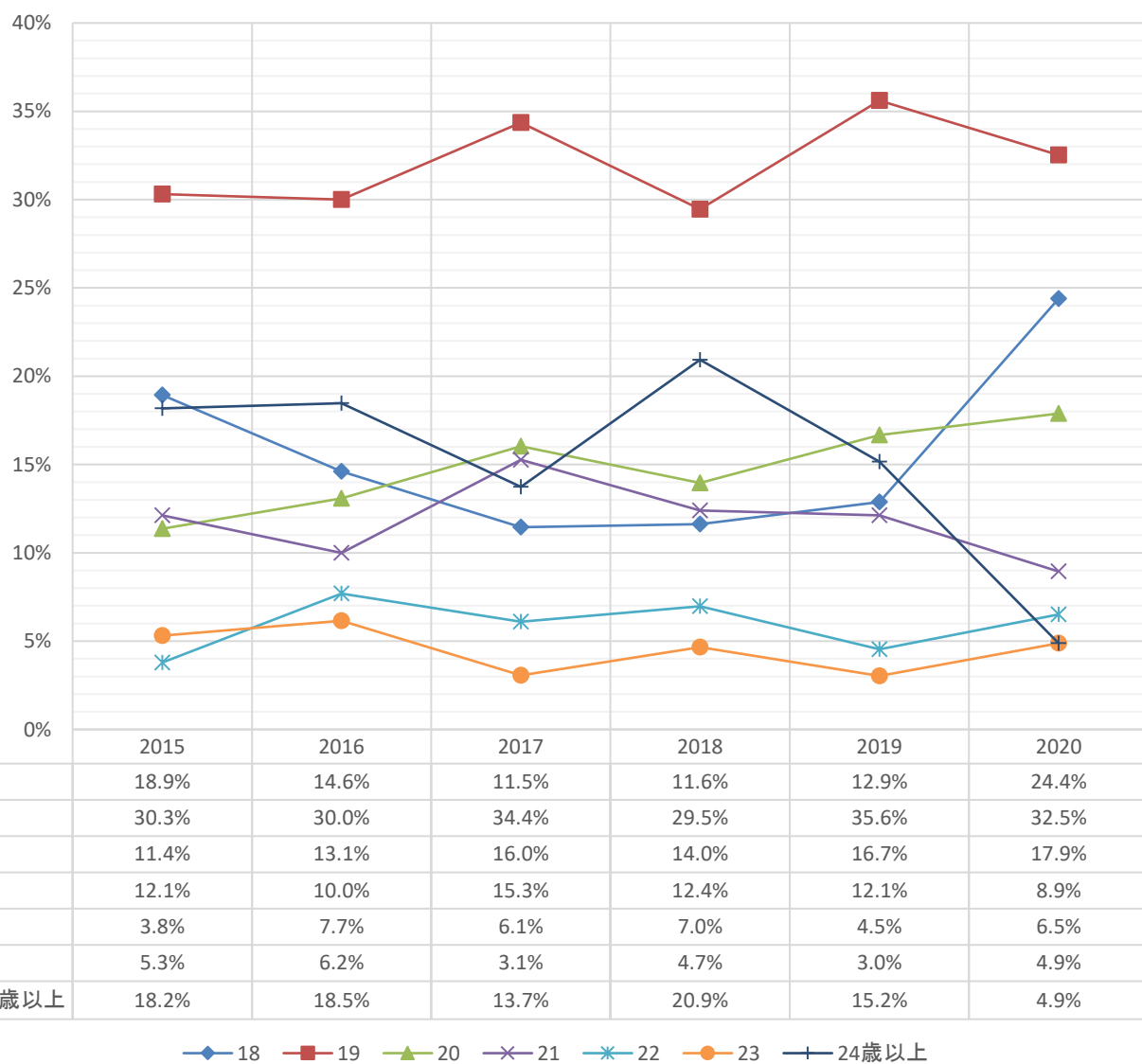
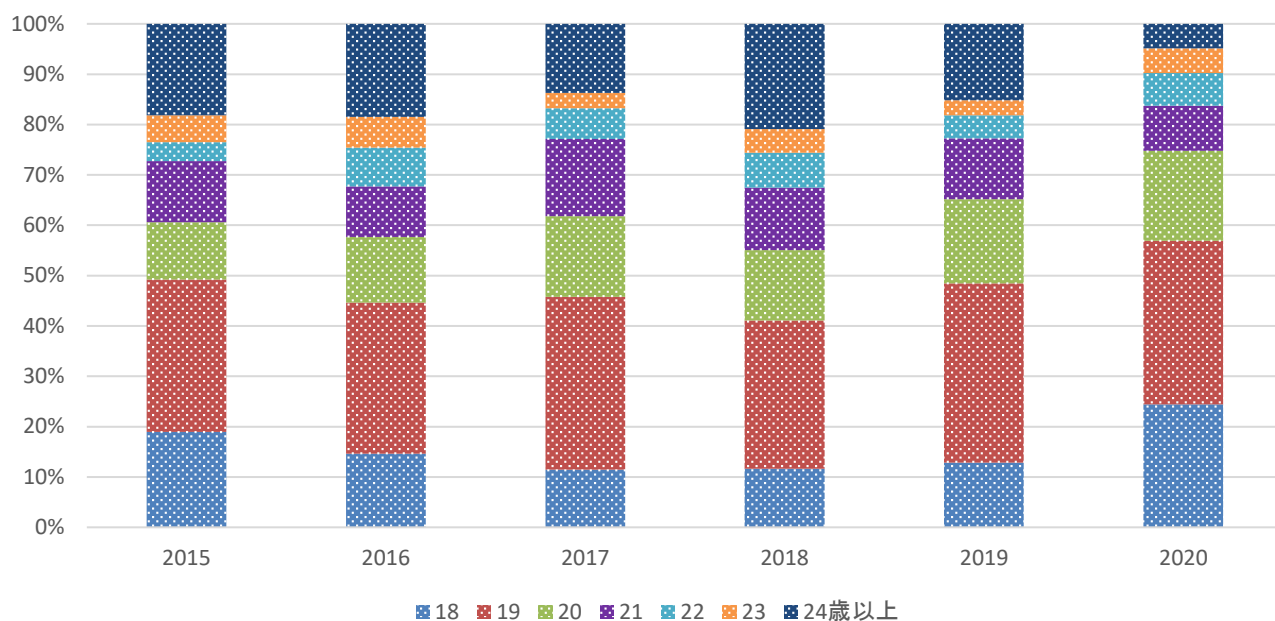
通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学率 (%)
61	私立	神戸学院大学	250	2,417	2,236	1241	245	9.7	19.7
62	私立	神戸薬科大学	270	2,572	2,357	800	275	9.5	34.4
63	私立	兵庫医療大学	150	721	684	537	143	4.8	26.6
64	私立	姫路獨協大学	100	133	118	110	34	1.3	30.9
65	私立	武庫川女子大学	210	1,699	1,391	732	165	8.1	22.5
66	私立	就実大学	100	383	380	328	83	3.8	25.3
67	私立	広島国際大学	120	509	490	349	118	4.2	33.8
68	私立	福山大学	150	406	398	238	104	2.7	43.7
69	私立	安田女子大学	100	745	729	295	102	7.5	34.6
70	私立	徳島文理大学	150	226	218	184	71	1.5	38.6
71	私立	徳島文理大学 (香川薬学部)	90	146	144	135	46	1.6	34.1
72	私立	松山大学	100	292	271	259	78	2.9	30.1
73	私立	第一薬科大学	173	324	309	283	128	1.9	45.2
74	私立	福岡大学	230	2,432	2,345	680	234	10.6	34.4
75	私立	長崎国際大学	120	561	536	338	113	4.7	33.4
76	私立	崇城大学	120	1,283	1,234	527	126	10.7	23.9
77	私立	九州保健福祉大学	100	253	250	245	66	2.5	26.9

入学者比率・志願倍率プロット_薬学部



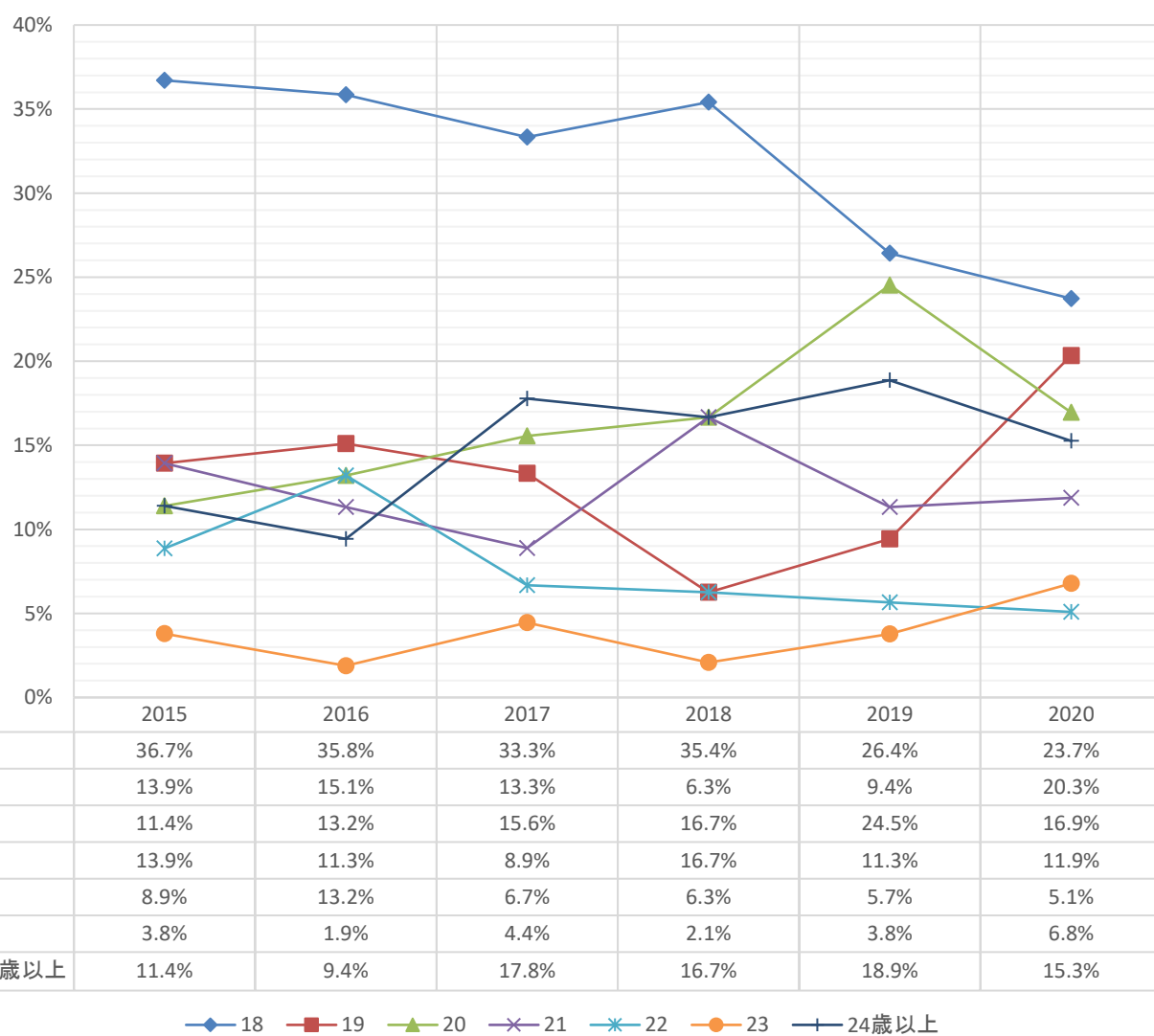
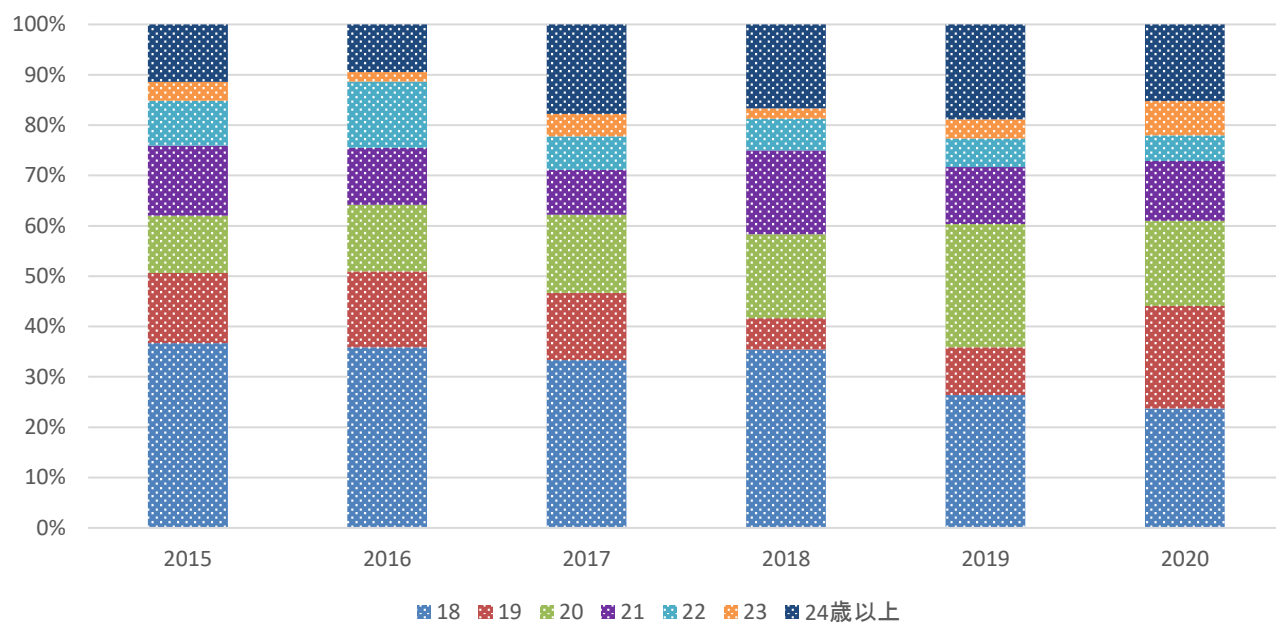
2-3 入学者年齢推移

医学部



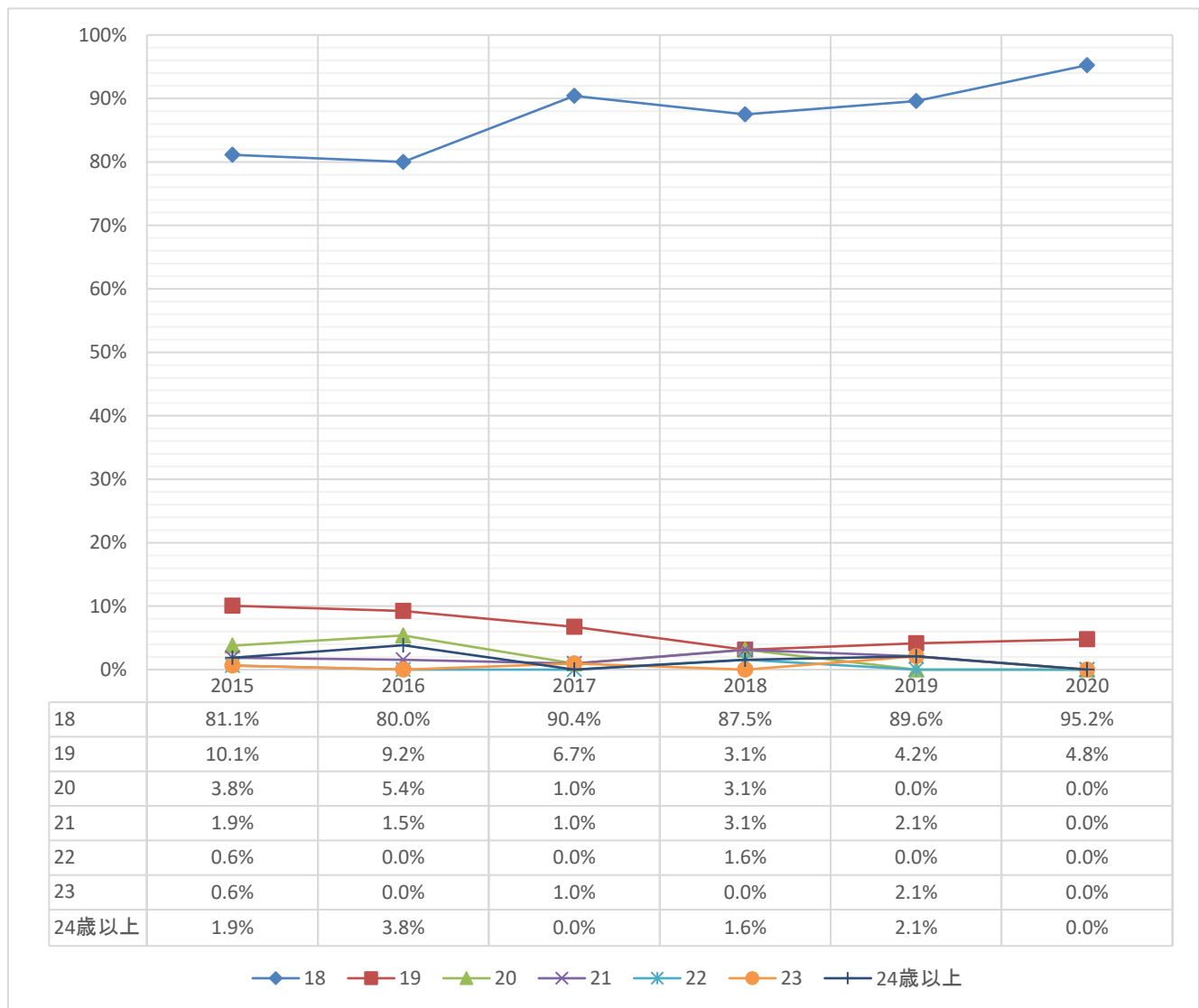
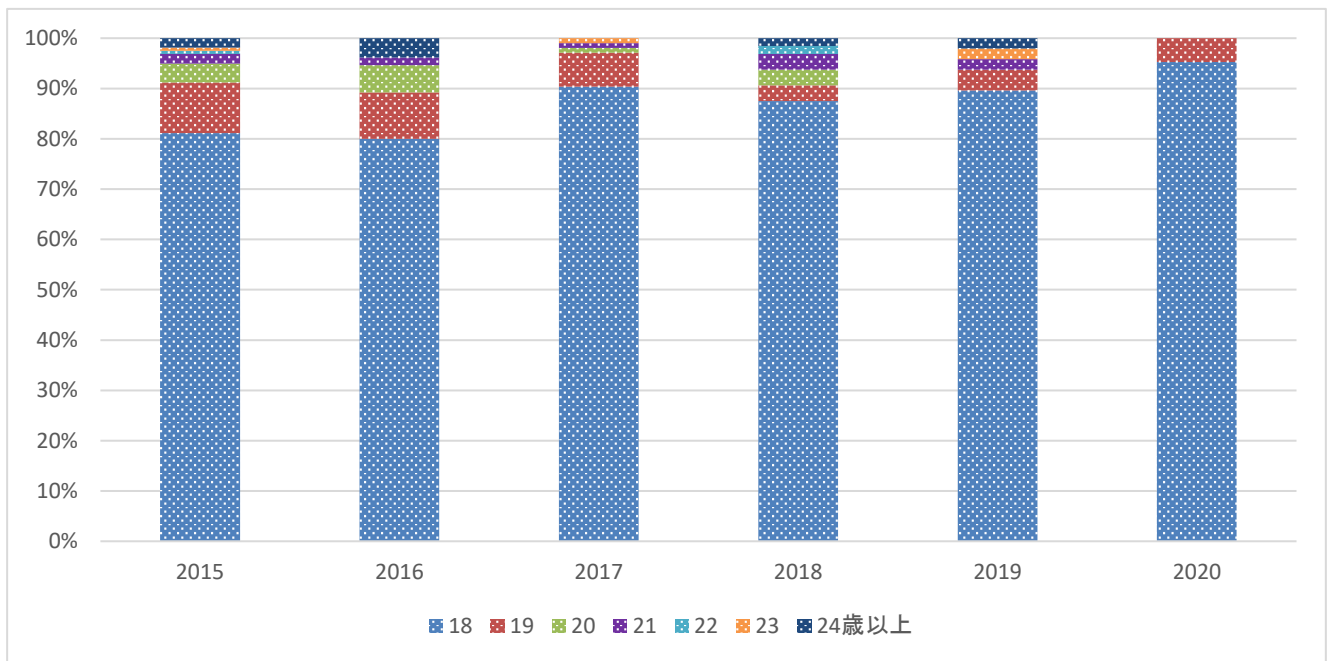
入学者年齢推移（つづき）

歯学部



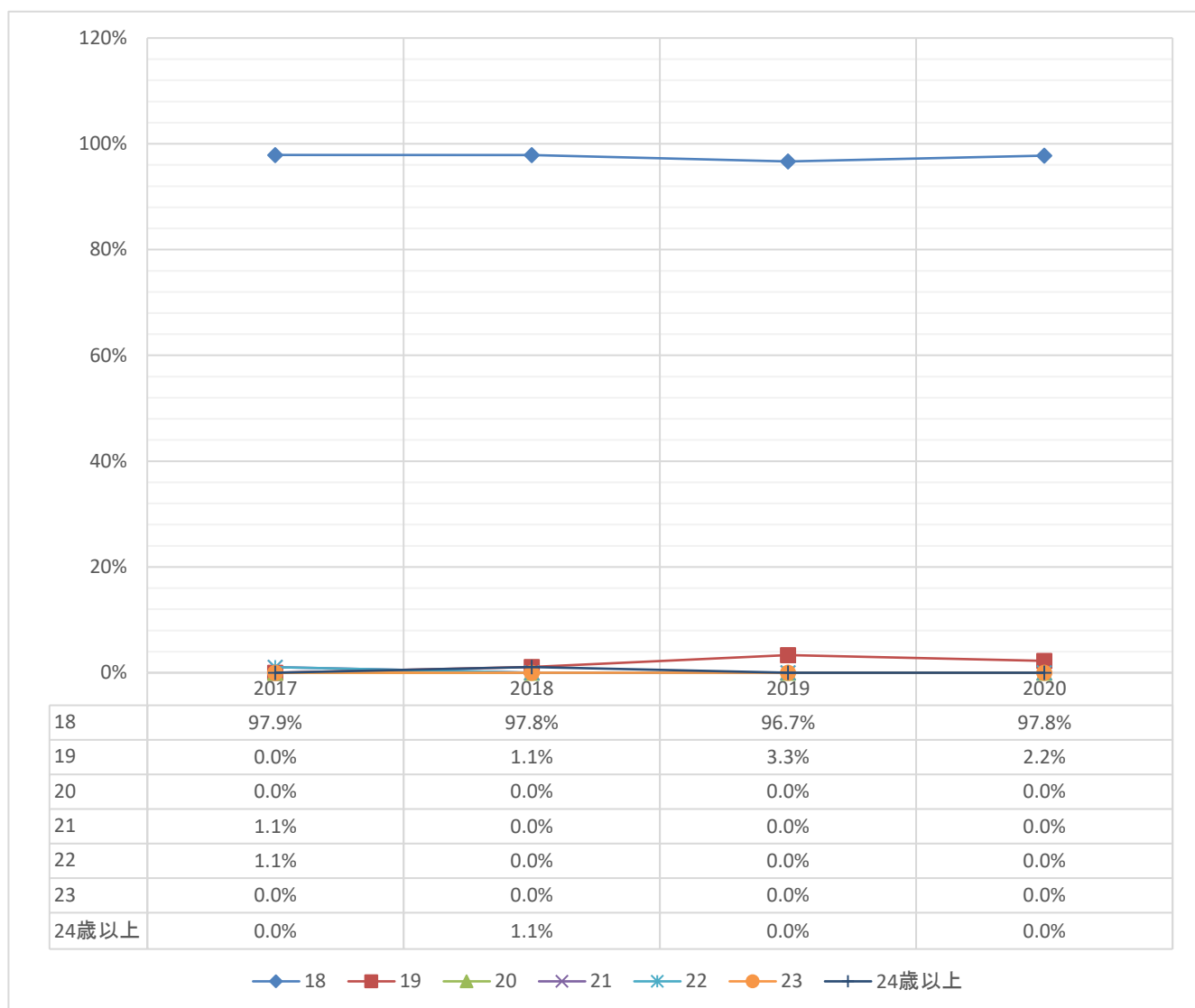
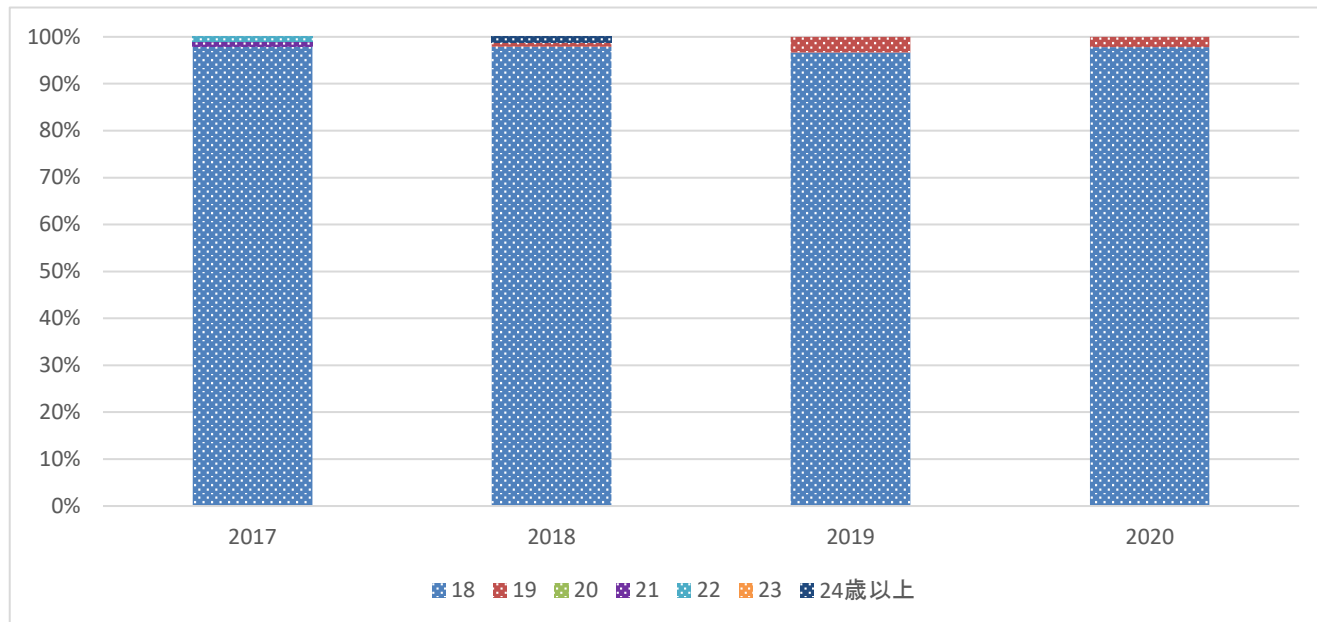
入学者年齢推移（つづき）

薬学部



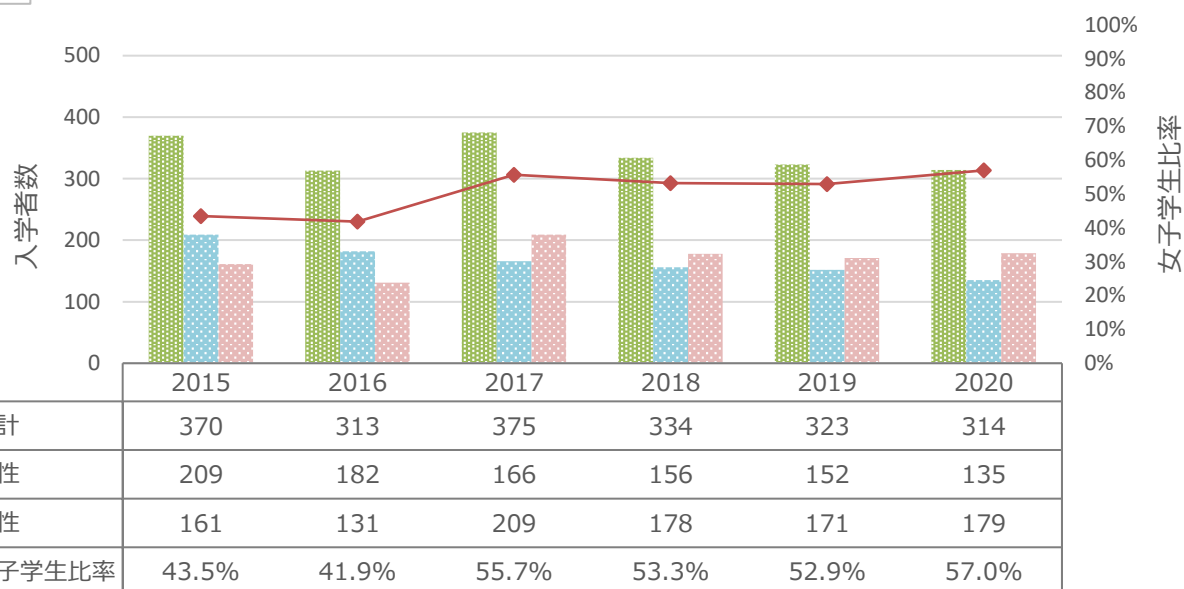
入学者年齢推移（つづき）

看護学部

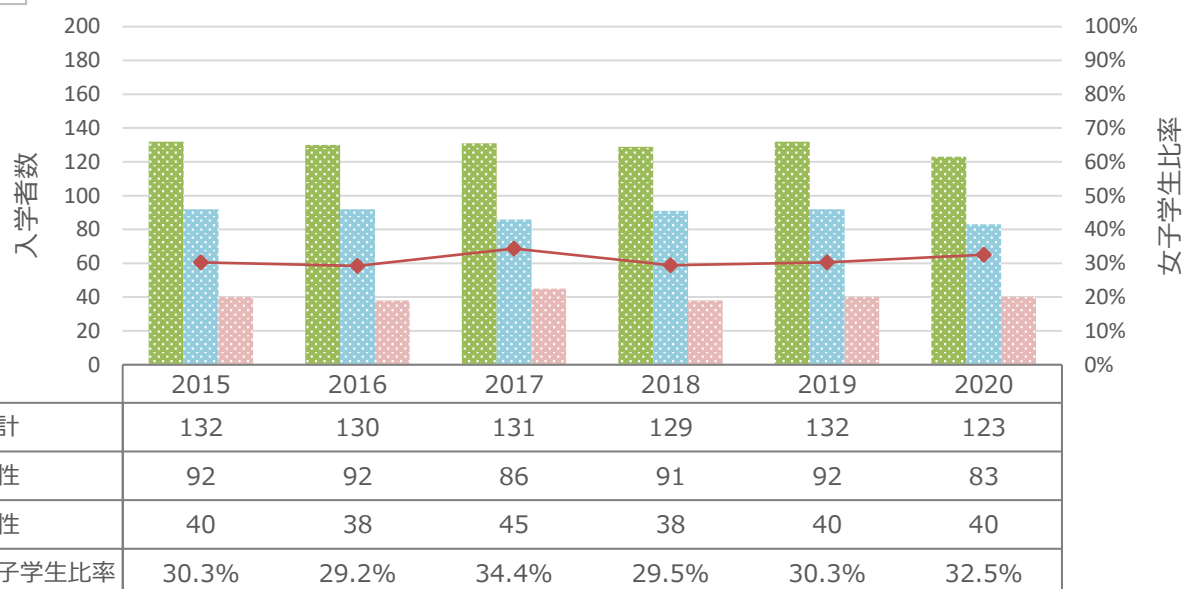


2-4 入学者男女比推移

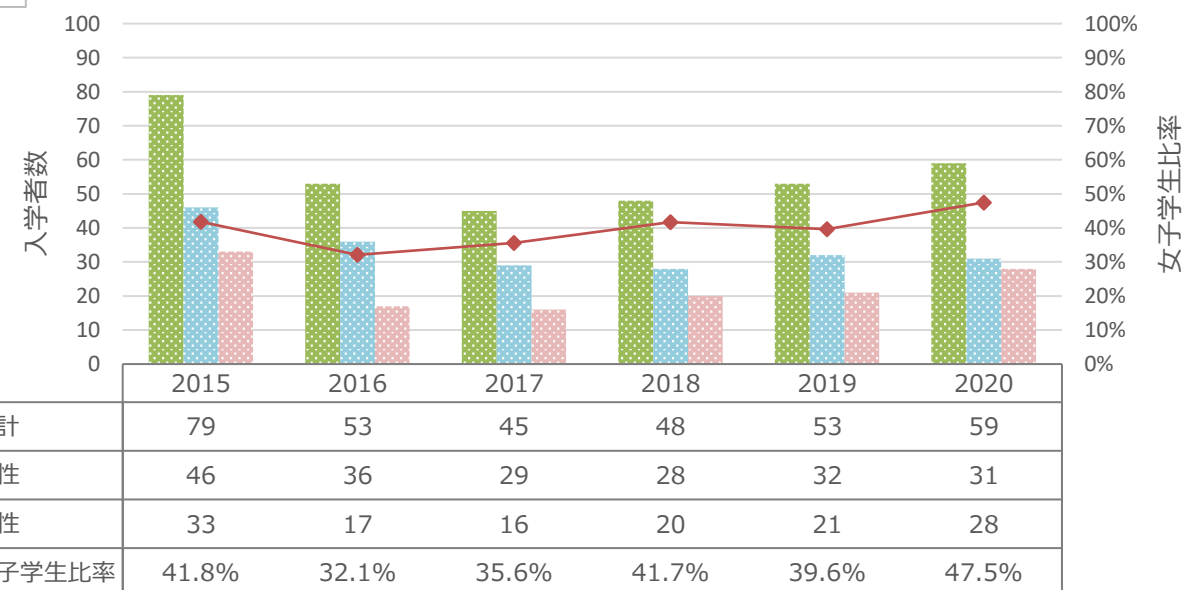
大学全体



医学部

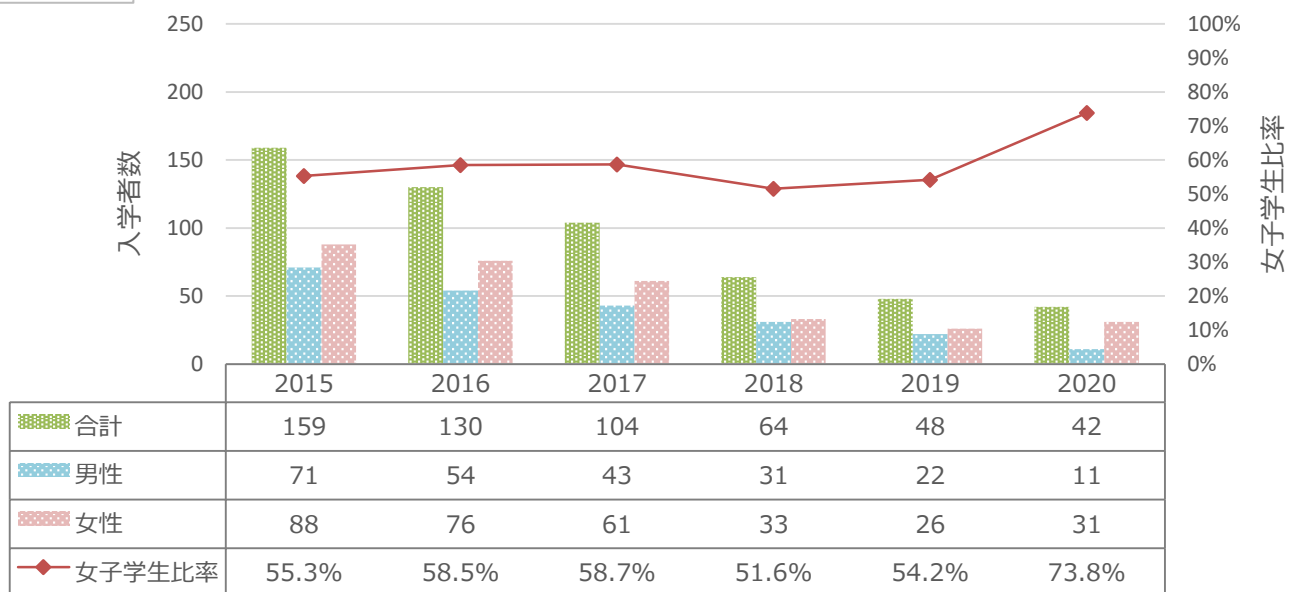


歯学部

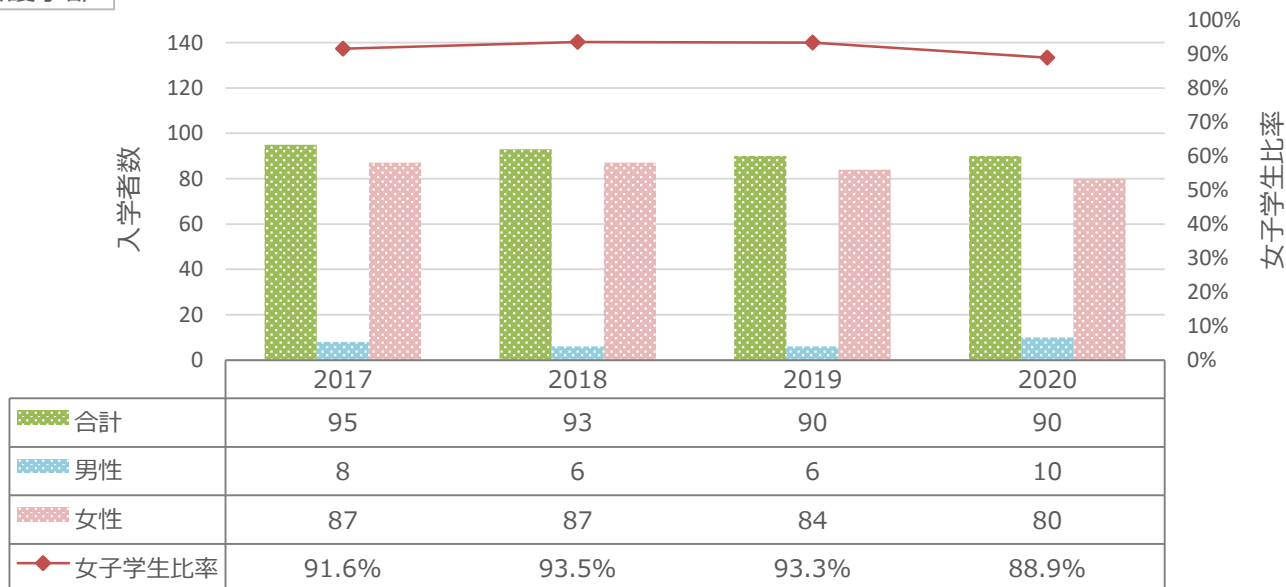


入学者男女比推移（つづき）

薬学部



看護学部



2-5 入学者出身校地域分布_全国

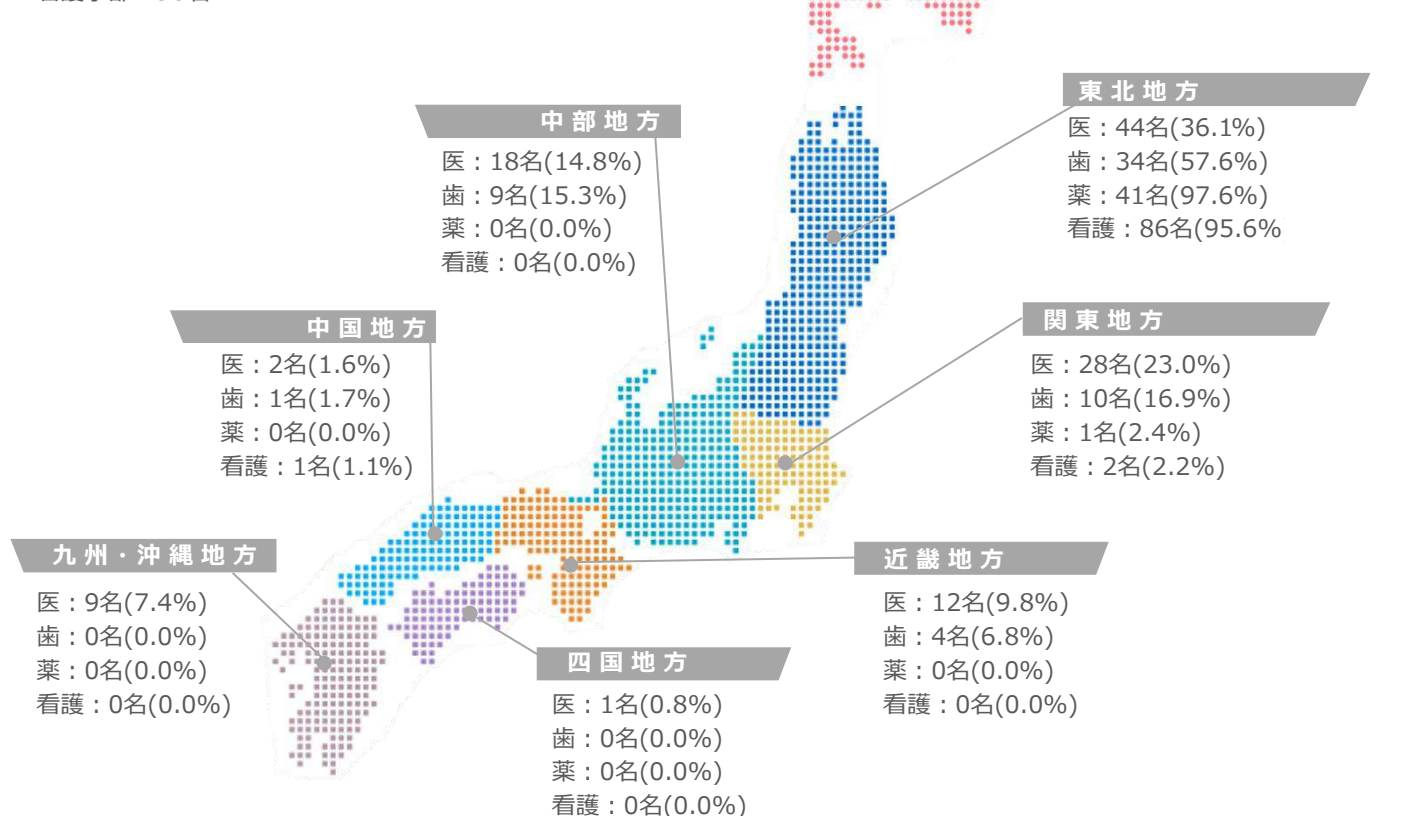
2020年度入学者数

医学部：123名

歯学部：59名

薬学部：42名

看護学部：90名



入学者出身校地域分布_東北地方

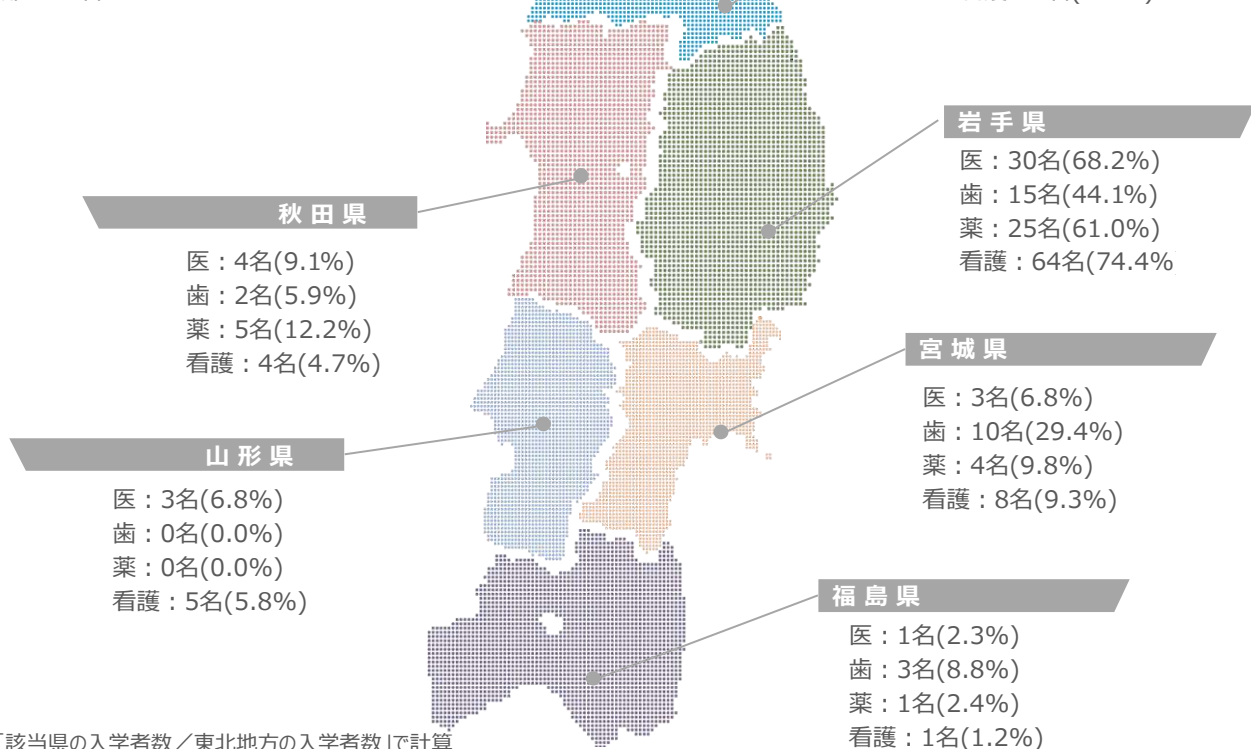
2020年度入学者数（東北地方）

医学部：44名

歯学部：34名

薬学部：41名

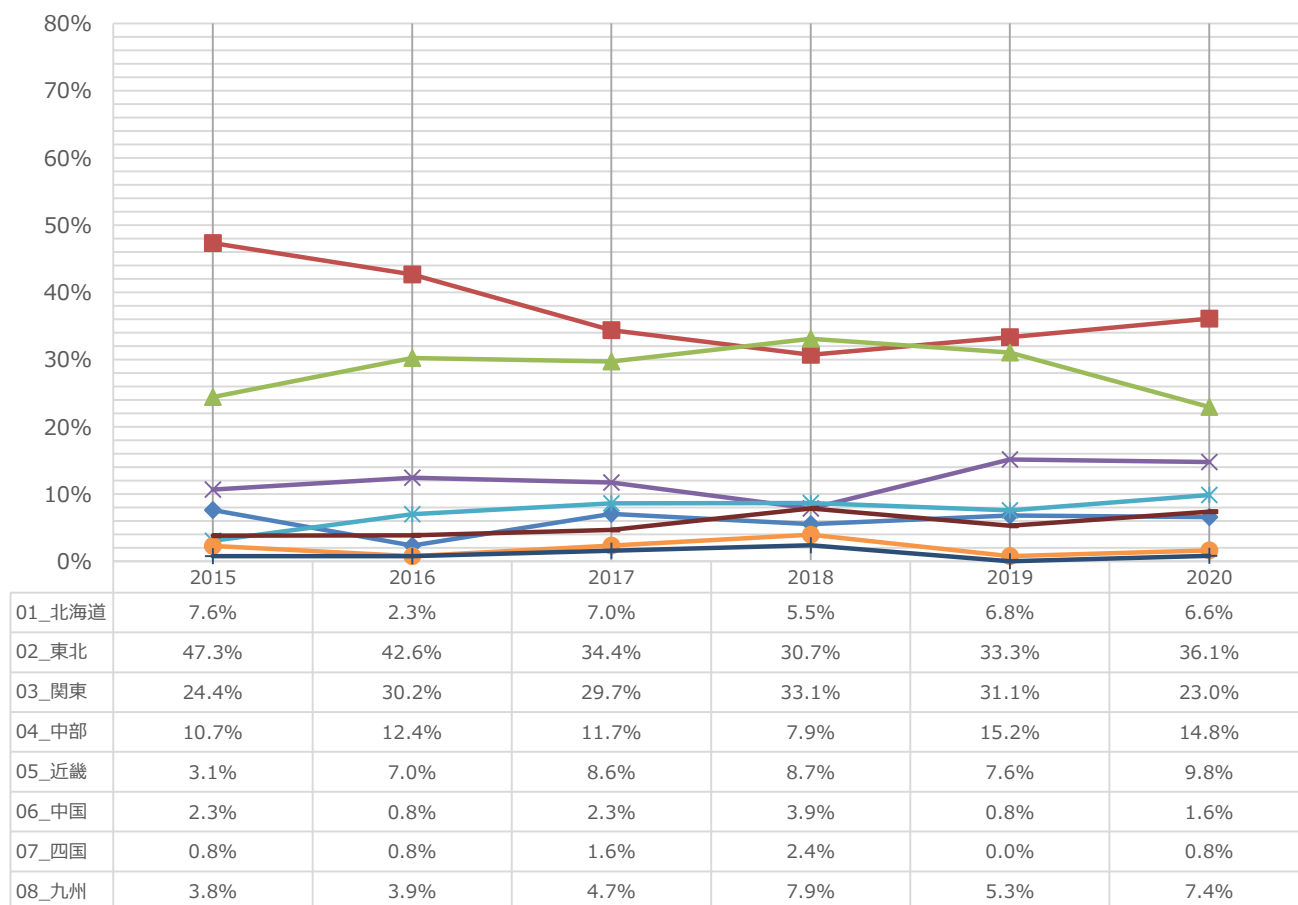
看護学部：86名



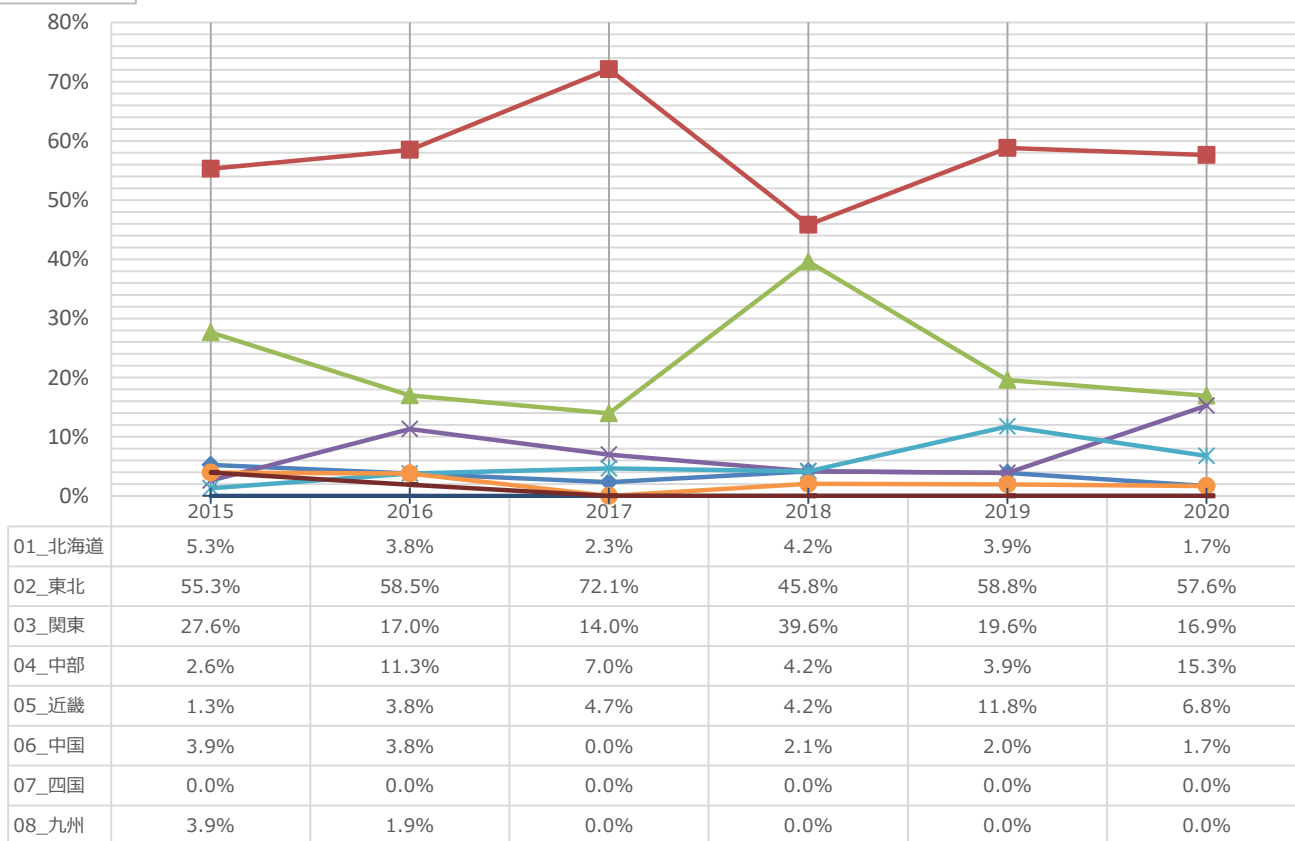
※割合は「該当県の入学者数／東北地方の入学者数」で計算

地域別入学者数推移_全国

医学部



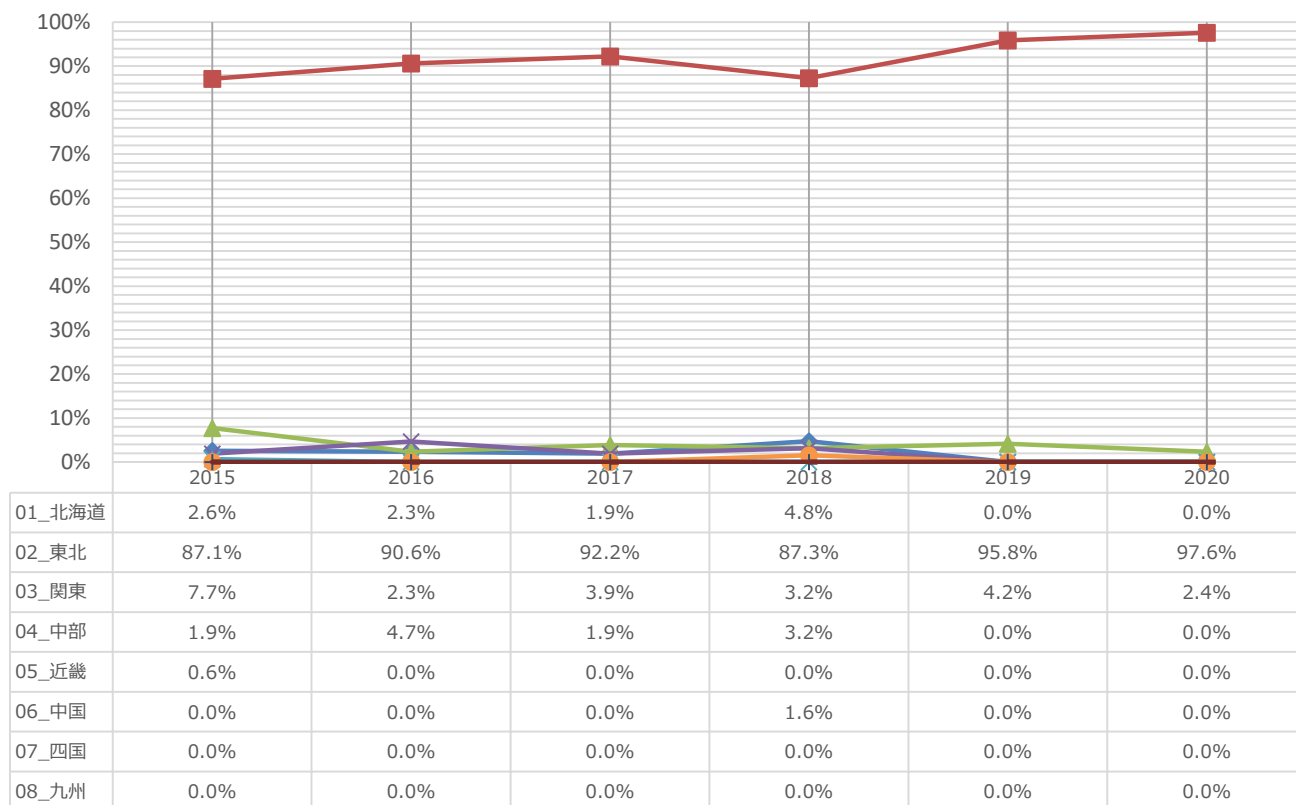
歯学部



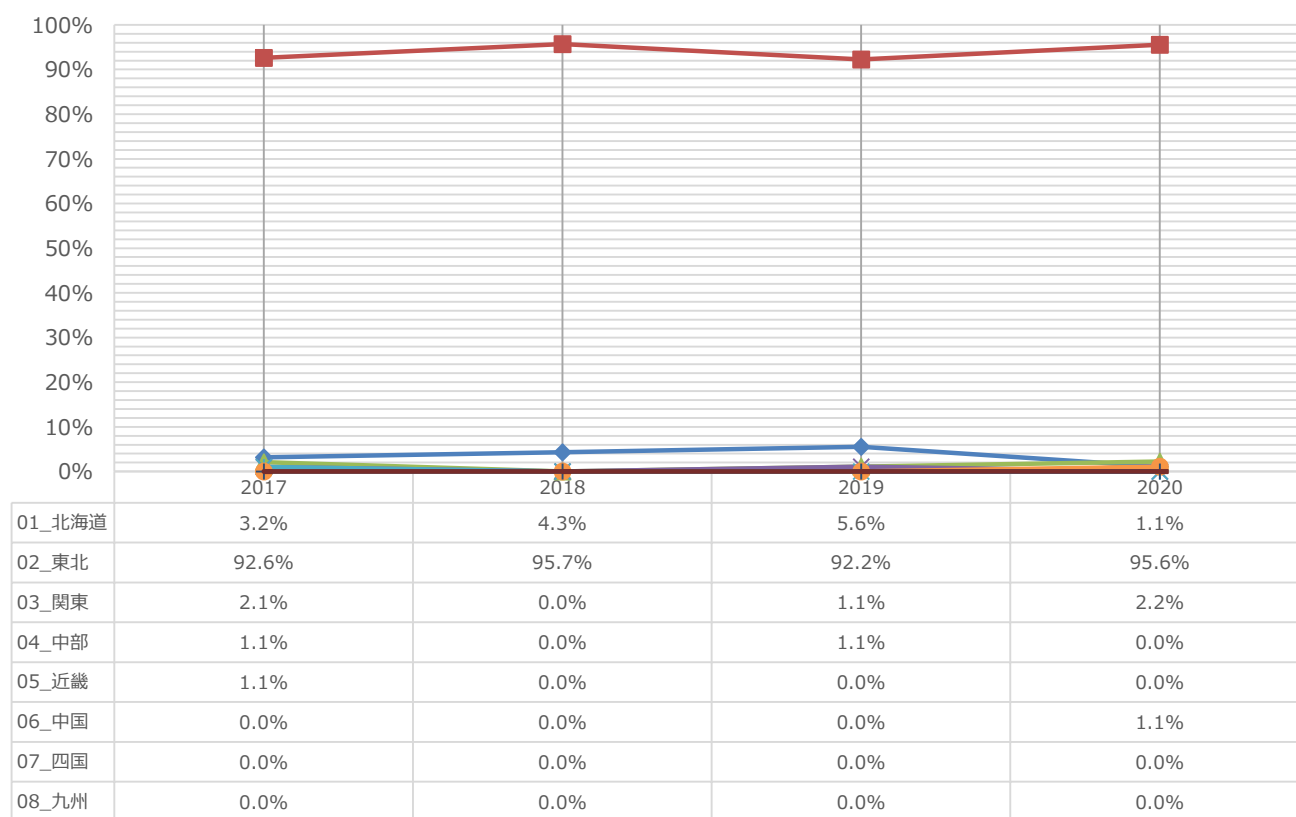
01_北海道 02_東北 03_関東 04_中部 05_近畿 06_中国 07_四国 08_九州

地域別入学者数推移_全国（つづき）

薬学部



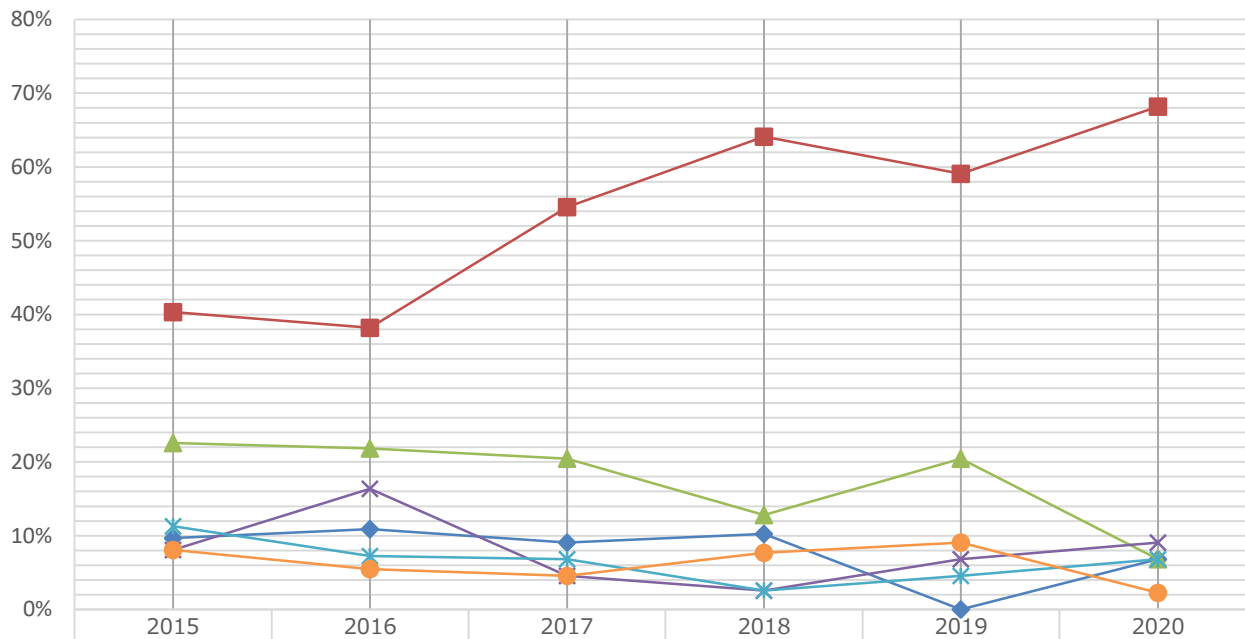
看護学部



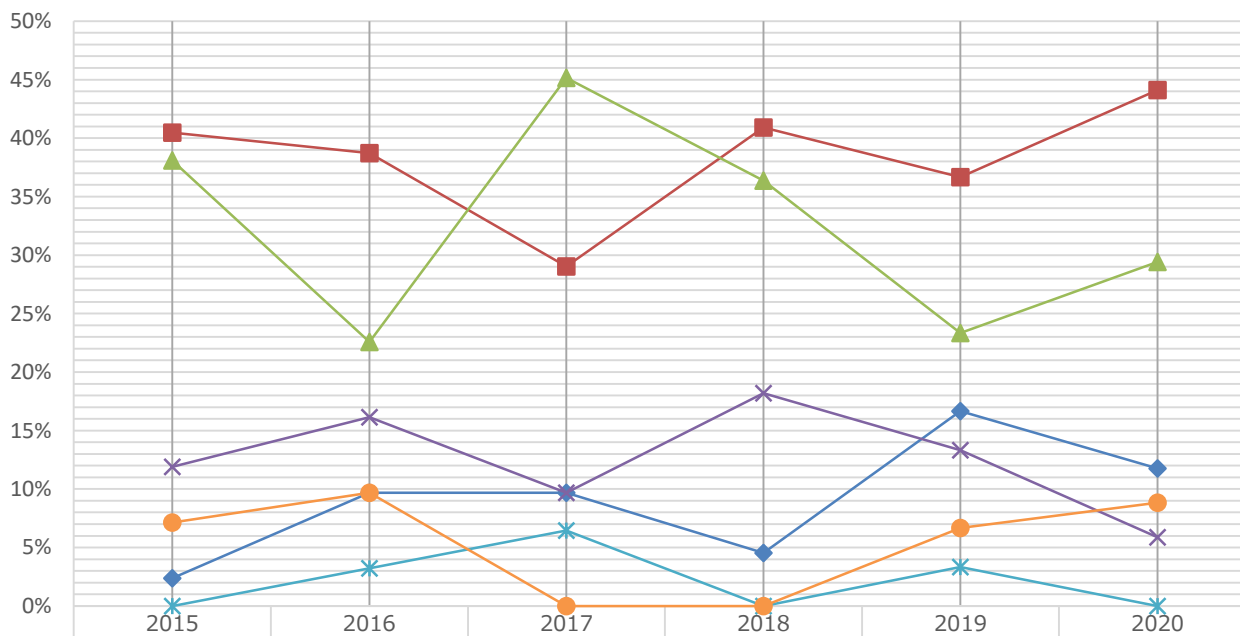
01_北海道 02_東北 03_関東 04_中部 05_近畿 06_中国 07_四国 08_九州

都道府県別入学者割合推移_東北地方

医学部



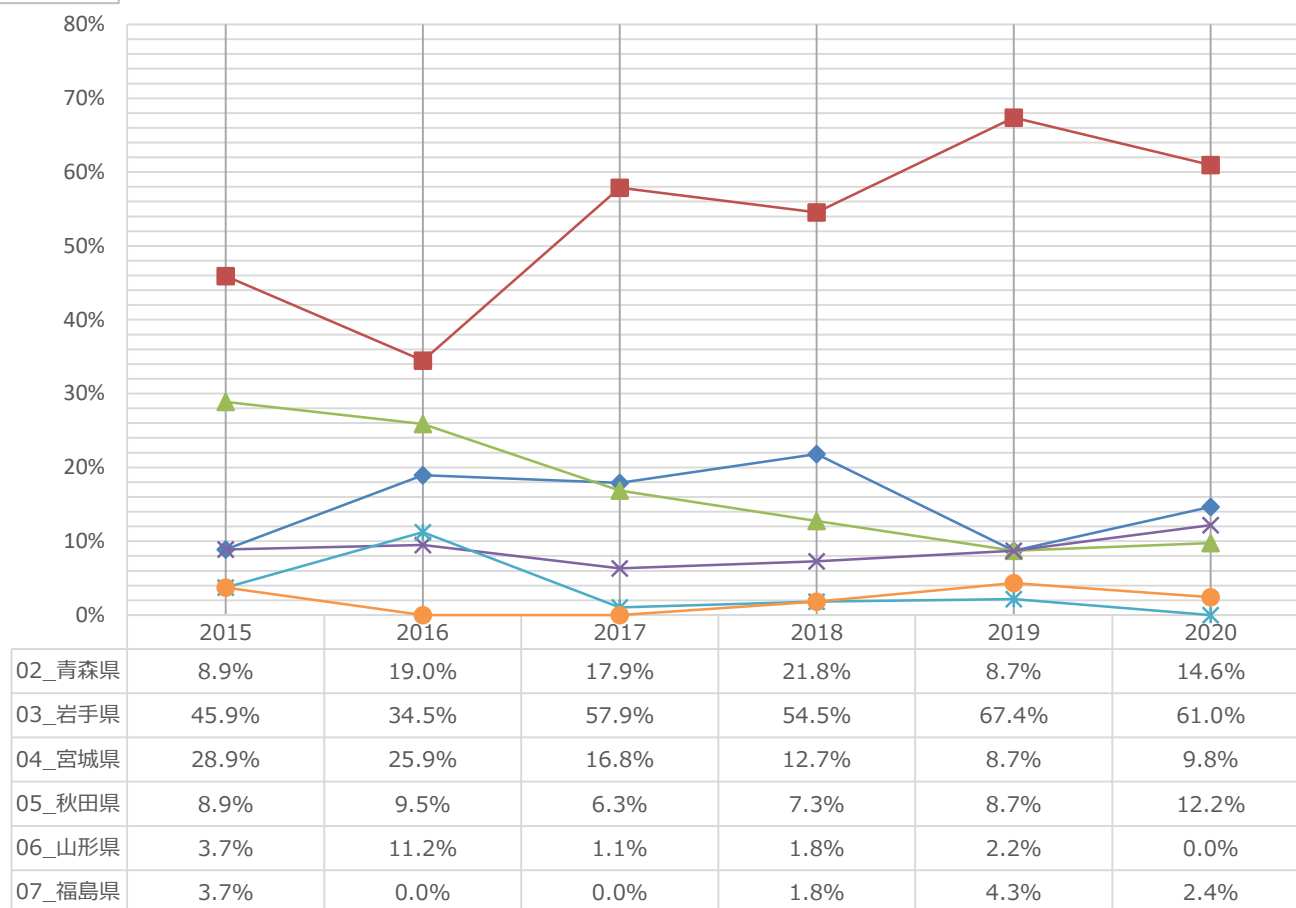
歯学部



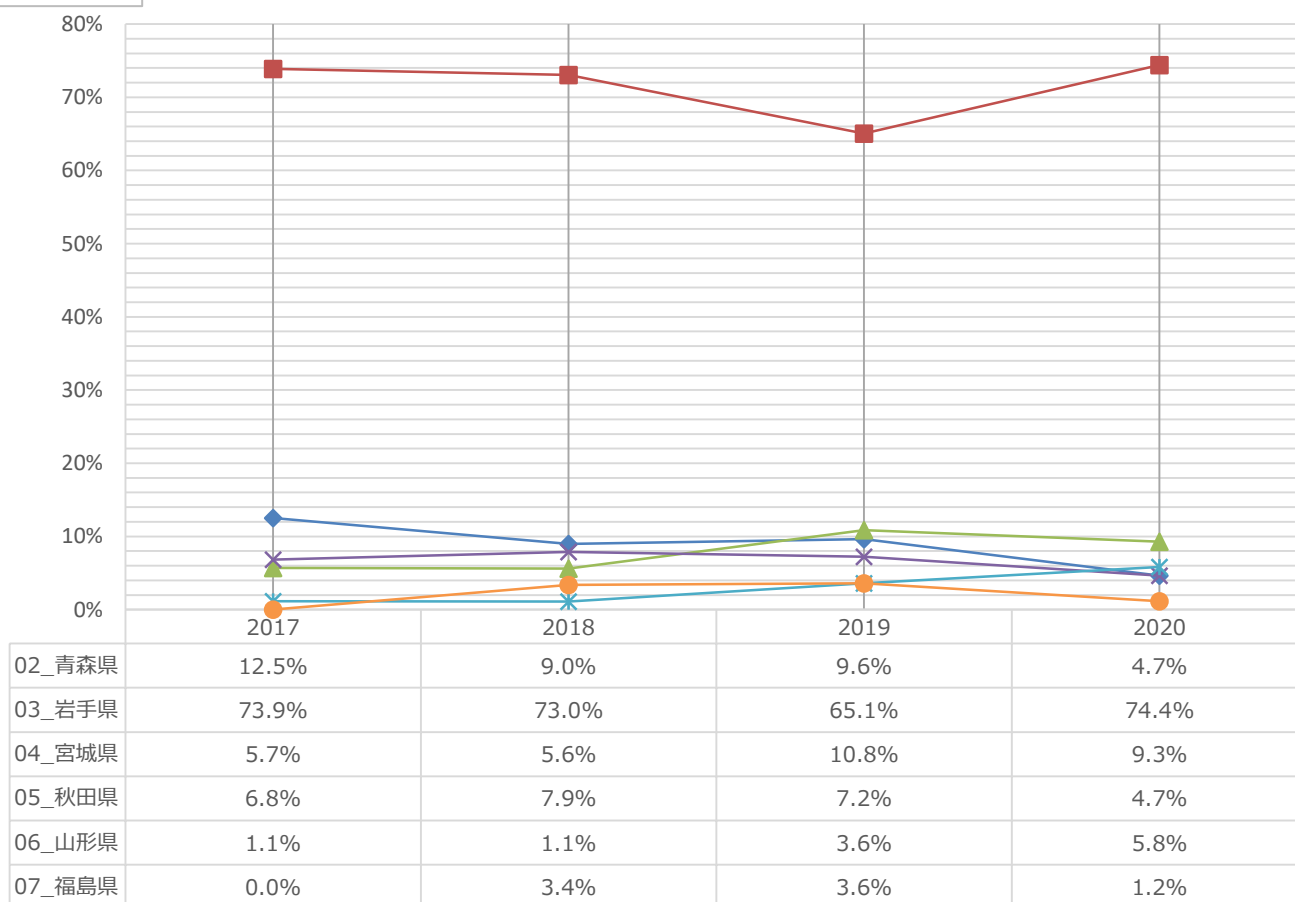
◆ 02_青森県 ■ 03_岩手県 ▲ 04_宮城県 ✕ 05_秋田県 * 06_山形県 ● 07_福島県

地域別入学者数推移_東北地方（つづき）

薬学部



看護学部

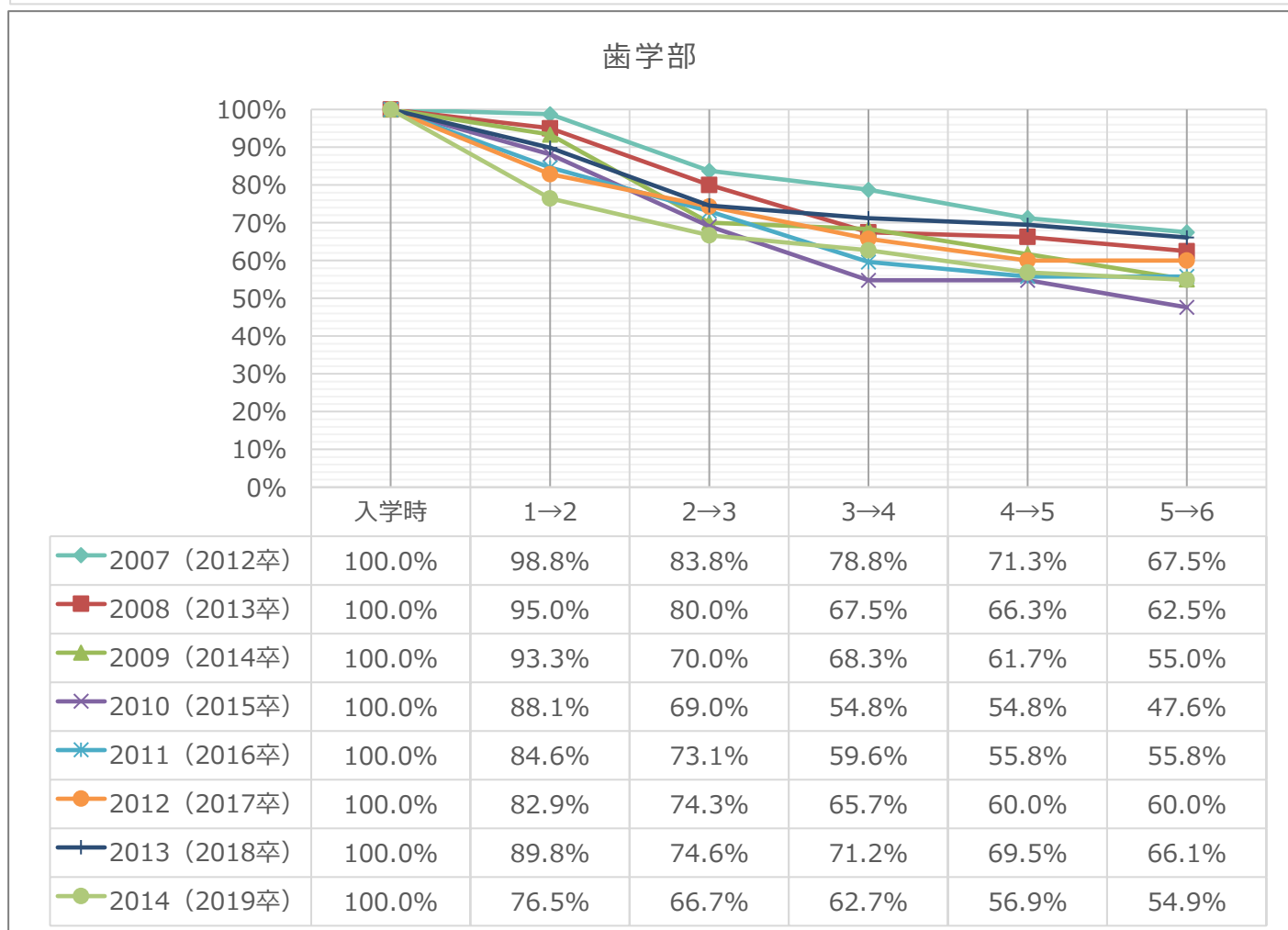
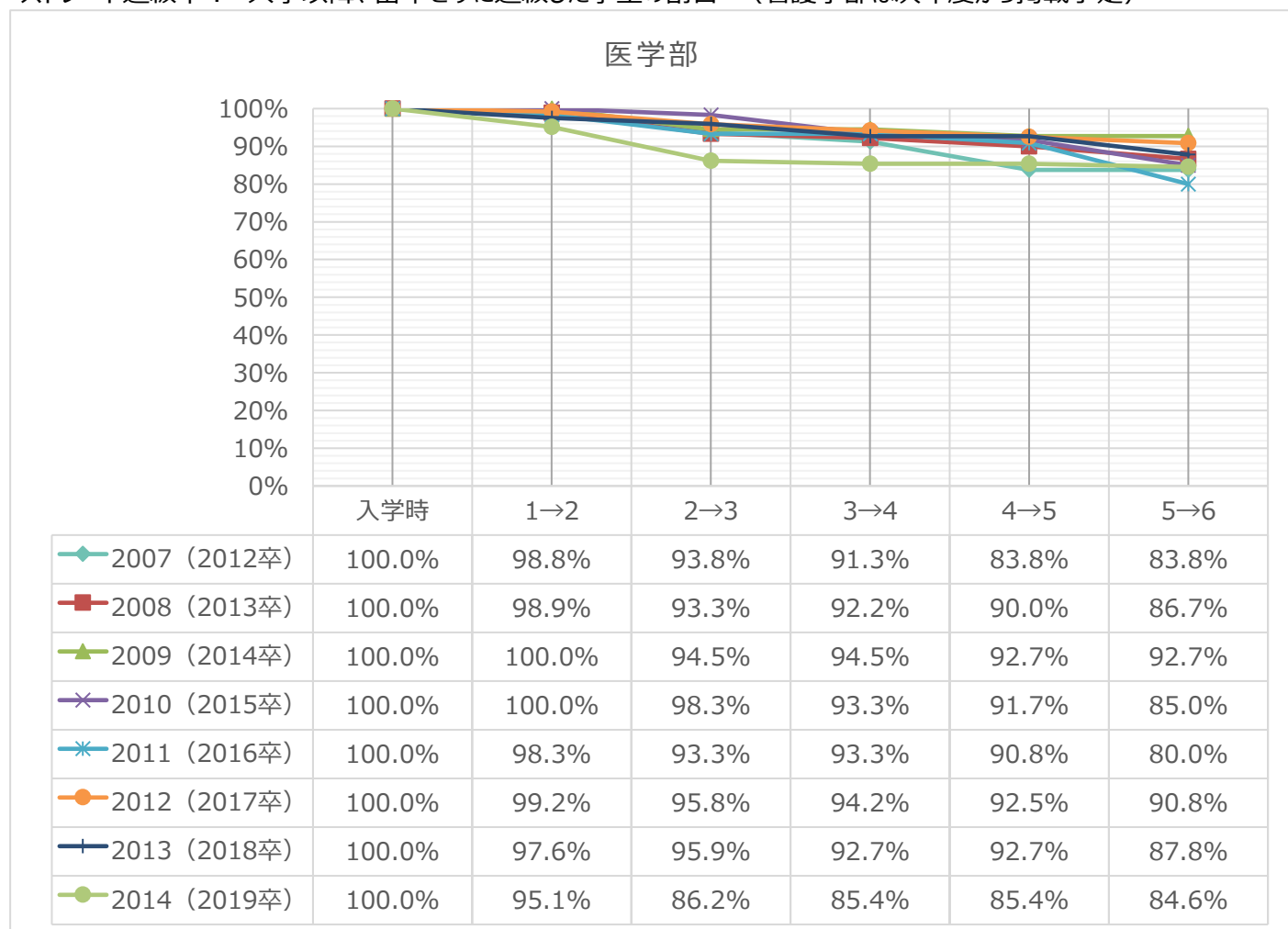


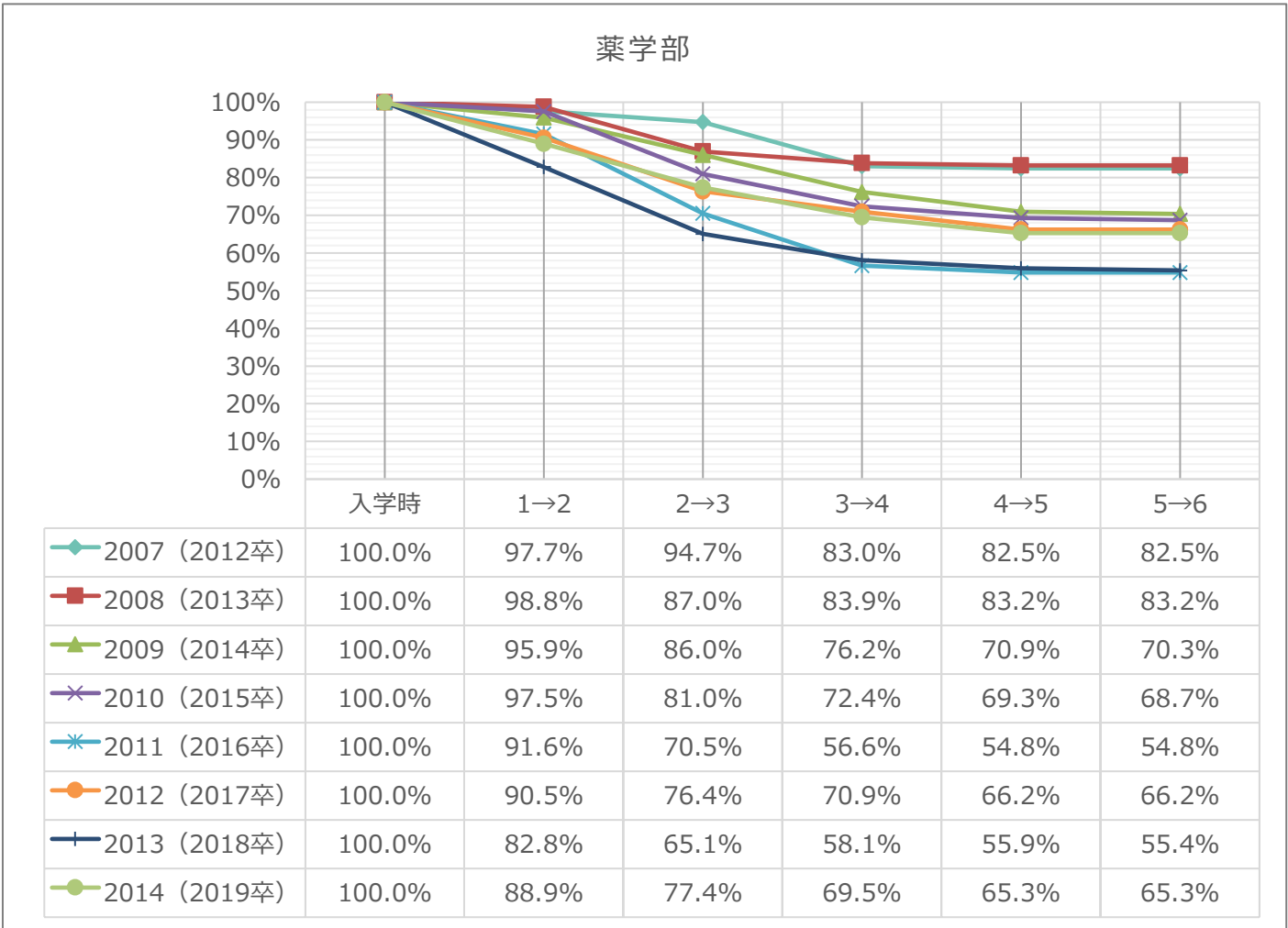
02_青森県 03_岩手県 04_宮城県 05_秋田県 06_山形県 07_福島県

3-1 ストレート進級率推移

出典：各学部教務課提供データ

ストレート進級率： 入学以降、留年せずに進級した学生の割合（看護学部は次年度から掲載予定）



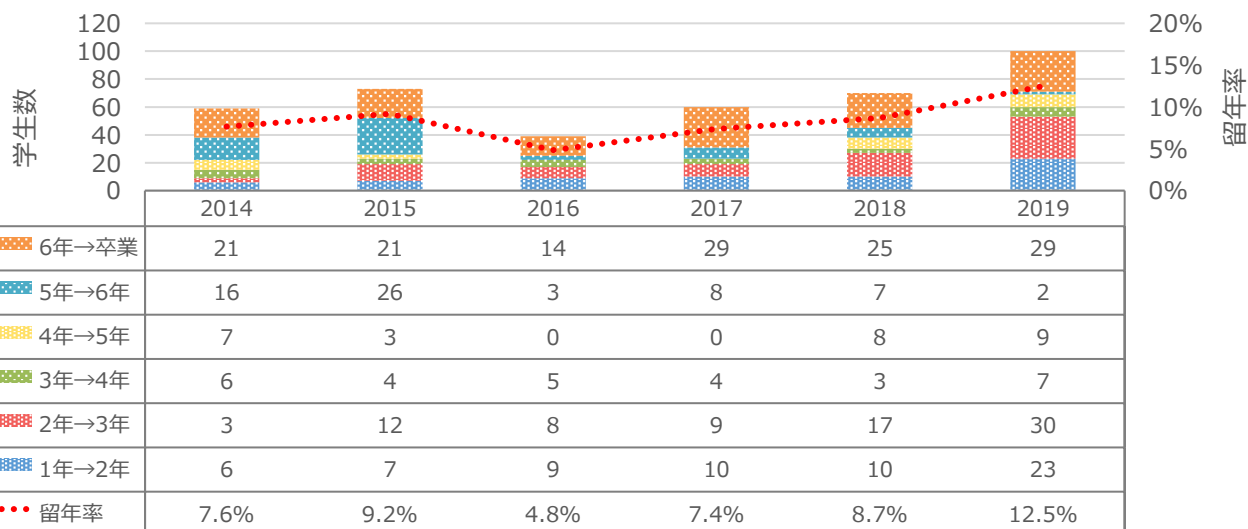


留年者数：対象年度に留年した学生数

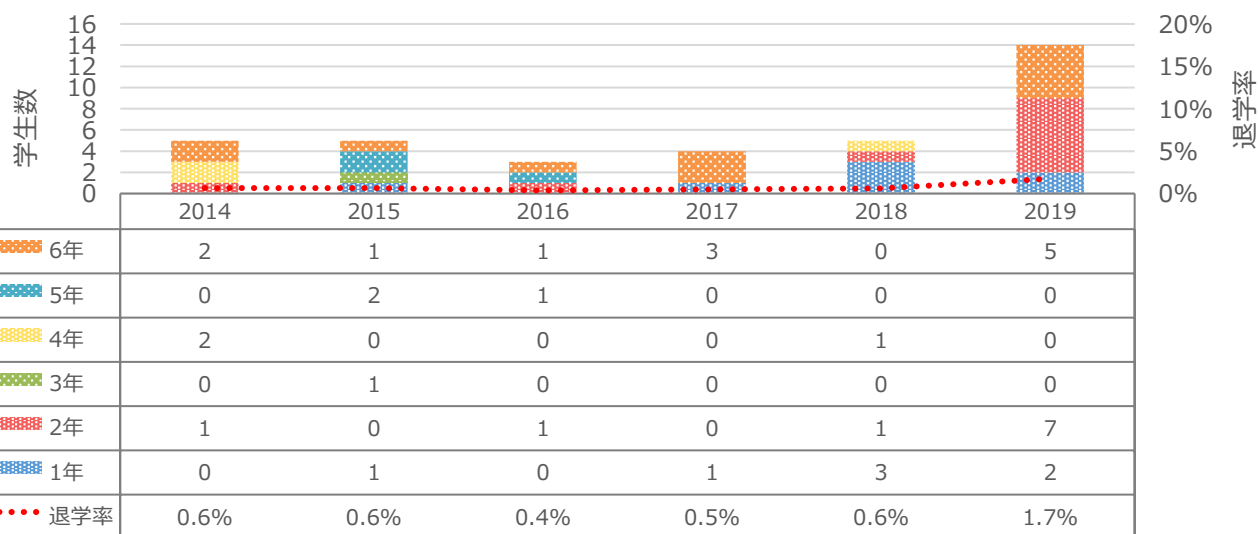
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数

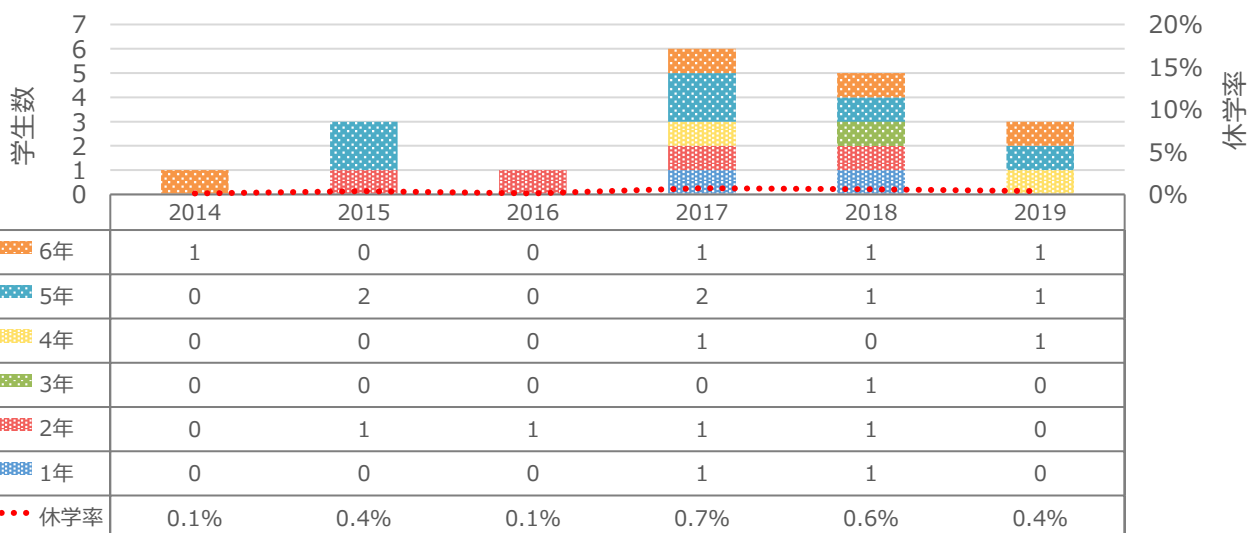
医学部_留年者数



医学部_退学者数



医学部_休学者数

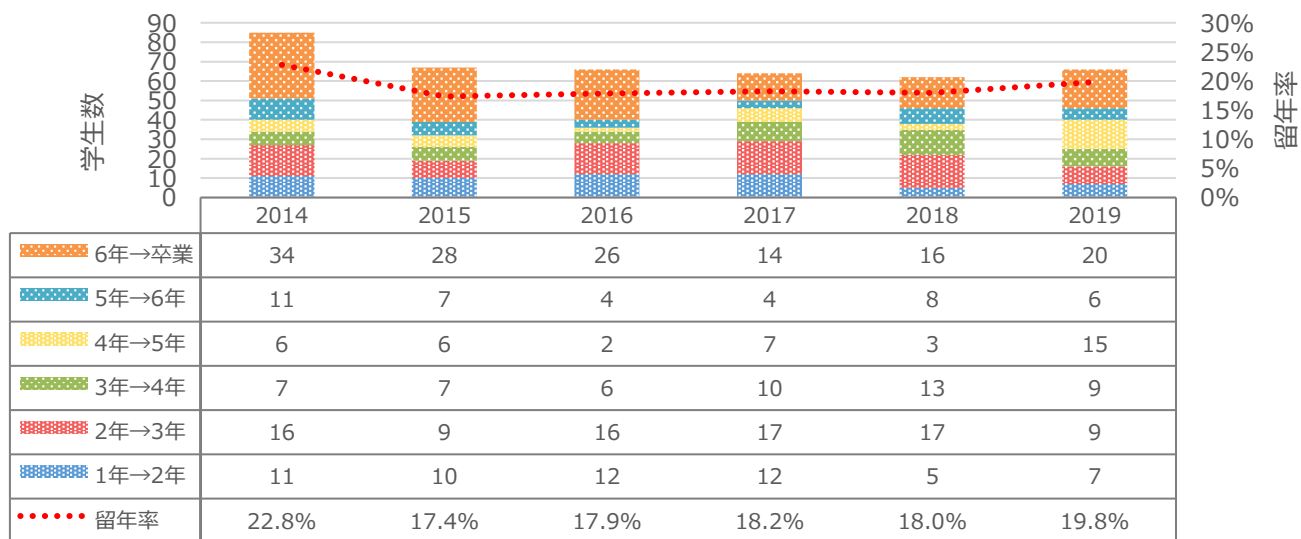


留年者数：対象年度に留年した学生数

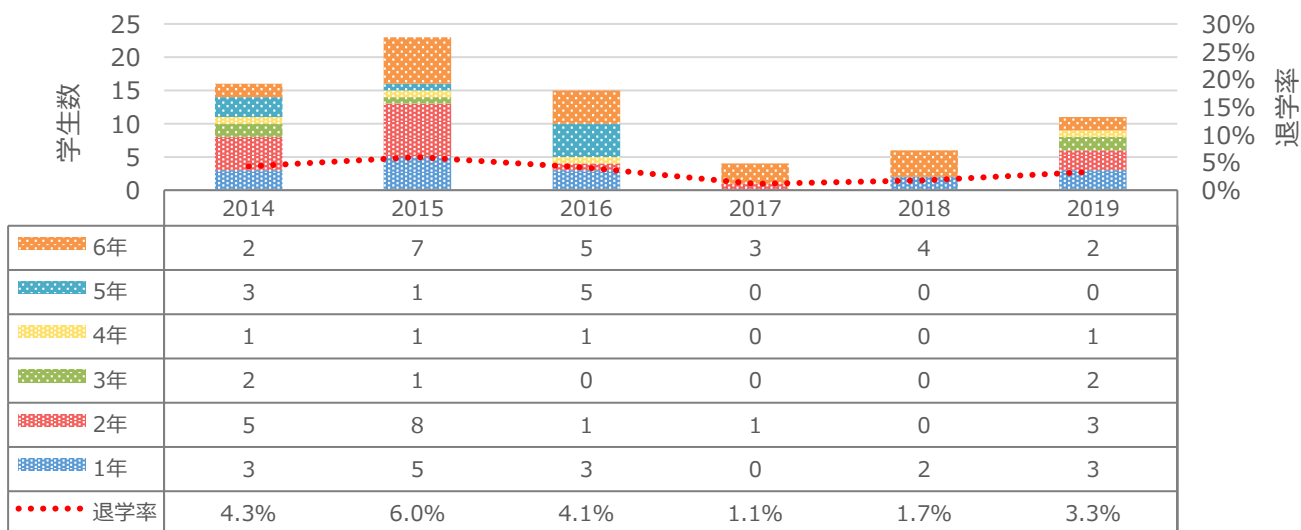
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数

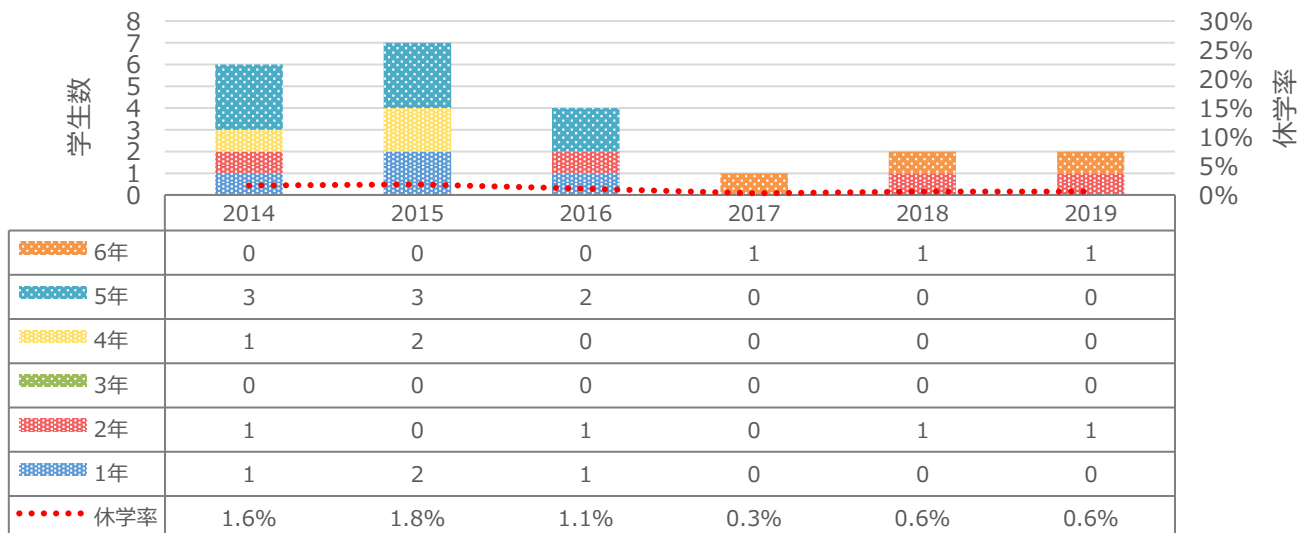
歯学部_留年者数



歯学部_退学者数



歯学部_休学者数

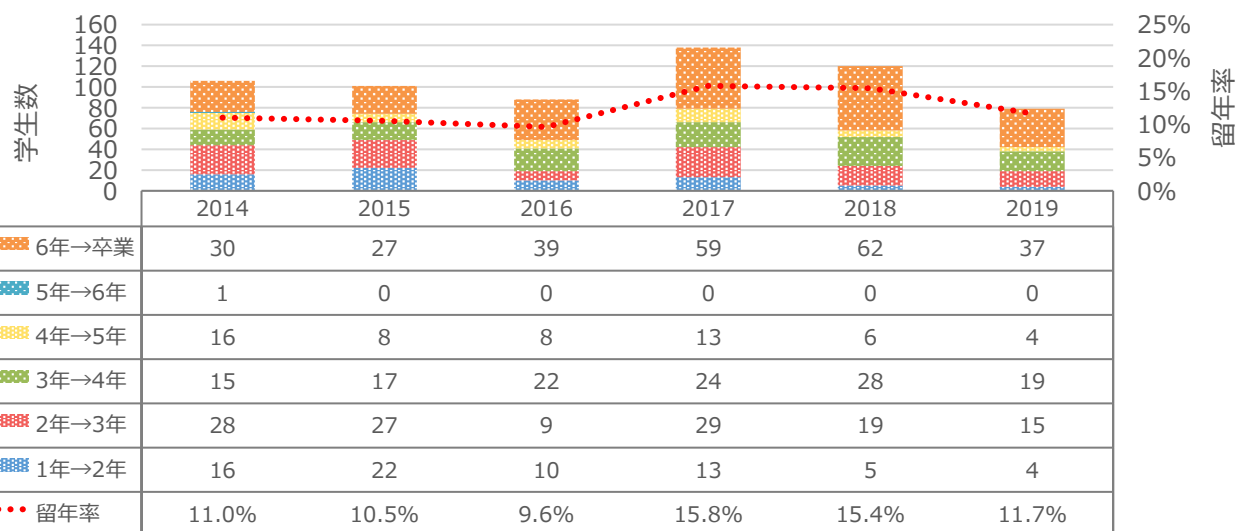


留年者数：対象年度に留年した学生数

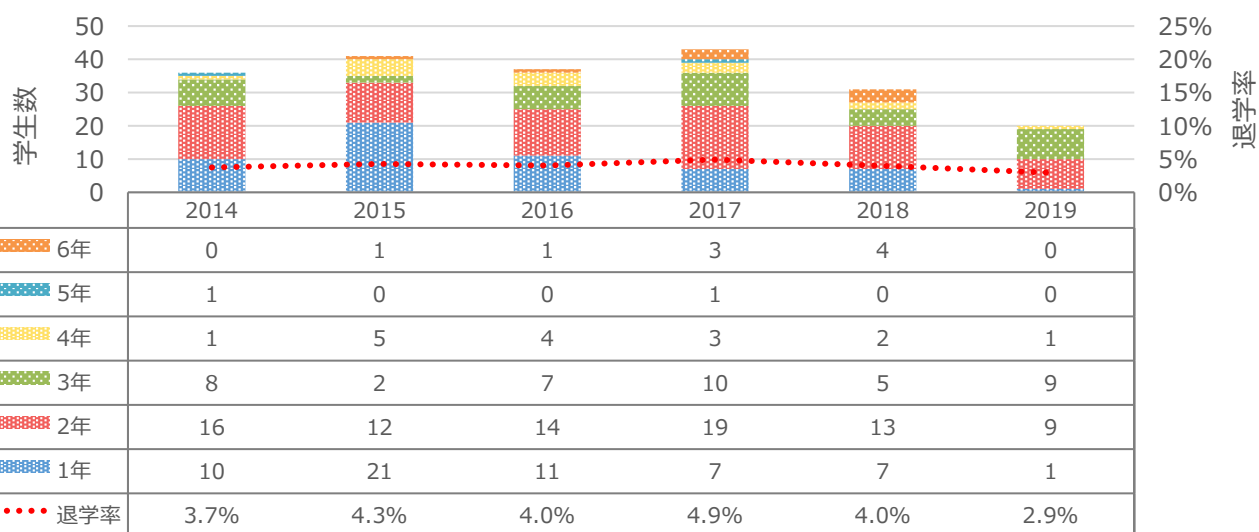
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数

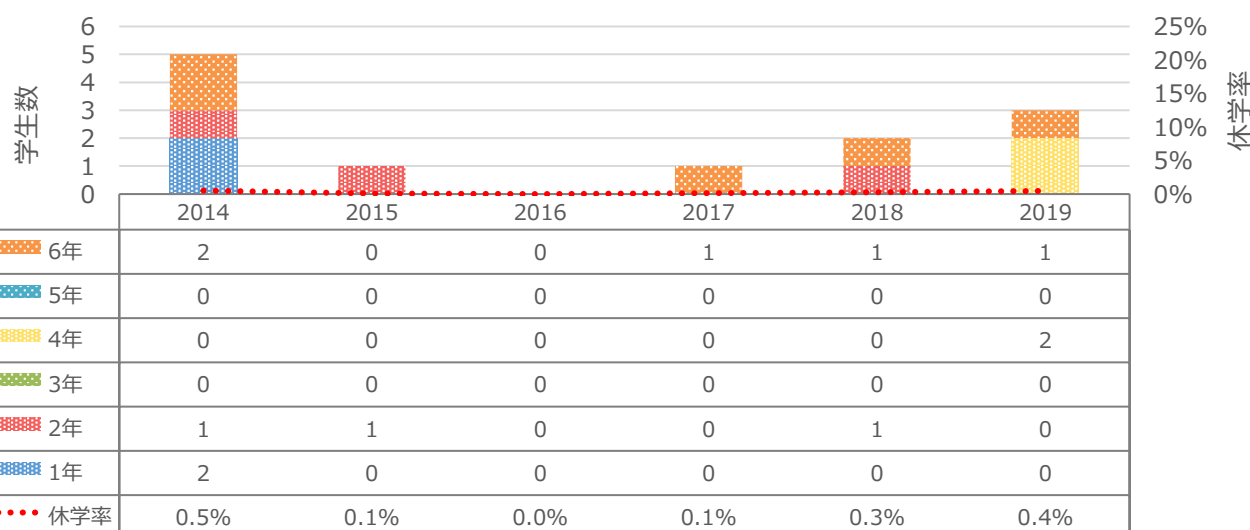
薬学部_留年者数



薬学部_退学者数



薬学部_休学者数

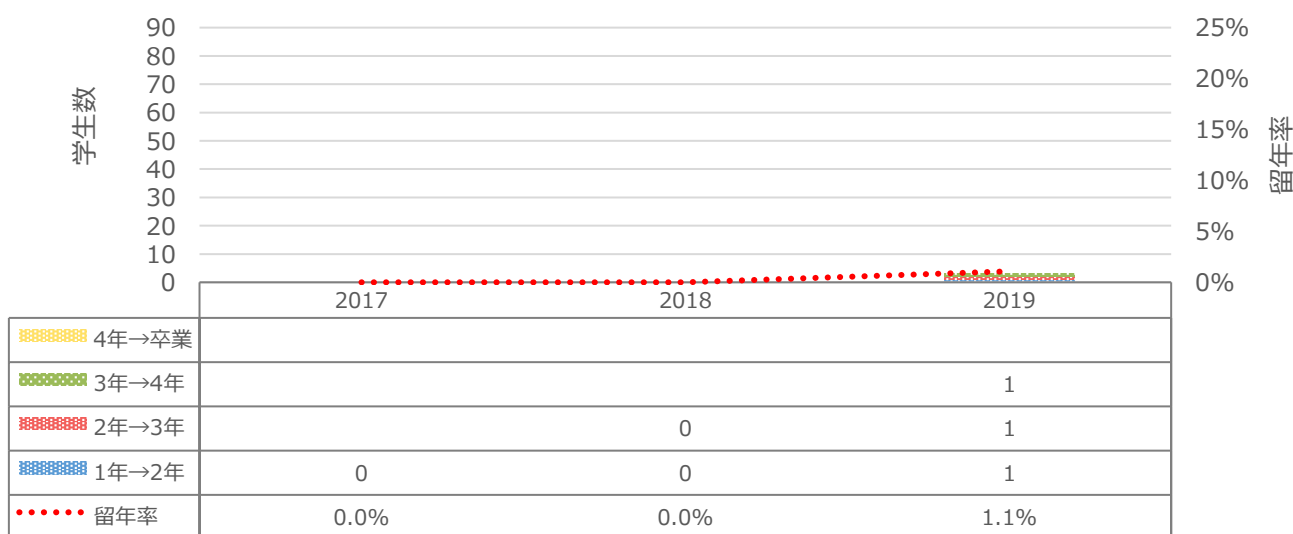


留年者数：対象年度に留年した学生数

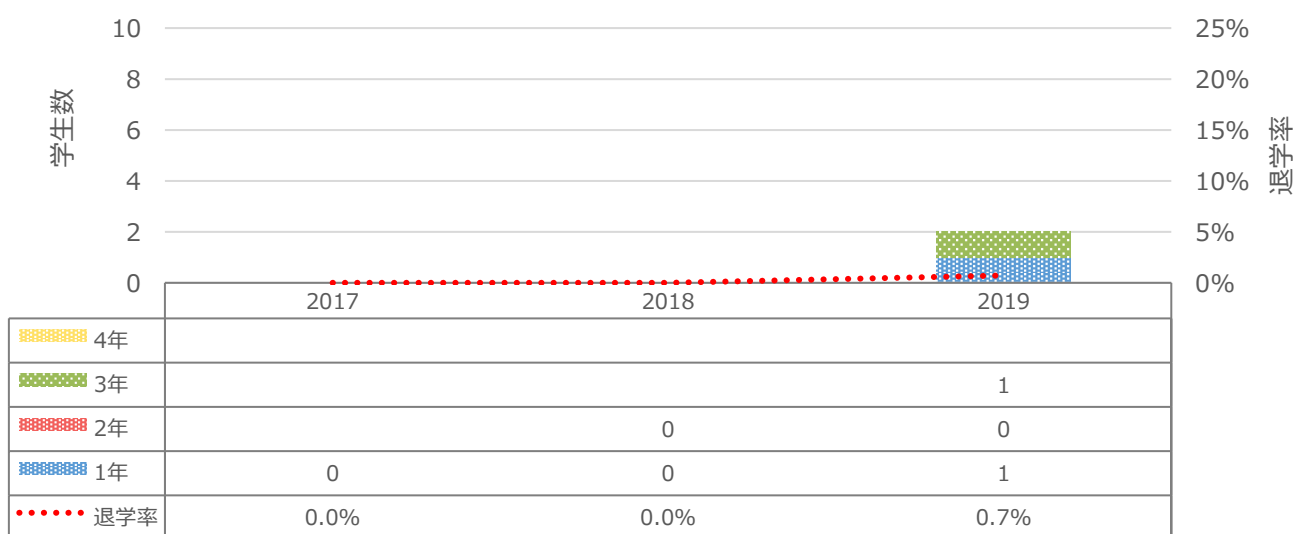
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数

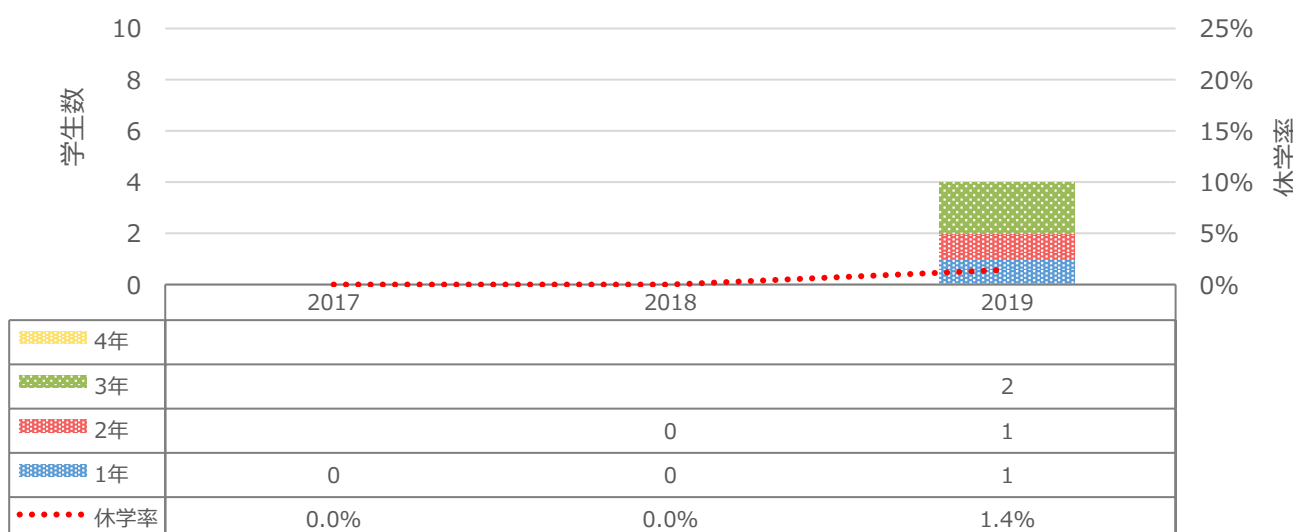
看護学部_留年者数



看護学部_退学者数



看護学部_休学者数



3-3 標準修業年限超過者割合

出典：学校基本調査（政府統計 e-Stat）

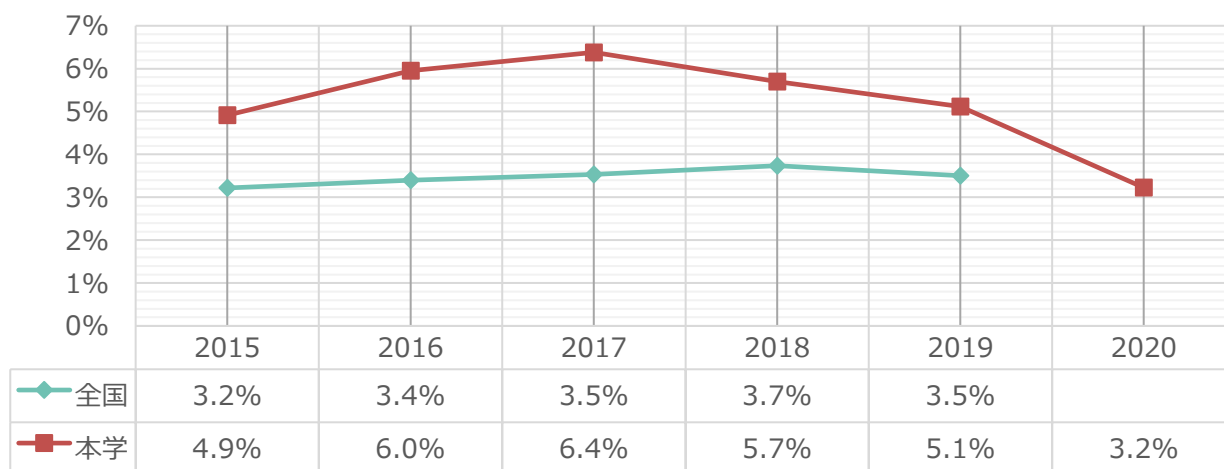
※情報が公開され次第更新予定

<https://www.e-stat.go.jp/>

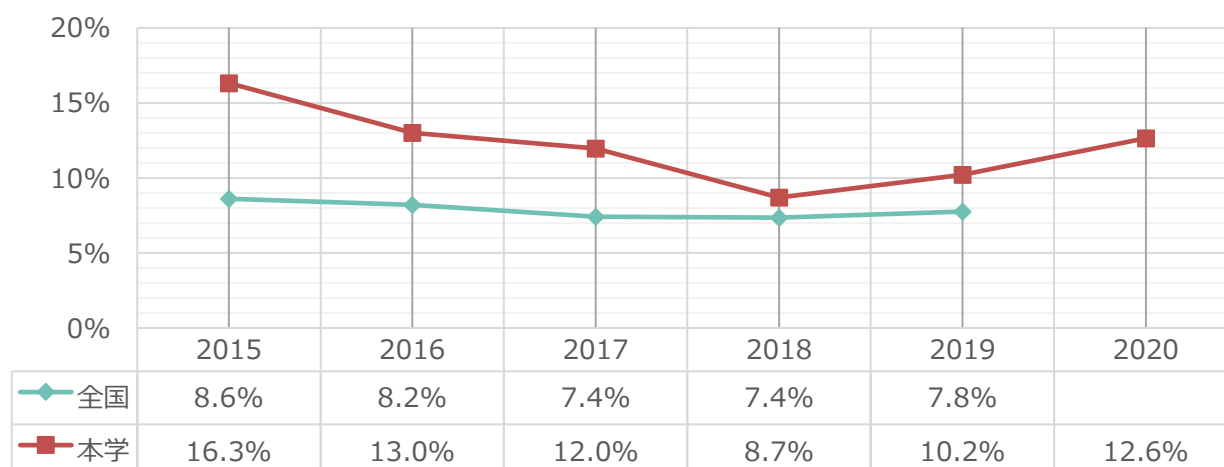
標準修業年限超過者：

大学が定めている修業年限を超過して在籍している学生。本学の場合、医・歯・薬学部は6年制であるため7年以上の在籍者、看護学部は4年制であるため5年以上の在籍者が対象となる。

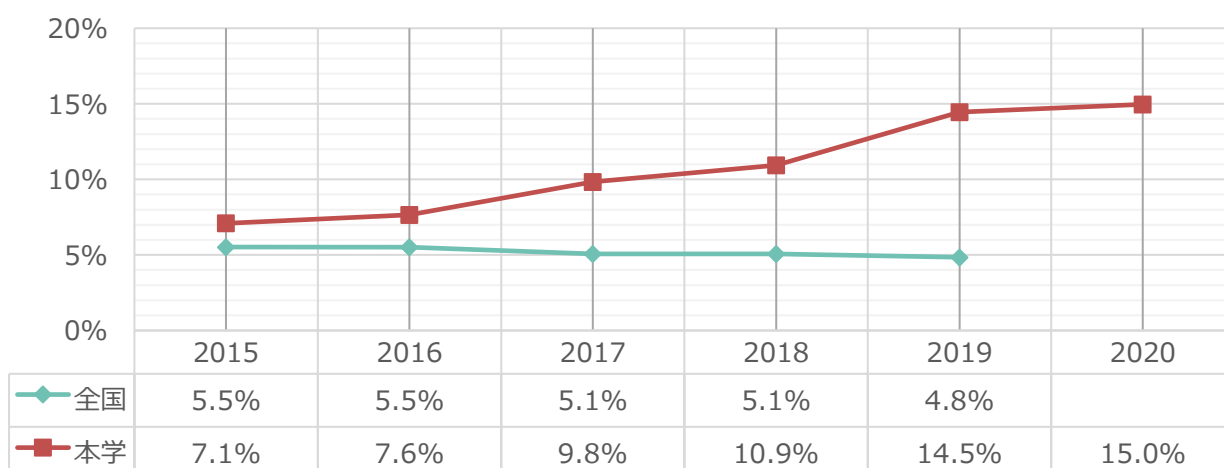
医学部



歯学部



薬学部



3-4 奨学金等受給者・受給率推移

出典データ：学事課提供

奨学金受給者：日本学生支援機構奨学金受給者

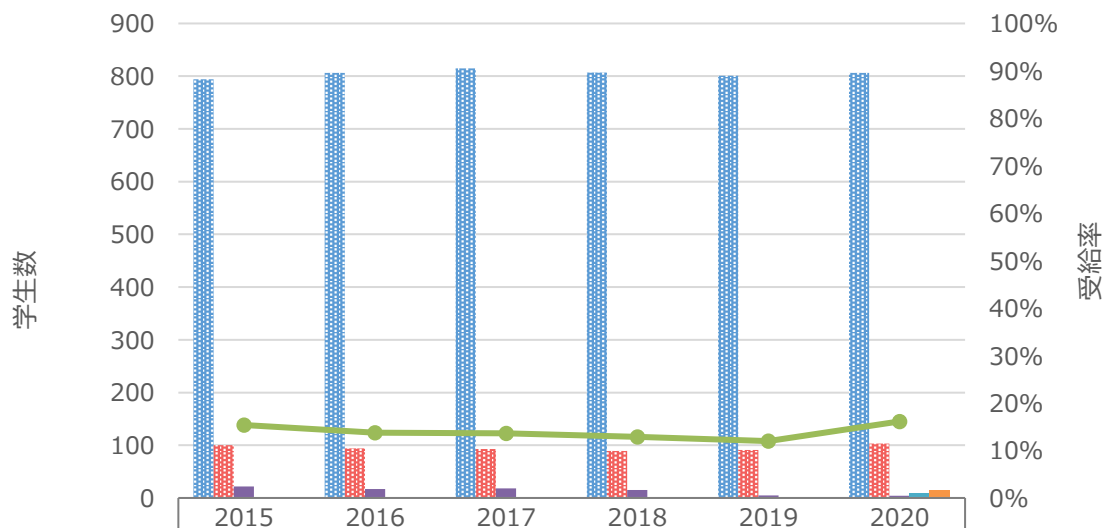
授業料等減免対象者：岩手医科大学の授業料等減免制度対象者

修学支援制度対象者：文部科学省主導の高等教育の修学支援制度対象者（2020年度より運用開始）

学生支援緊急給付金対象者：新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、「学びの継続」のための学生支援緊急給付金対象者

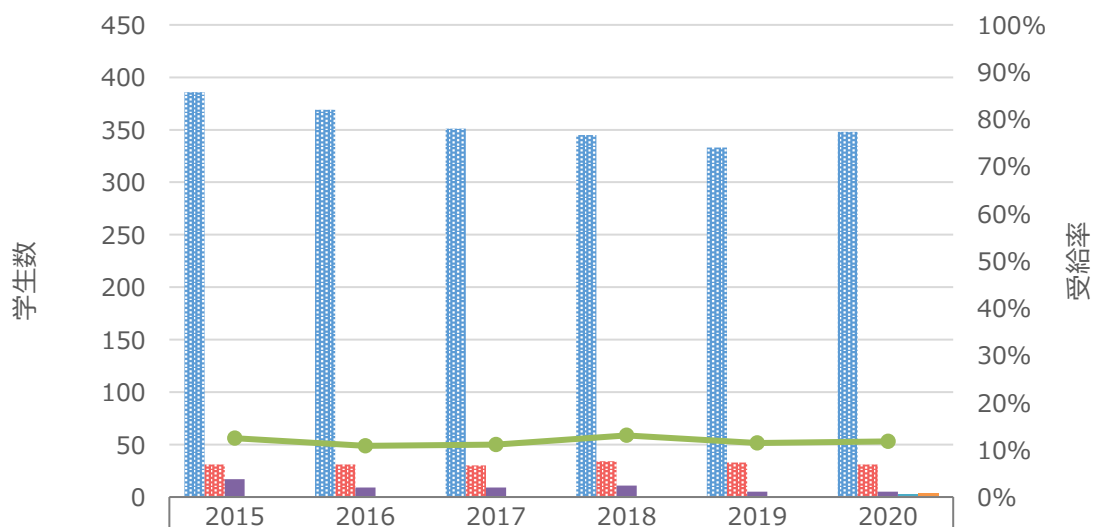
※自治体等からの奨学金を受給している人数は把握していないため、計上していない。

医学部



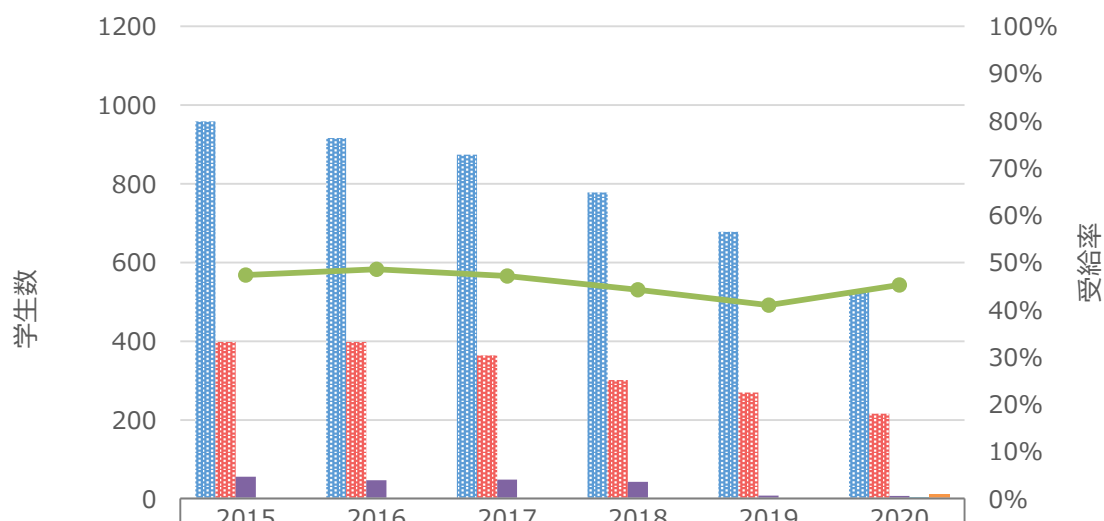
学生数	794	806	815	807	801	806
奨学金受給者数	100	94	93	89	91	103
授業料等減免対象者	22	17	18	15	5	4
修学支援制度対象者						9
学生支援緊急給付金対象者						14
受給率	15.4%	13.8%	13.6%	12.9%	12.0%	16.1%

歯学部



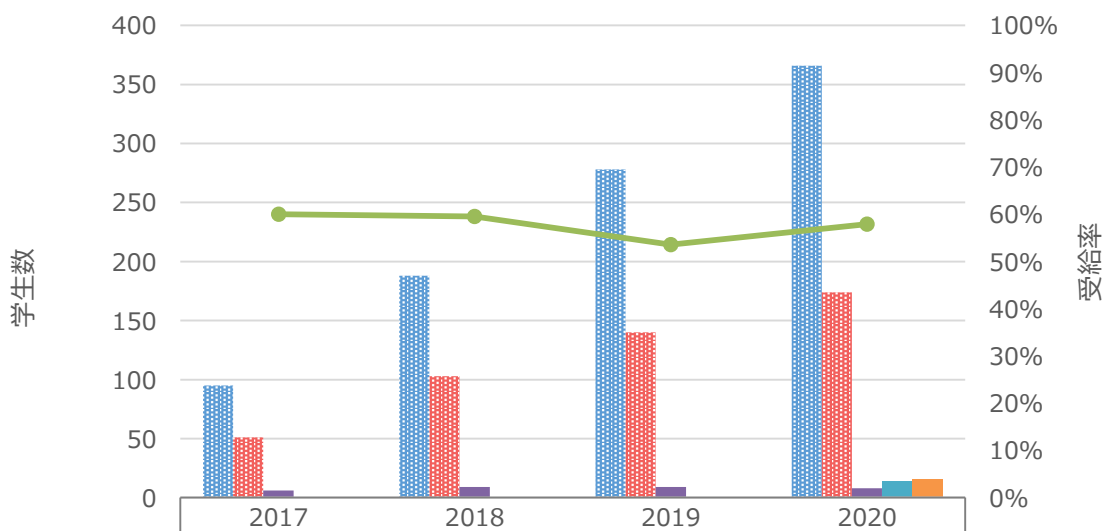
学生数	386	369	351	345	333	348
奨学金受給者数	31	31	30	34	33	31
授業料等減免対象者	17	9	9	11	5	5
修学支援制度対象者						2
学生支援緊急給付金対象者						3
受給率	12.4%	10.8%	11.1%	13.0%	11.4%	11.8%

薬学部



学生数	959	916	874	778	678	528
奨学金受給者数	398	398	364	301	270	216
授業料等減免対象者	56	47	48	43	8	7
修学支援制度対象者						4
学生支援緊急給付金対象者						12
受給率	47.3%	48.6%	47.1%	44.2%	41.0%	45.3%

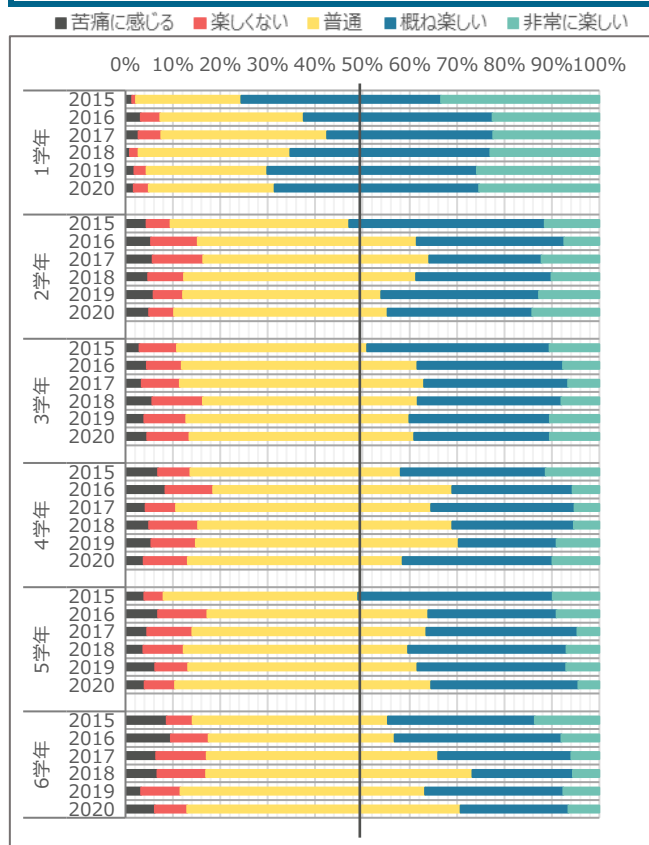
看護学部



学生数	95	188	278	366
奨学金受給者数	51	103	140	174
授業料等減免対象者	6	9	9	8
修学支援制度対象者				14
学生支援緊急給付金対象者				16
受給率	60.0%	59.6%	53.6%	57.9%

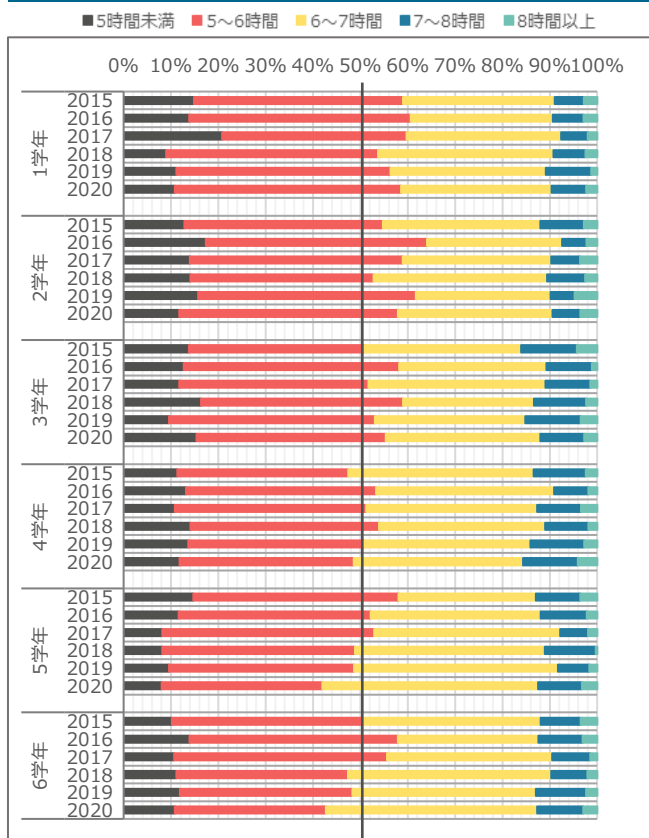
01_学生生活

学生生活は楽しいですか



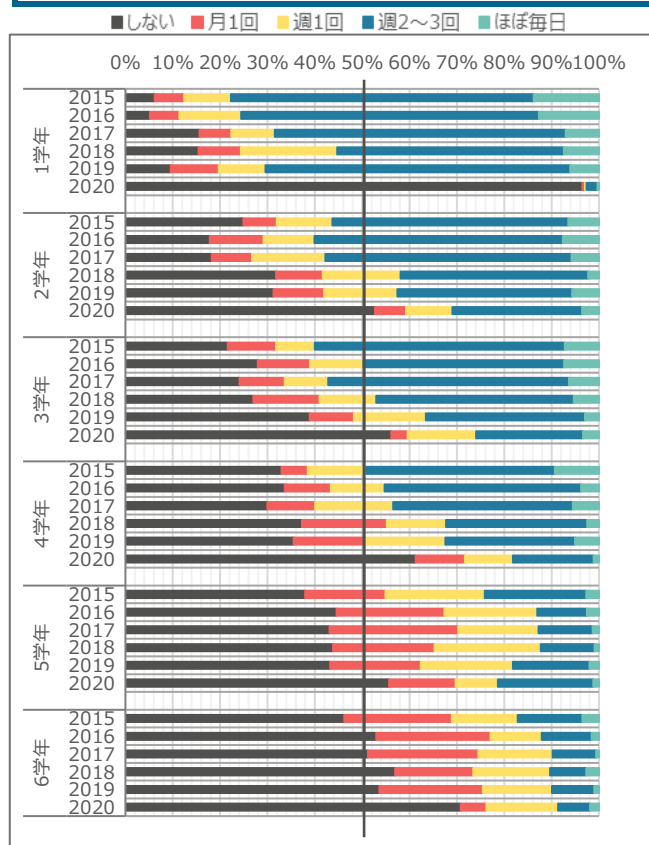
1学年時は『非常に楽しい』『概ね楽しい』の肯定的な回答が半数以上の結果となりましたが、学年が上がるにつれて肯定的な回答が減少傾向にあります。『苦痛を感じる』『楽しくない』の否定的な回答は2学年以降大きな変化はありません。

睡眠時間は1日何時間くらいですか



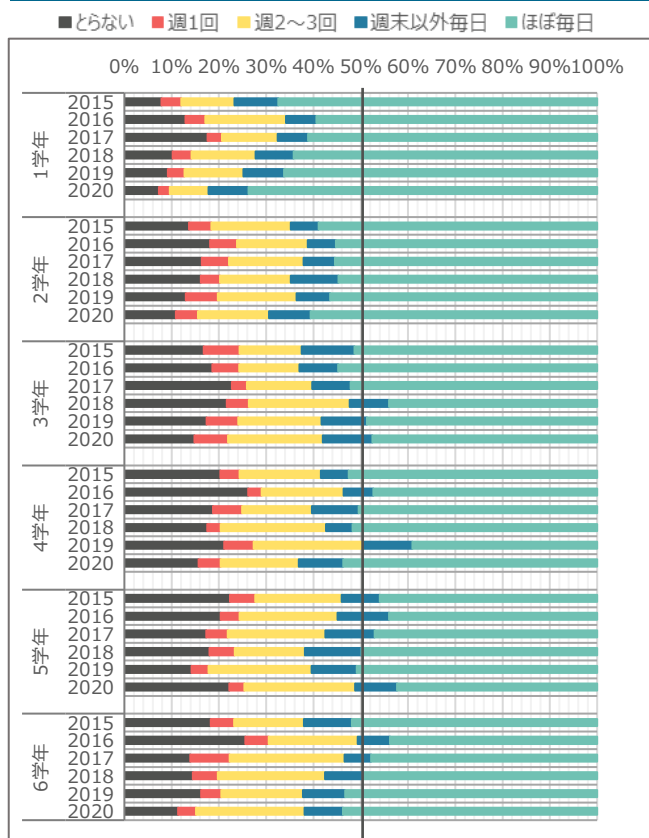
睡眠時間が6時間未満の回答が約半数を占めています。各学年・各年度で回答結果に大きな変化は見られません。

クラブ活動に参加していますか



クラブ活動への参加率は学年が上がるごとに減少傾向にあります。また、同学年でもクラブ活動への参加率が年々減少傾向にあります。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響によって、学生のクラブ活動が

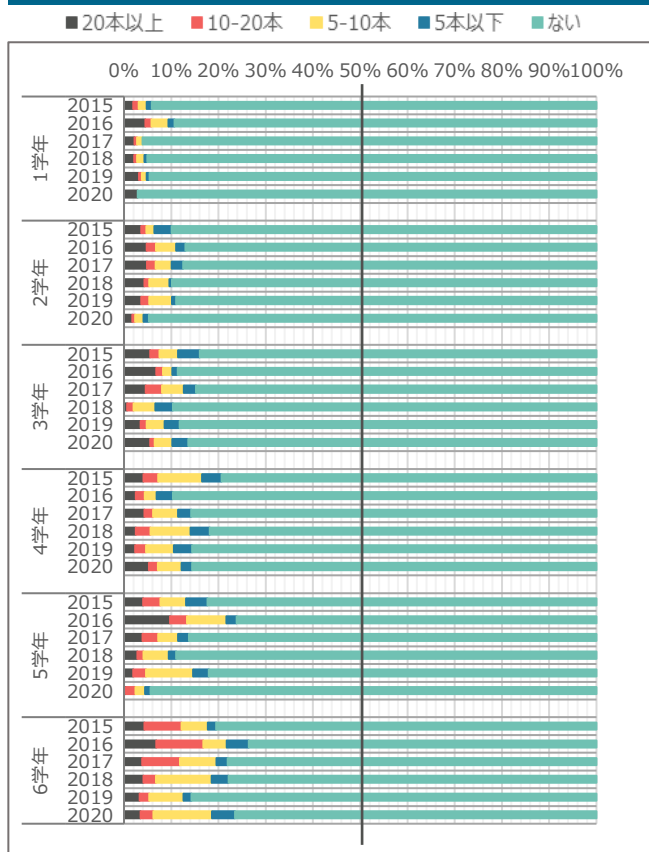
朝食は摂りますか



『ほぼ毎日』朝食を摂るの回答が約半数を占めています。朝食を『とらない』の回答も一定数いますが、近年は減少傾向にあります。

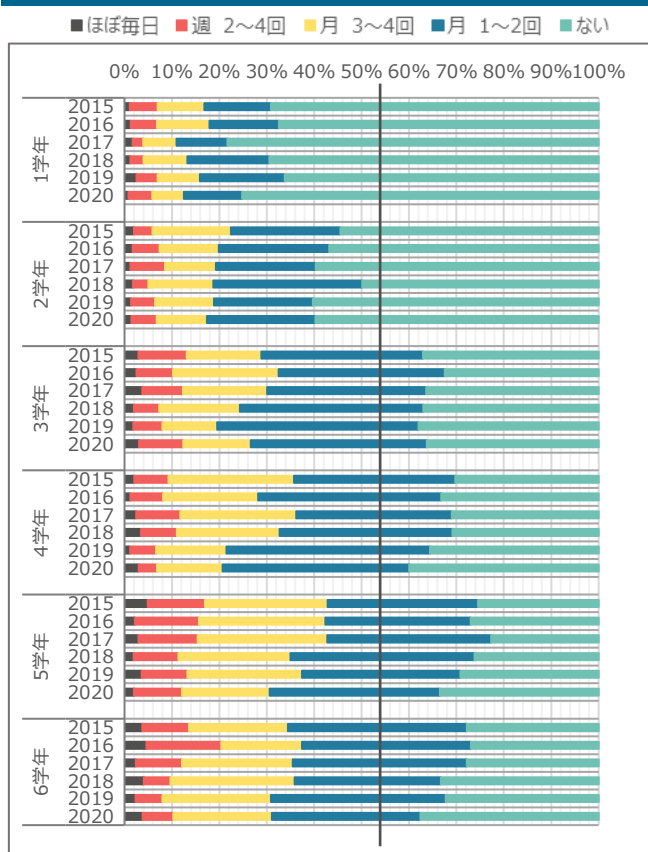
01_学生生活

喫煙習慣はありますか



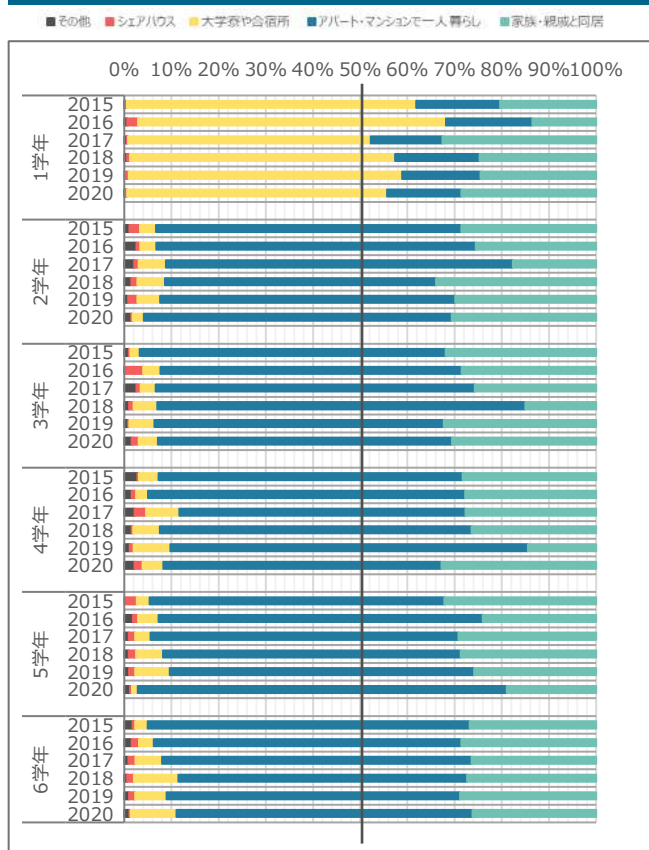
喫煙習慣が『ない』の回答がほとんどの学年で約8割以上を占める結果となりました。学年が上がるにつれて喫煙者数は増加傾向にありますが、年度間で大きな変化は見られません。

飲酒習慣はありますか



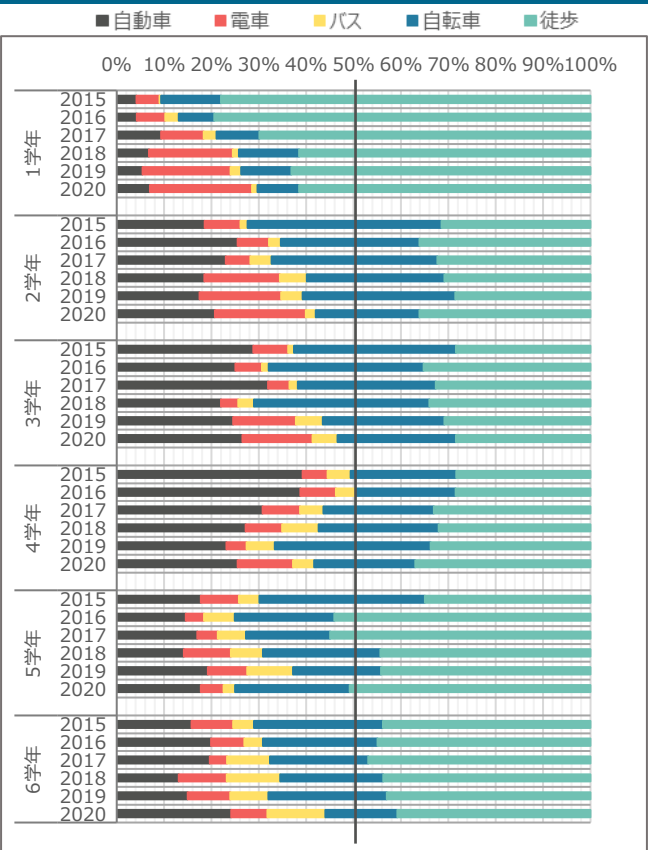
飲酒習慣が『ない』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にあります。特にストレート進級者が20歳を超える第三学年からは、飲酒習慣が『月 1〜2回』以上の回答が約6割以上を占めています。

あなたの現在の居住形態を教えてください



1学年では学生寮が主となりますが、学年が上がると『アパート・マンションで一人暮らし』の学生が半数以上となります。

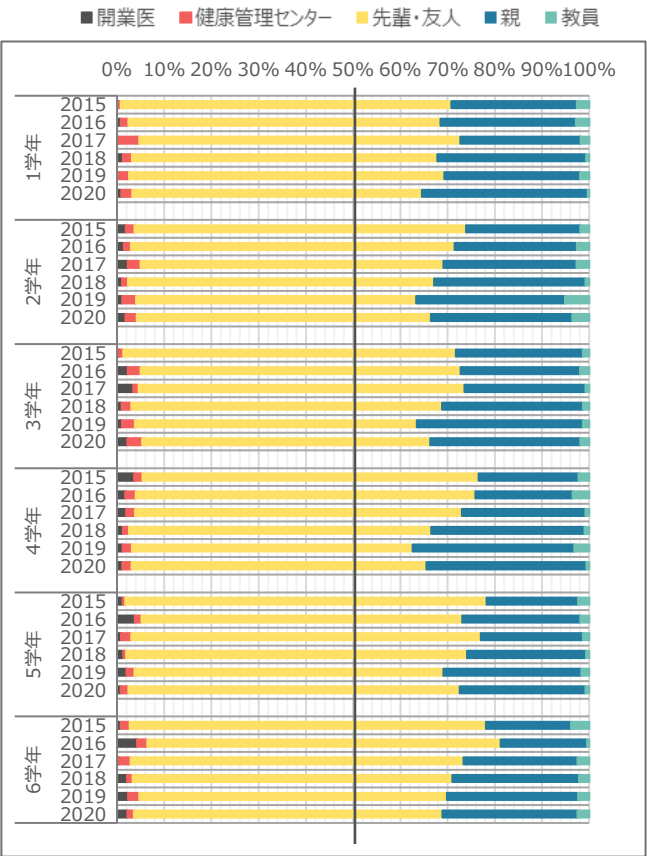
通学はどのようにしていますか



学生寮に半数以上が入寮していた1学年では徒歩での通学が6割を超え、一人暮らしの回答が半数以上あった2学年以降は自動車、自転車での通学が各2割、徒歩での通学が3割となります。また、5,6学年になると約半数の学生が徒歩通学となります。

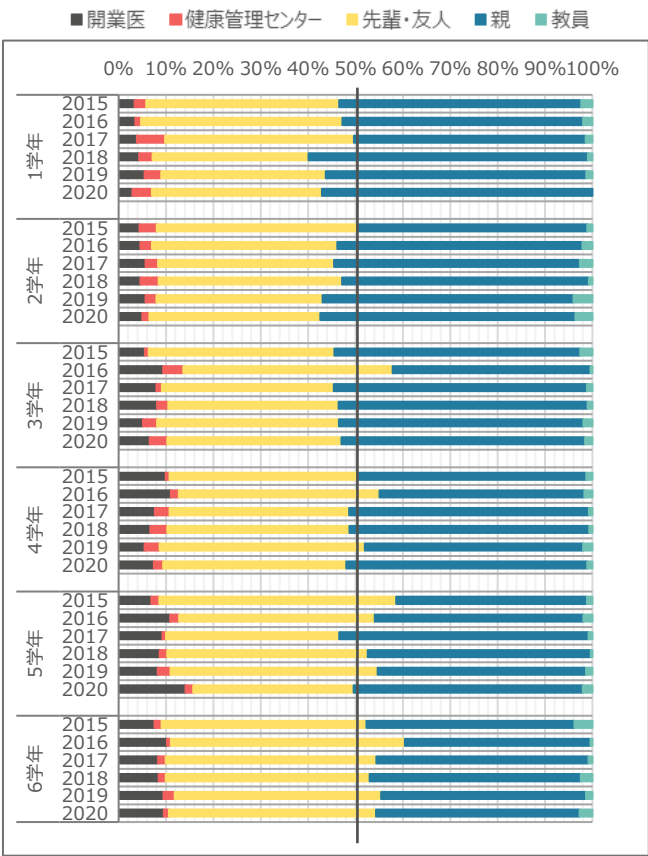
01_学生生活

精神的な悩みや人間関係トラブルは誰に相談しますか



相談する人が『先輩・友人』の回答が6割、次点で『親』の回答が2割以上を占めます。

身体的な心配事は誰に相談しますか

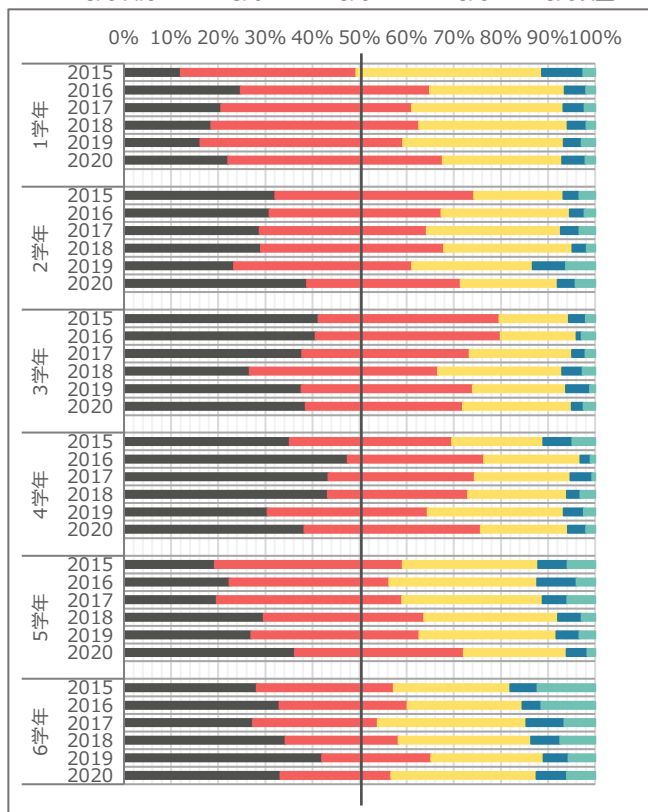


相談する人が『親』の回答が約半数、『先輩・友人』の回答が約4割となりました。3学年以降は『開業医』に相談する回答が1・2学年より増加する傾向があります。

02_勉強時間

1週間あたりどのくらい授業・実習の準備をしますか

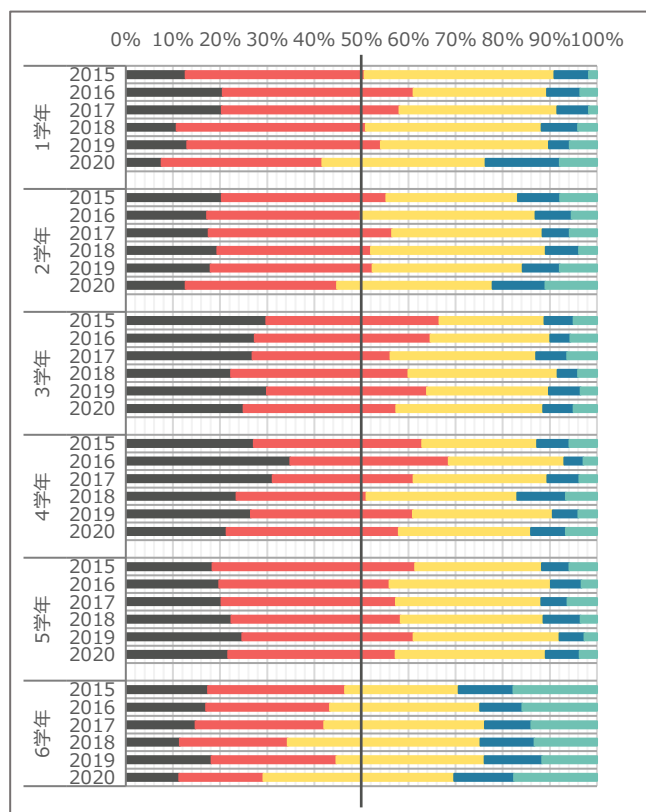
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の授業・実習の準備時間は8時間以下の回答が8割以上を占める結果となりました。『12時間以上』の回答は6学年で増加する傾向にあります。一方で、1時間未満の学生も2割～4割程度存在します。

1週間あたりどのくらい授業・実習の振り返りをしますか

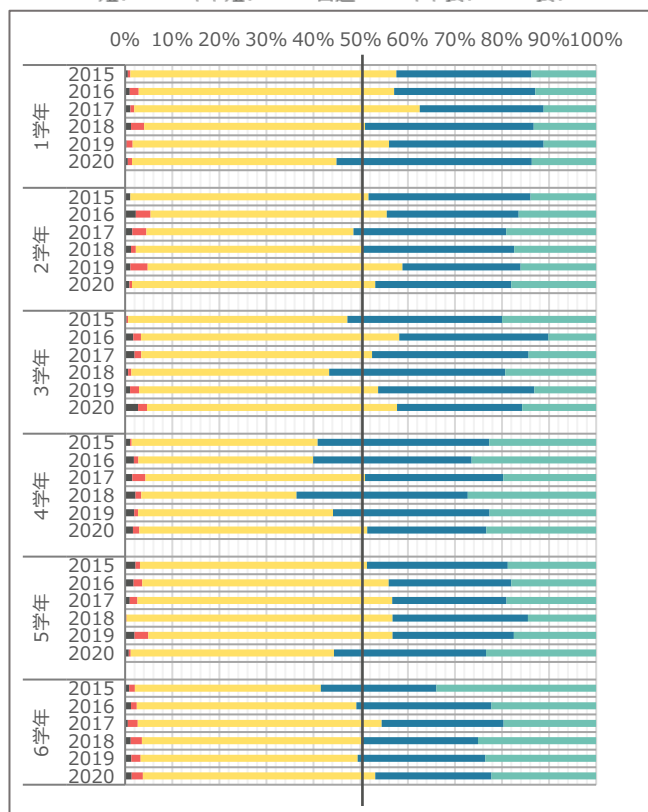
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の授業・実習の振り返り時間は、6学年以外が8時間以下の回答が8割以上を占める結果となりました。6学年では8時間以上の回答が2割以上を占める結果となり、6学年で振り返りの時間が増加する傾向にあります。

90分の授業は長く感じますか

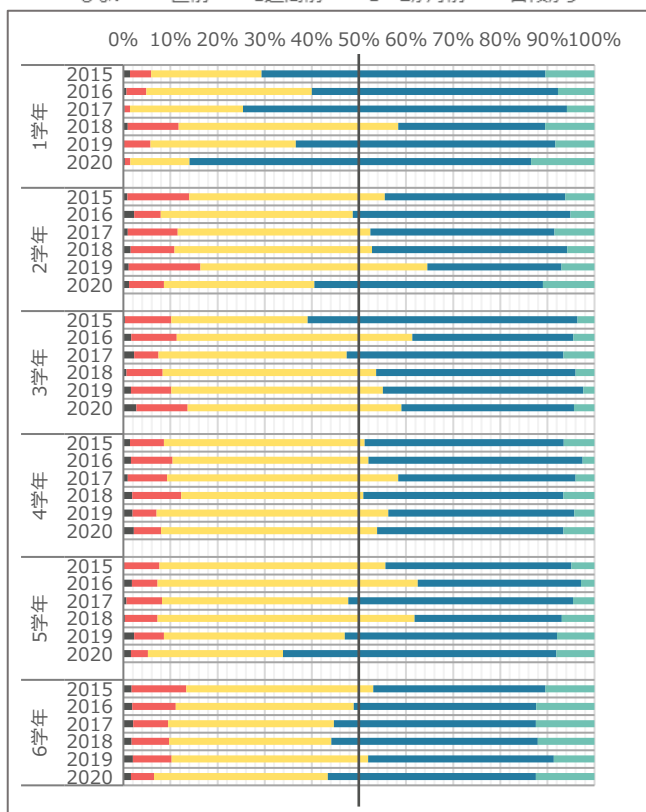
■短い ■やや短い ■普通 ■やや長い ■長い



4学年以外は『普通』と『やや長い』『長い』の回答が約半数ずつの結果となりました。4学年は2017年度以外は『やや長い』『長い』の回答が半数以上を占める結果となりました。

定期試験のための準備はいつ頃からしますか。

■しない ■直前 ■1週間前 ■1～2か月前 ■普段から

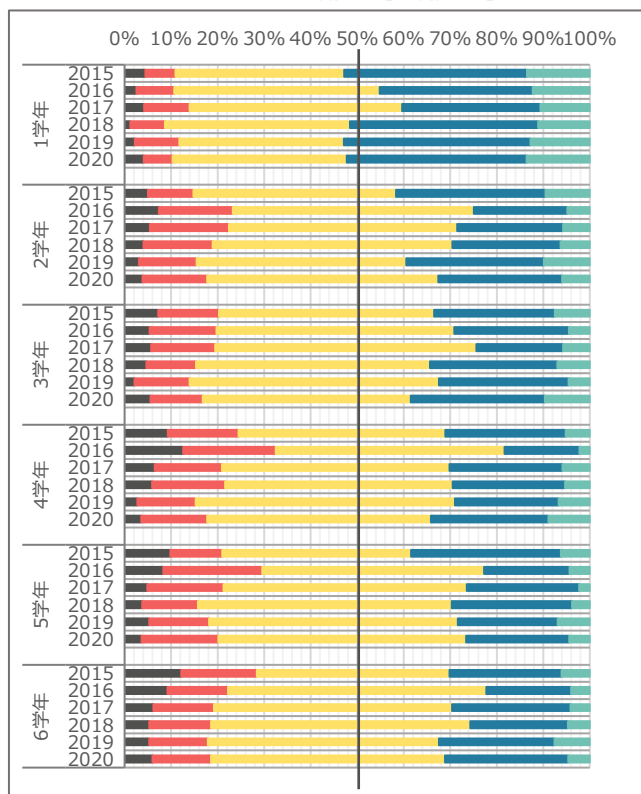


『1週間前』より前から準備を行う回答が9割近くを占めます。また、例年『直前』に準備する割合が一定数います。

03_教育課程・学生支援

大学の目指す医療人像を示した学則と学位授与方針を知っていますか

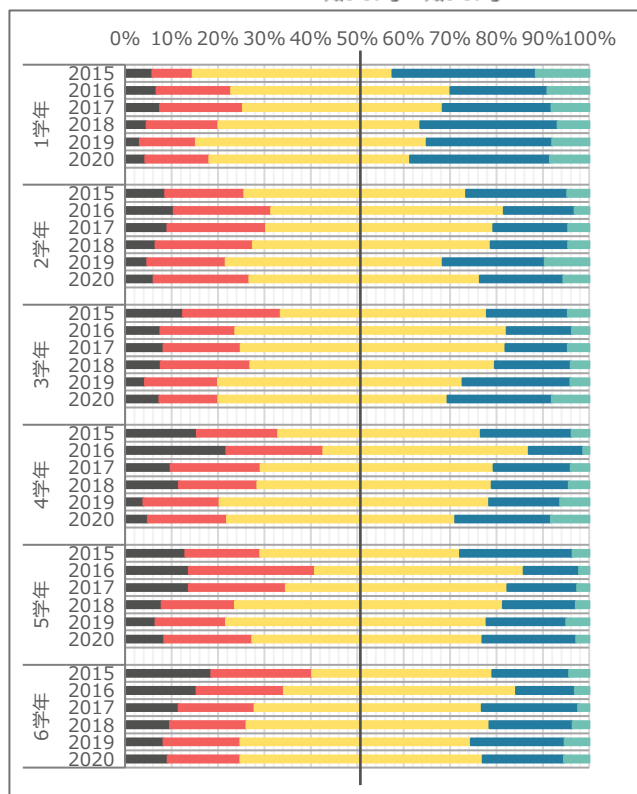
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



1学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が約半数を占めています。学年が上がると『存在は知っている』『なんとなく』の回答が増加する傾向にありますが、近年は頭打ちになっています。

学位授与方針にあわせた教育課程の概要を知っていますか

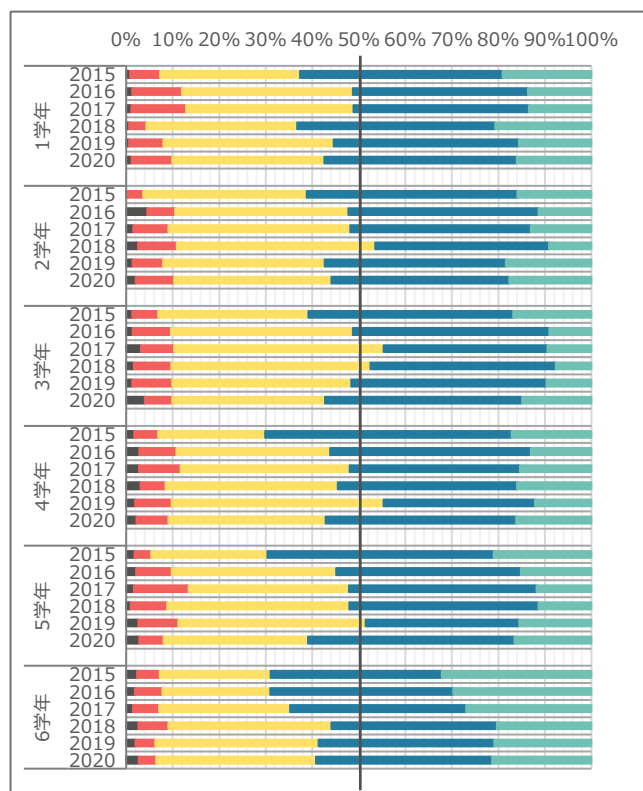
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



1学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が3割以上を占めています。学年が上がると『存在は知っている』『なんとなく』の回答が増加する傾向にあり、近年は認知度が頭打ちになっています。

卒業までにクリアしなければならない進級試験や共用試験について知っていますか

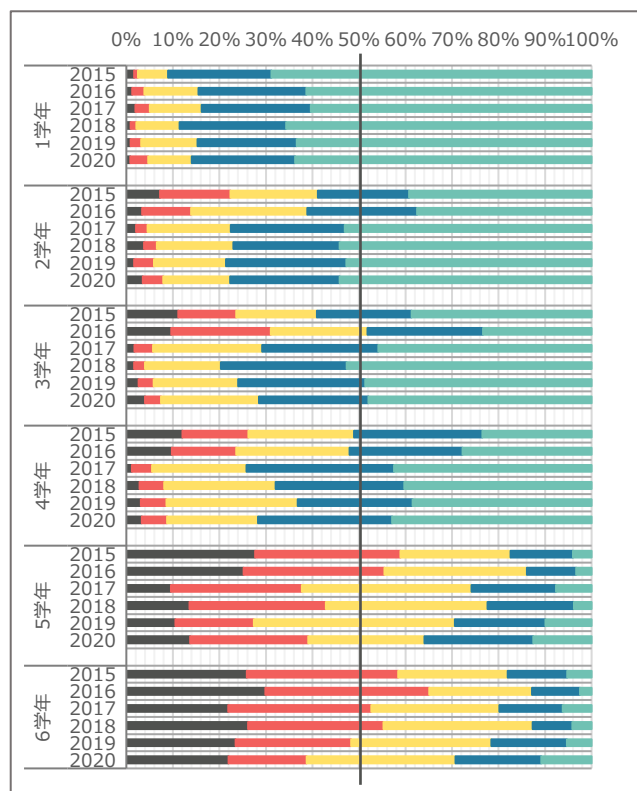
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が約半数を占めています。学年が上がると、『よく知っている』の回答が増加する傾向にあります。

シラバスの利用頻度を教えてください

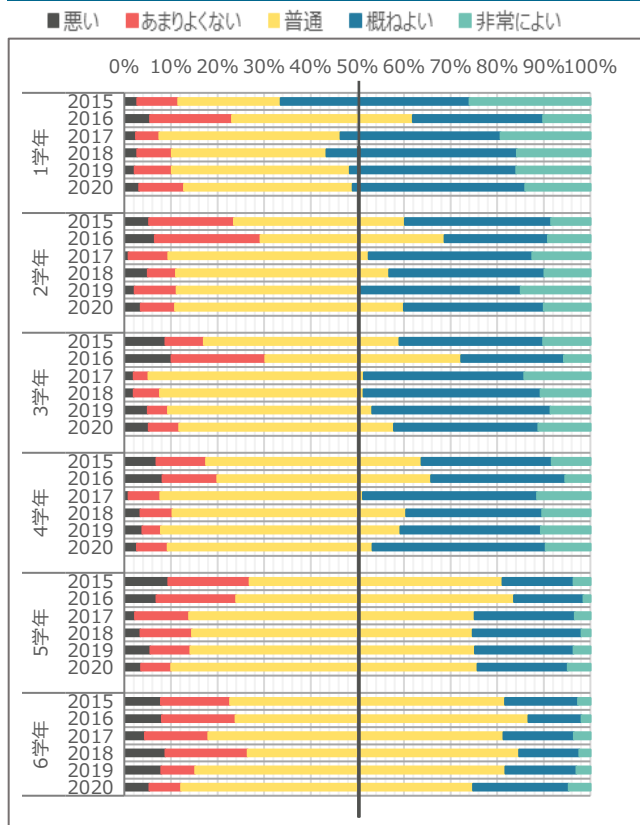
■見ない ■月1回 ■週1回 ■週2〜3回 ■毎日



学年が上がると『毎日』の回答が減少傾向にあります。特に5〜6学年は『見ない』『月1回』の回答がほとんどの年度で5割を超えます。これは臨床実習や総合講義が行われている学年であることに起因すると思われます。

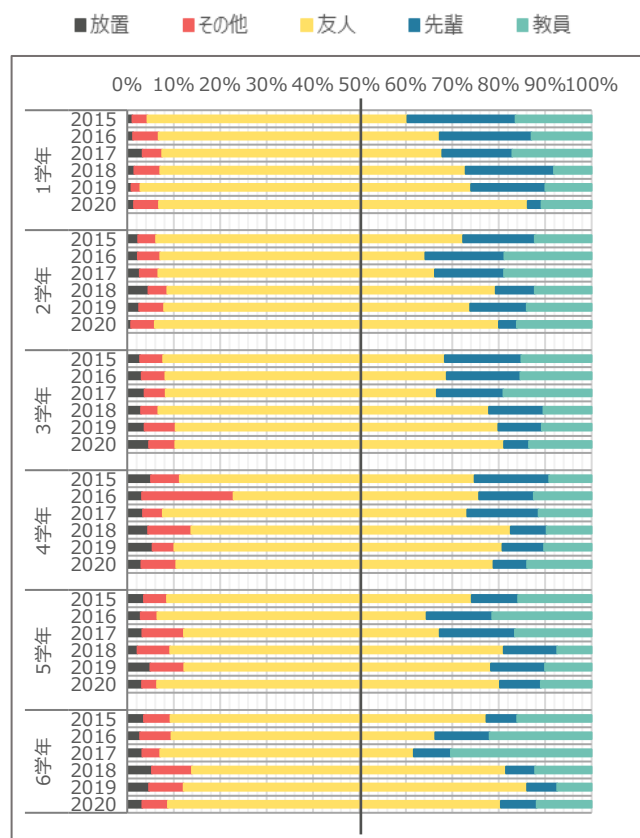
03_教育課程・学生支援

シラバスの使い勝手を評価してください



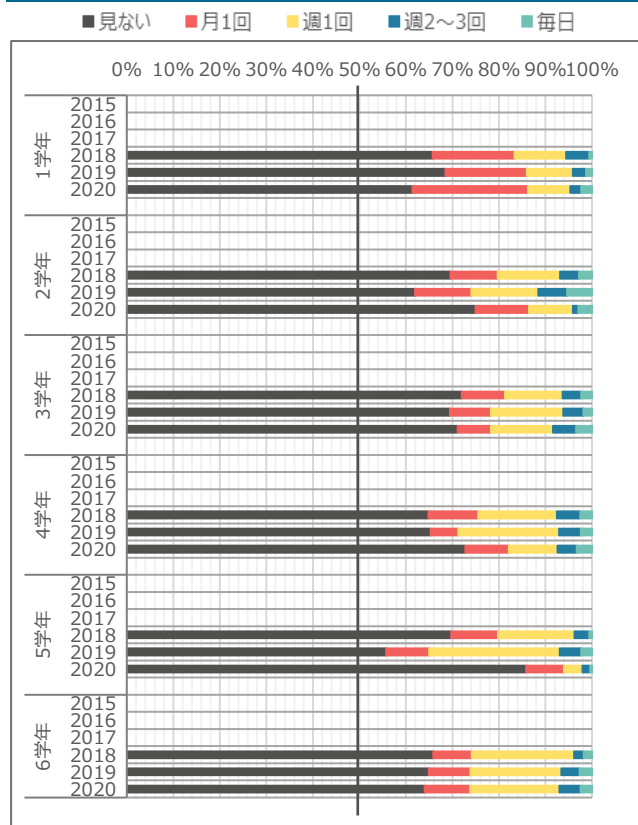
学年が上がるにつれて肯定的な回答が減少傾向にあります。6学年以外の学年では、2017年以降に否定的な回答が減少している結果となりました。

勉学上の疑問点は誰に相談しますか



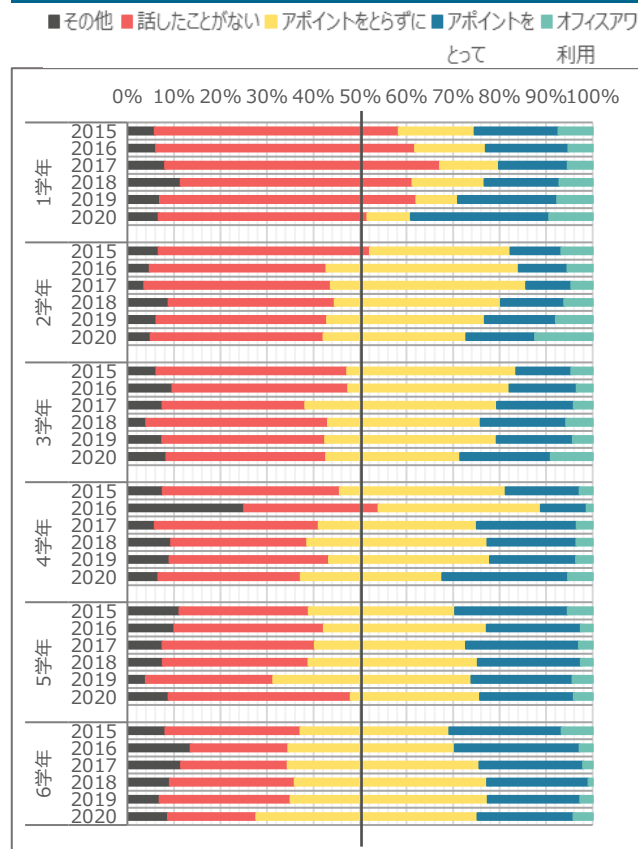
『友人』の回答が半数以上を占めています。2018年度以降、全ての学年で『先輩』『教員』の回答が減少する傾向にあり、特に2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、1年生における『先輩』の回答率が著しく低下しています。

学生生活の中で、どのくらいキャンパスライフガイドを活用していますか



6割以上が『見ない』の回答となり、シラバスと比較して利用頻度が低いことが分かります。

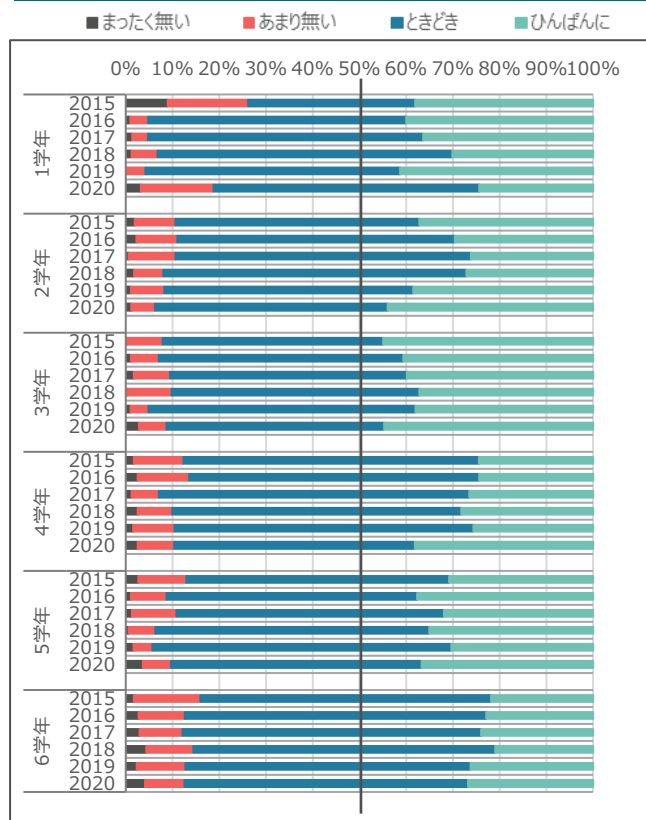
授業時間以外の教員との面談をどのように行っていますか



『話したことがない』の回答は学年が上がるごとに減少傾向にあり、教員との面談機会が増えていることが分かります。

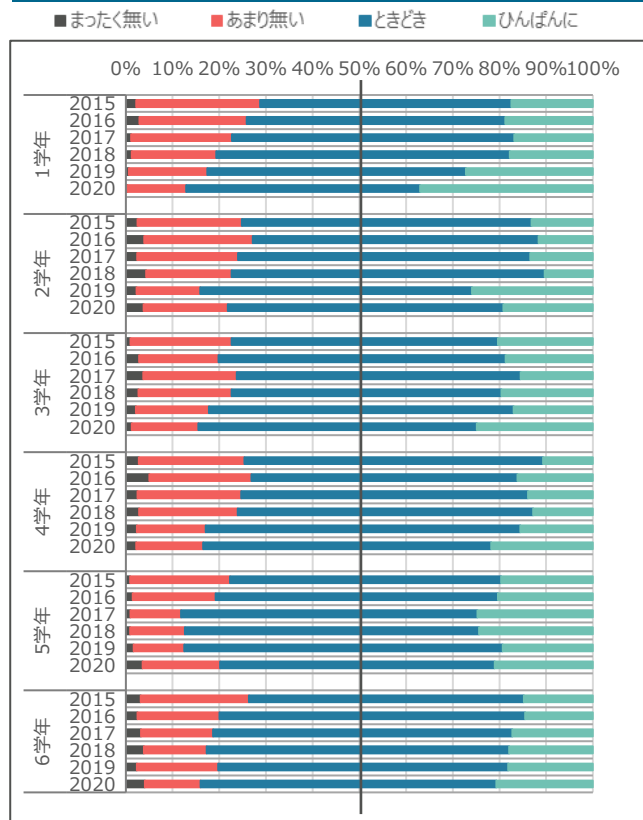
04_授業・実習での経験

実験、実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ



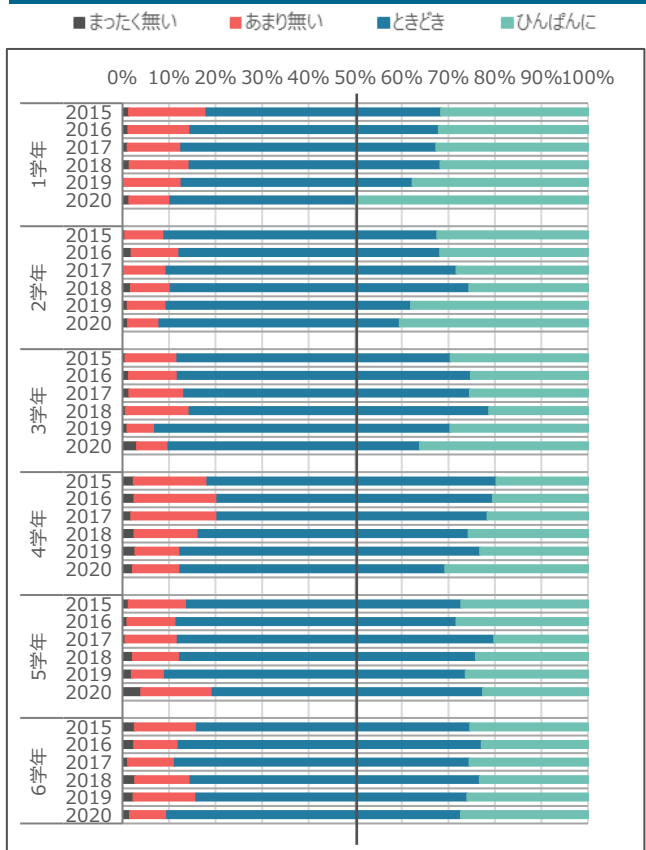
『とときどき』『ひんぱんに』の回答がほとんどの学年、年度で8割を超えており、アクティブ・ラーニングが浸透していることが伺えます。一方で、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、第1学年では『あまり無い』が増加しています。

学生自身が文献や資料を調べる



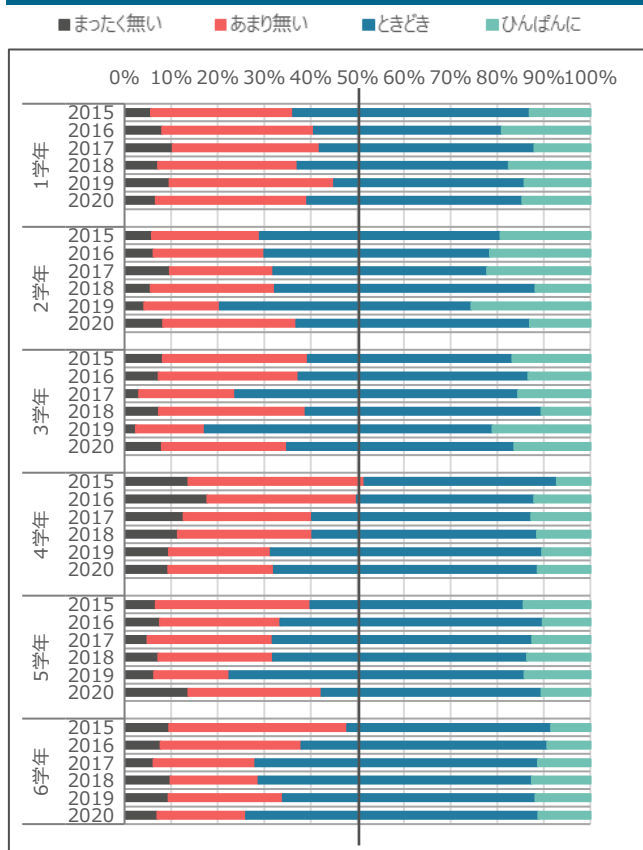
『とときどき』『ひんぱんに』の回答が8割程度を維持しています。

小テストやレポートなどで学修進度が明示される



『とときどき』『ひんぱんに』の回答が8割以上を維持しています。

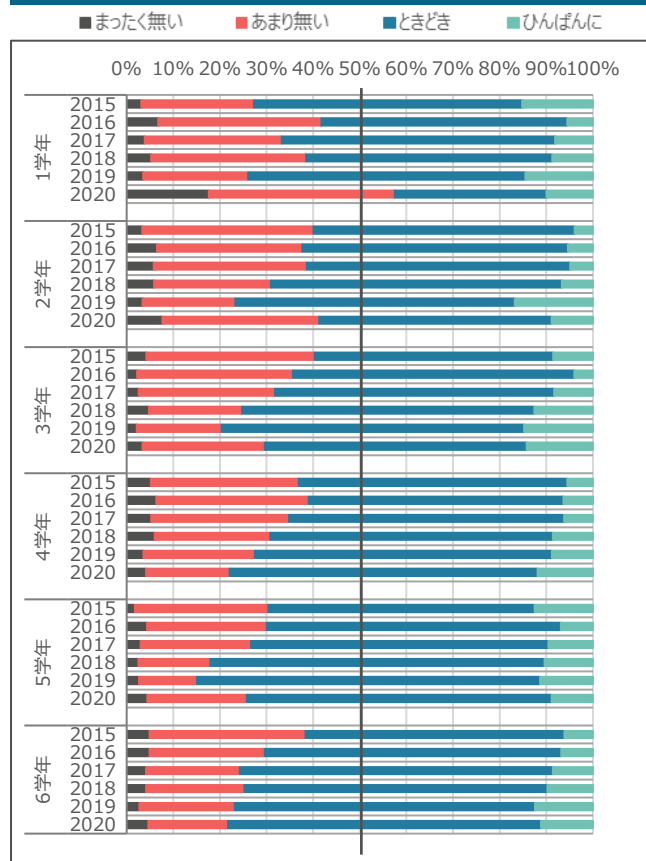
教員が添削やコメントをした提出物の返却



『まったく無い』『あまり無い』の回答が比較的多く、教員による転削やコメントが求められている可能性があります。

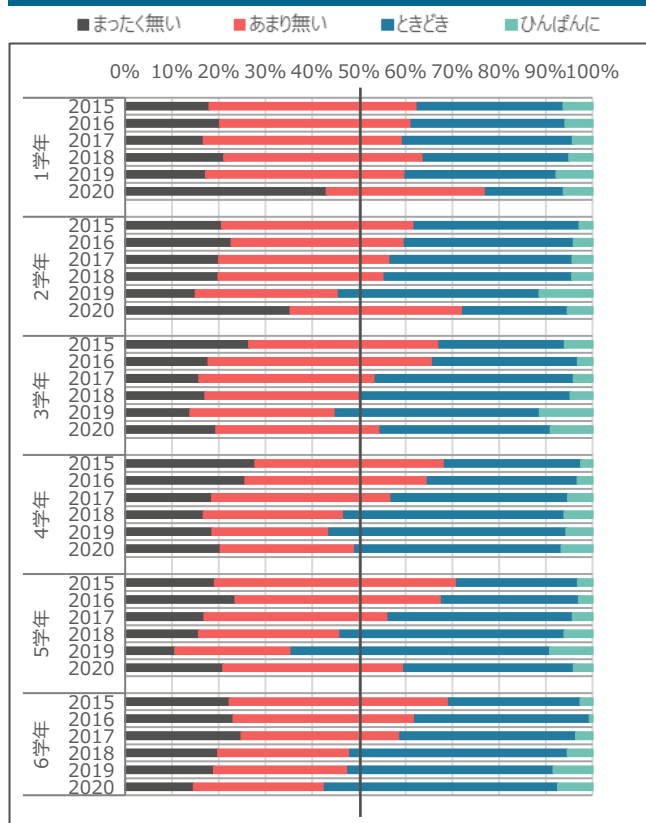
04 授業・実習での経験

学生が自分の考えや研究を発表する



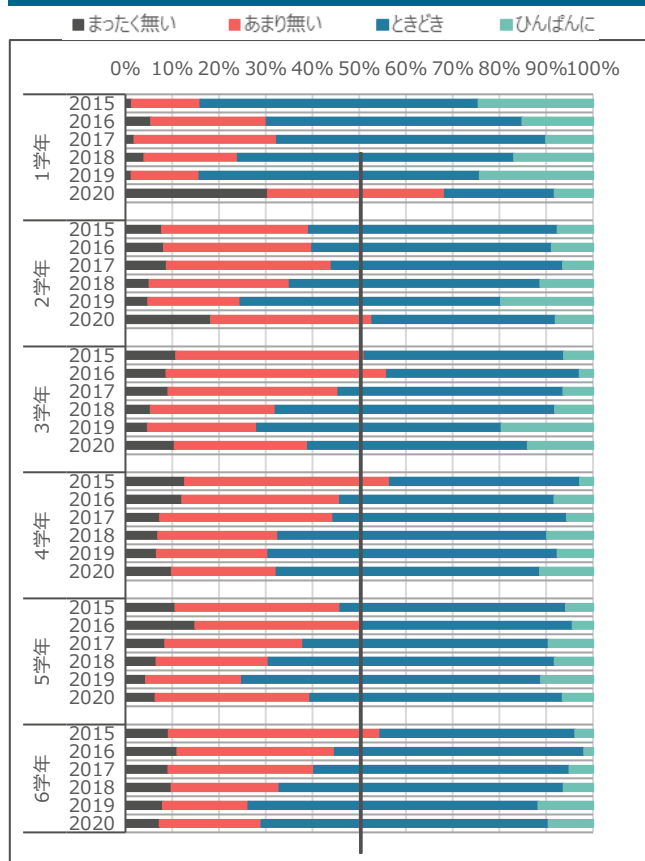
年度を追うごとに全ての学年で『とさどき』『ひんぱんに』の回答が増加しており、2019年度は全学年で7割を超えていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が増加している学年があります。

授業で検討するテーマを学生が設定する



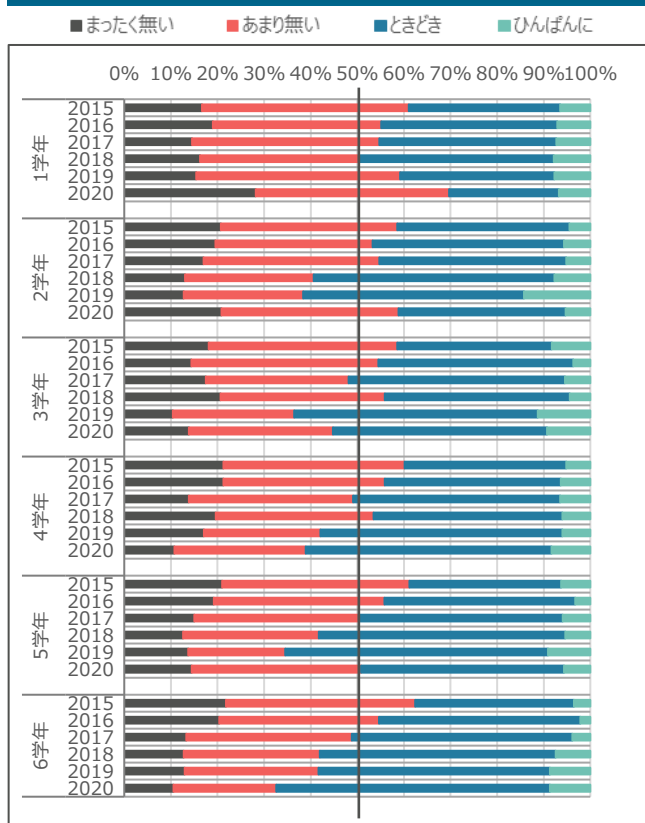
『まったく無い』『あまり無い』の回答がほとんどの学年、年度で5割を超えて、1学年以外では学生がテーマ設定を行う機会が年々増加していますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が低学年で増加しています。

授業中に学生同士が議論をする



『とさどき』『ひんぱんに』の回答は1学年で特に多く、2学年以上でも、年度が経つて議論の場が増加している傾向がありましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が低学年で増加しています。

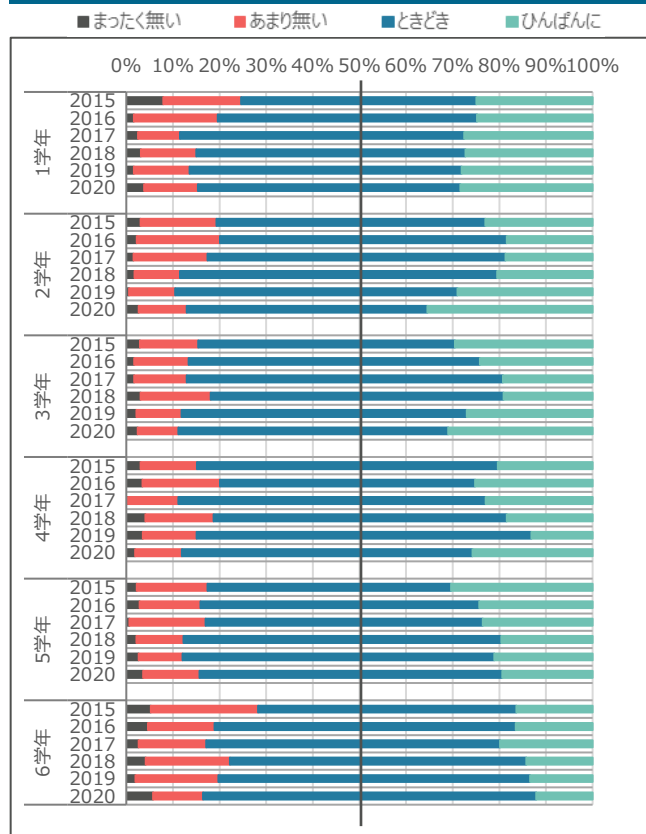
授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



ほとんどの学年で『とさどき』『ひんぱんに』の回答が増加しており、年々学生の意見を取り入れる機会が増加している傾向がありますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が低学年で増加しています。

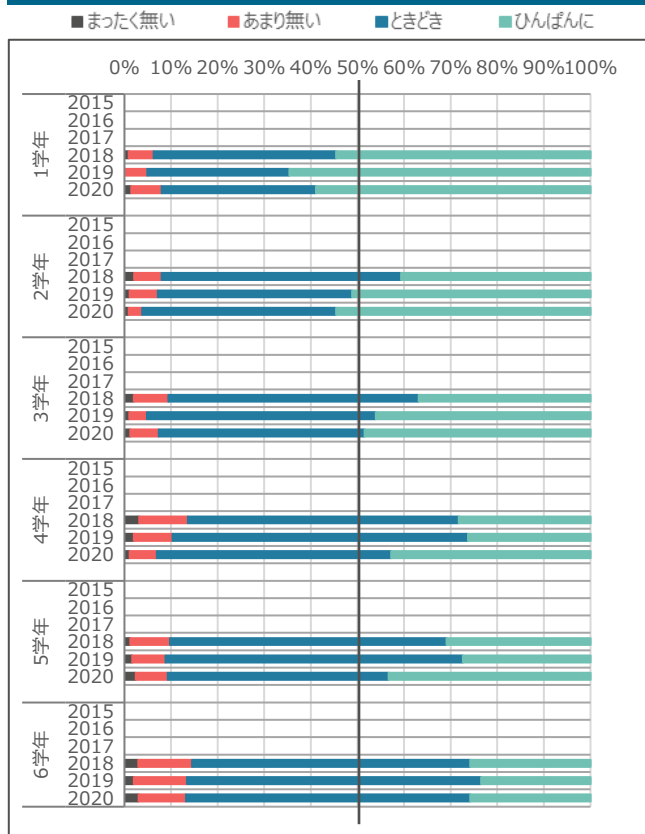
04 授業・実習での経験

実習で教員から助言・補助を受ける



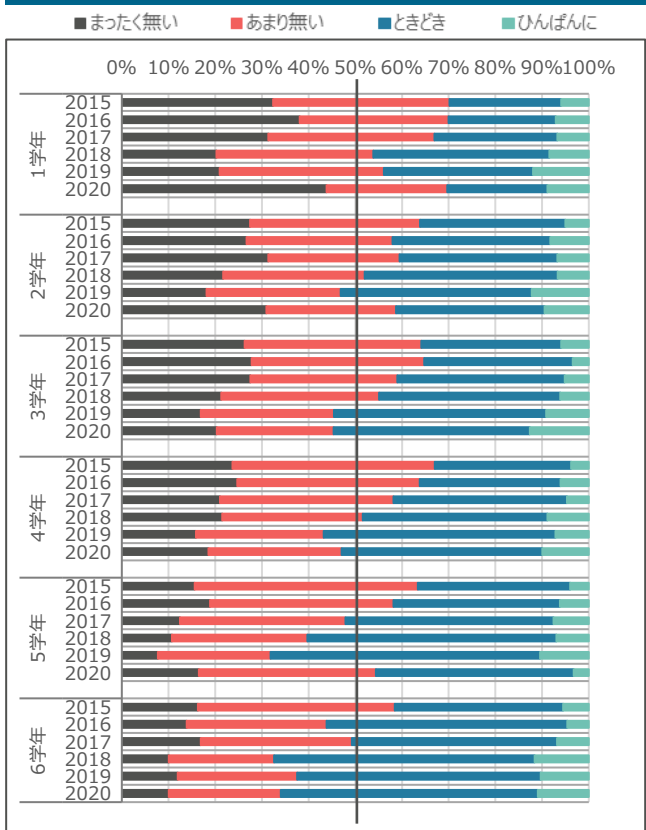
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が7割以上を占める結果となりました。5,6学年は『ひんぱんに』の回答が減少傾向にあります。

授業・実習に積極的に参加した



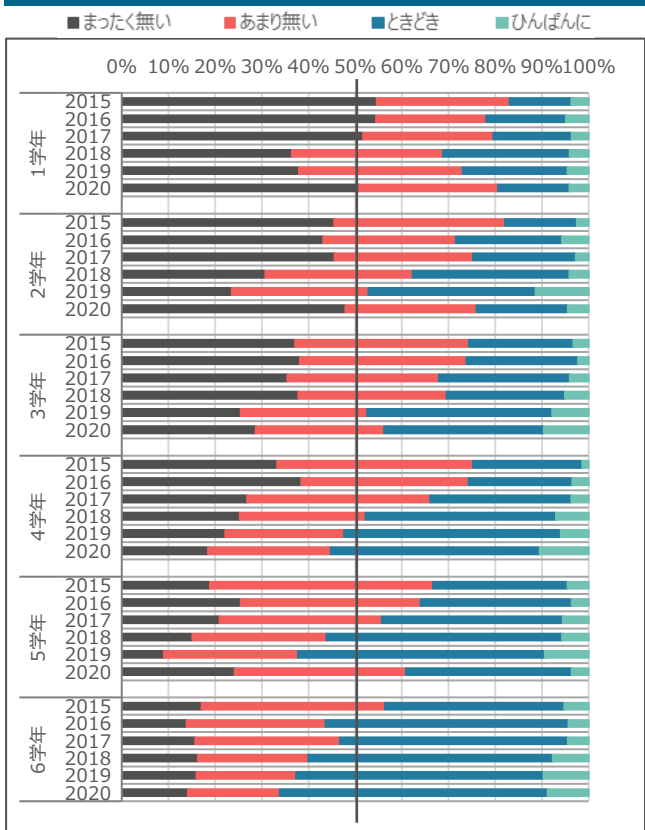
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が8割以上を占める結果となりました。学年が上がるごとに『ひんぱんに』の回答が減少し、『あまりない』の回答が増加しています。

教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加する



ほとんどの学年、年度で『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加傾向にありましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で勉強会等が制限されており、その影響が伺えます。

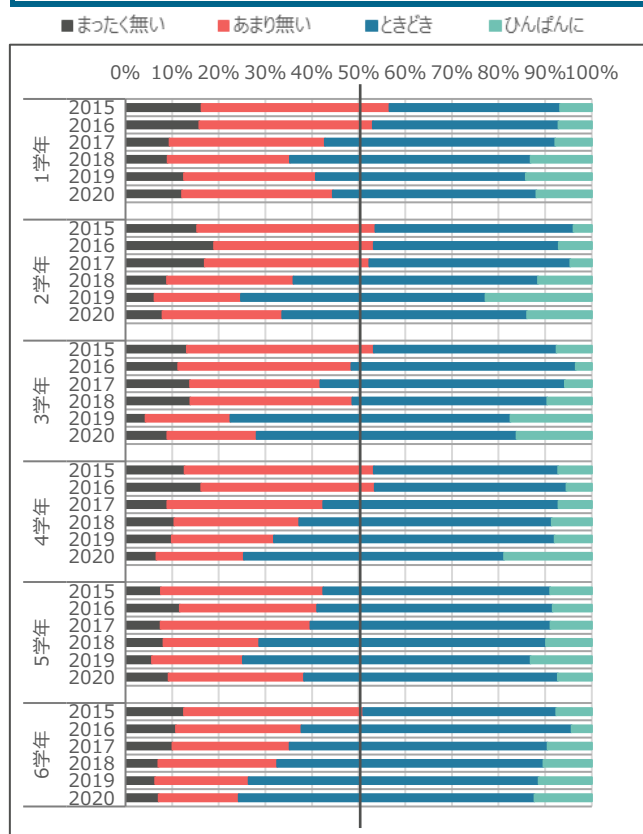
大学の教職員に卒業後の進路や職業選択などを相談する



『ときどき』『ひんぱんに』の回答は学年が上がるごとに増加していることが分かります。また、同一学年で見ても年々その割合が増加しています。

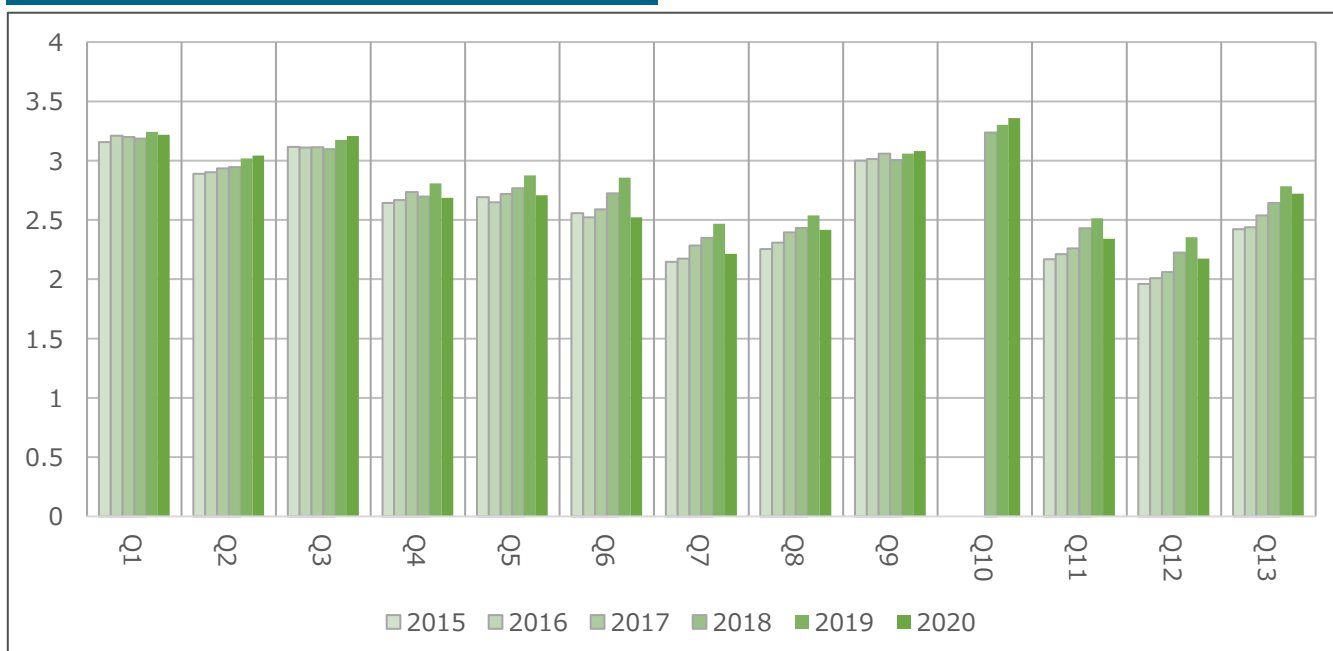
04_授業・実習での経験

授業・実習を通じて教員に親近感を感じる



『ときどき』『ひんぱんに』の回答が年々増加しています。特に2学年以上で教員に親近感を感じている学生が多い傾向があります。

「授業・実習での経験」各設問の平均スコア



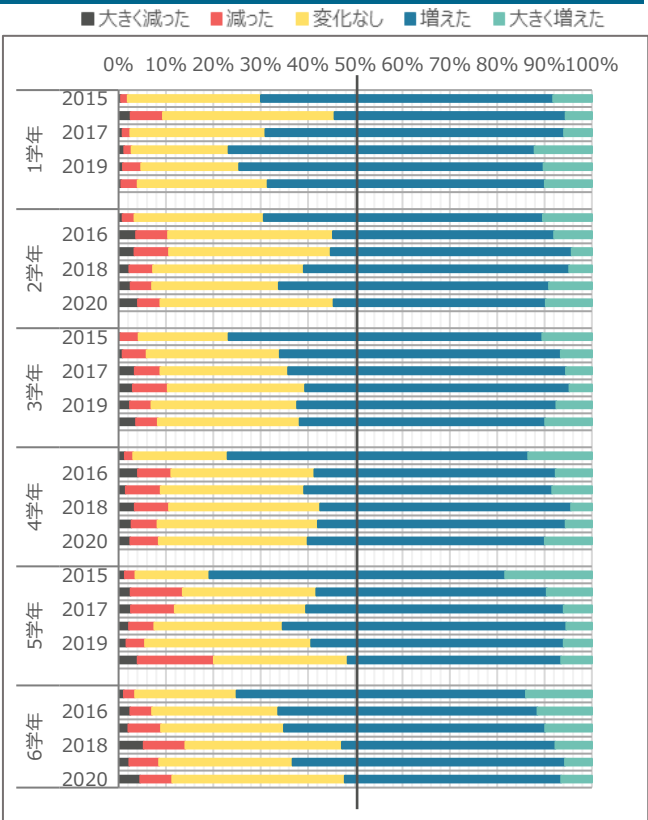
【設問】

- Q1_ 実験、実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- Q2_ 学生自身が文献や資料を調べる
- Q3_ 小テストやレポートなどで学修進度が明示される
- Q4_ 教員が添削やコメントをした提出物の返却
- Q5_ 学生が自分の考えや研究を発表する
- Q6_ 授業中に学生同士が議論をする
- Q7_ 授業で検討するテーマを学生が設定する
- Q8_ 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- Q9_ 実習で教員から助言・補助を受ける

- Q10_ 授業・実習に積極的に参加した
- Q11_ 教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加する
- Q12_ 大学の教職員に卒業後の進路や職業選択などを相談する
- Q13_ 授業・実習を通じて教員に親近感を感じる

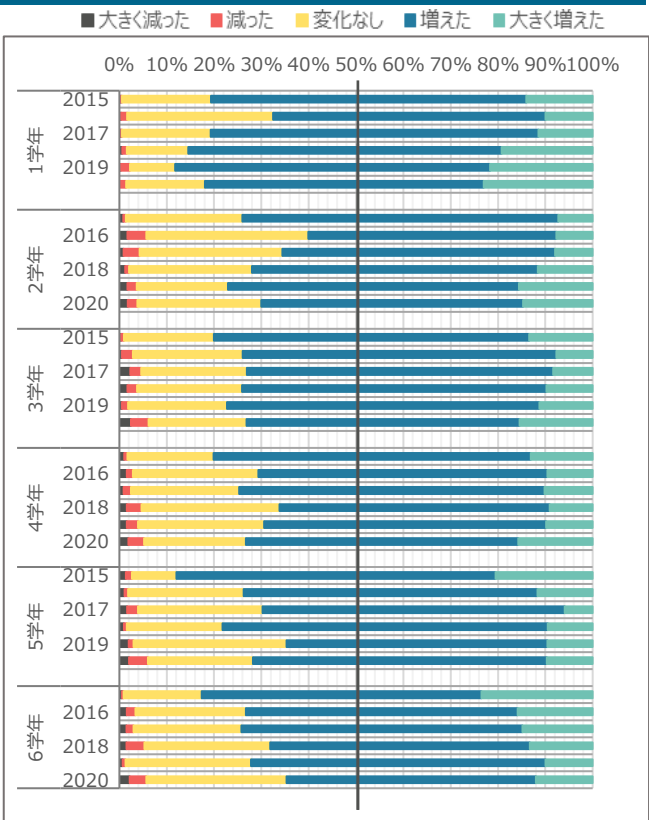
05_成長自己評価

一般的な教養



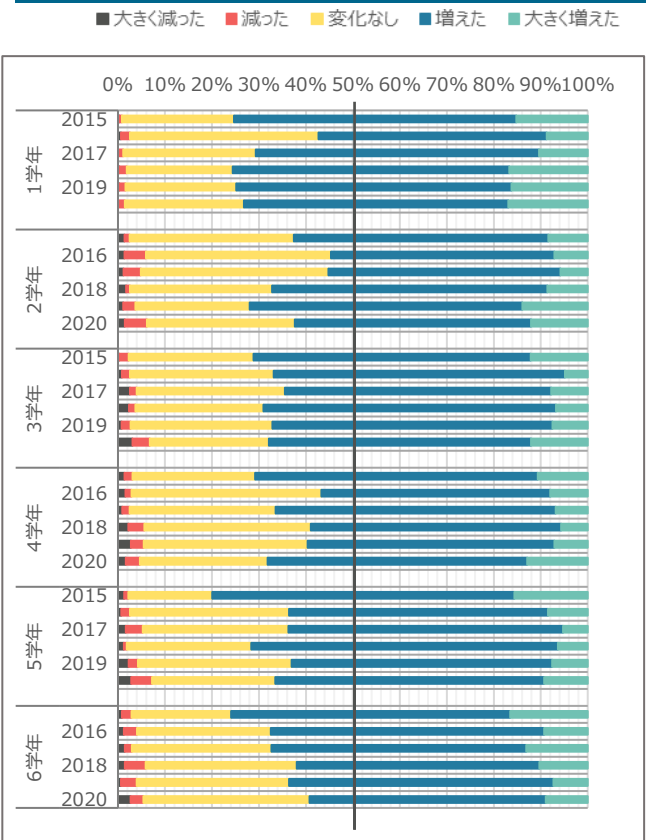
『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね6割前後となっており、主に教養科目を履修する第1学年で高くなります。

医療人に求められる倫理性



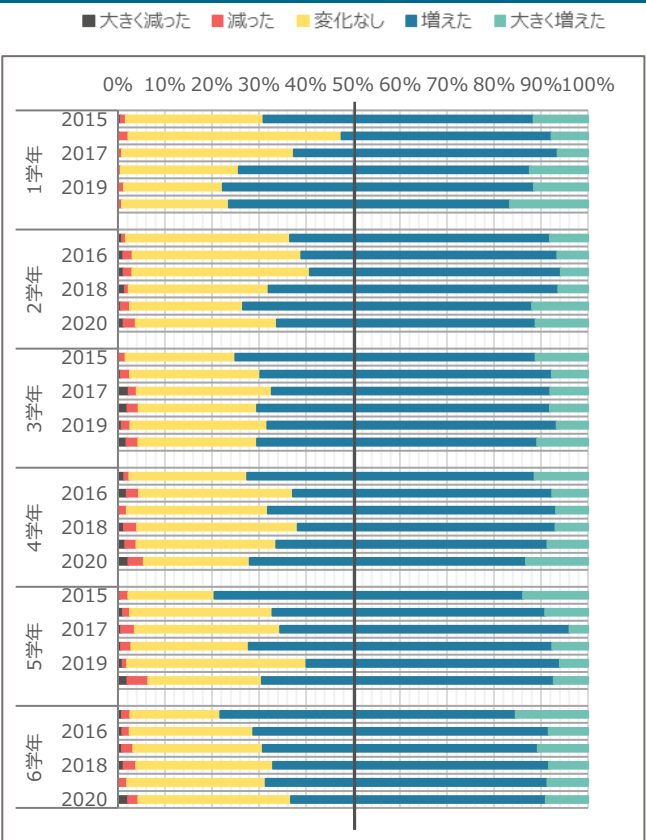
『増えた』『大きく増えた』の回答が6割を超え、7割近くに達しています。特に第1学年での成長度合いが高くなる傾向があります。

他の人のために働く利他的行動



『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね6割を占めます。年度ごとの変化はあまり見られませんが、第6学年では低下傾向が見られます。

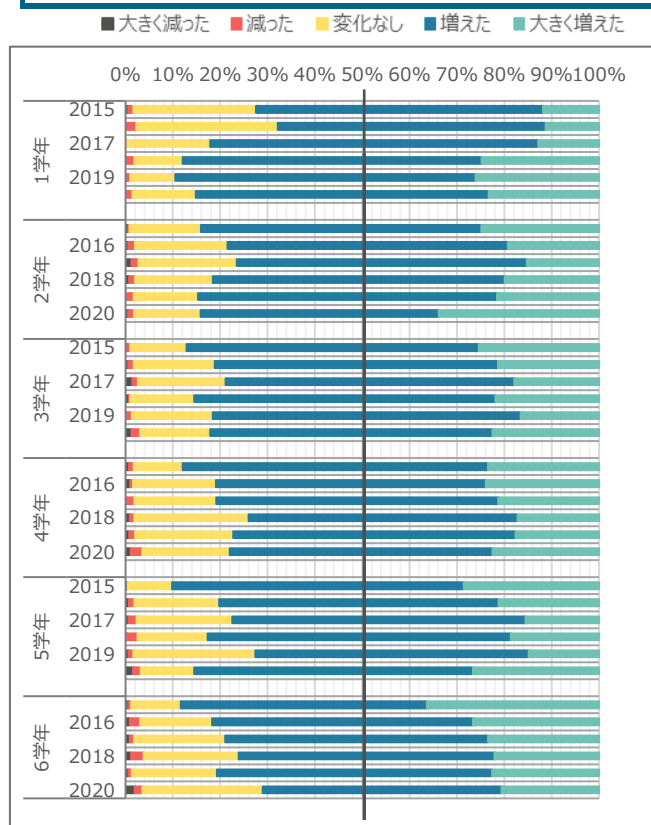
収集した情報の分析力や問題解決力



『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね6～7割を占めます。年度ごとの変化はあまり見られませんが、第6学年では低下傾向が見られます。

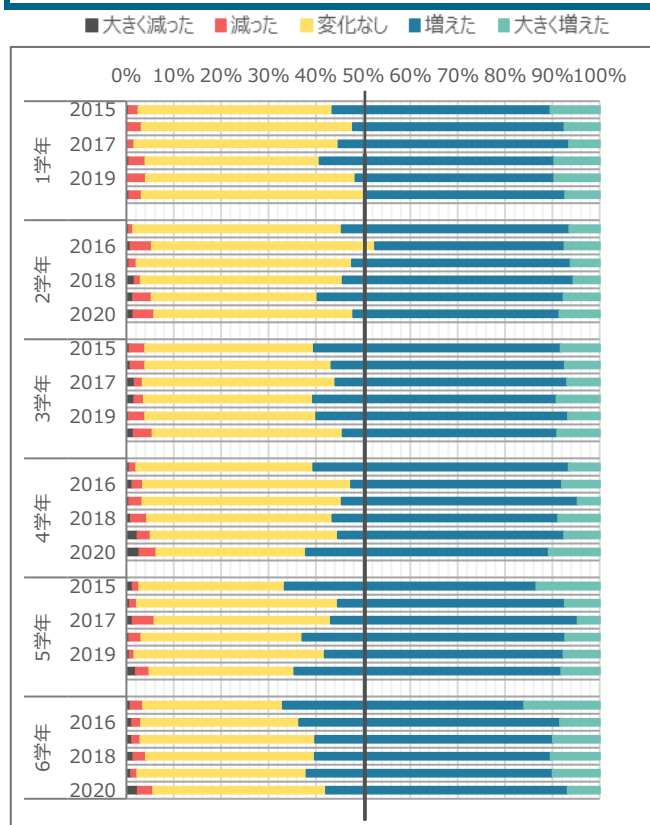
05_成長自己評価

批判的に考える能力



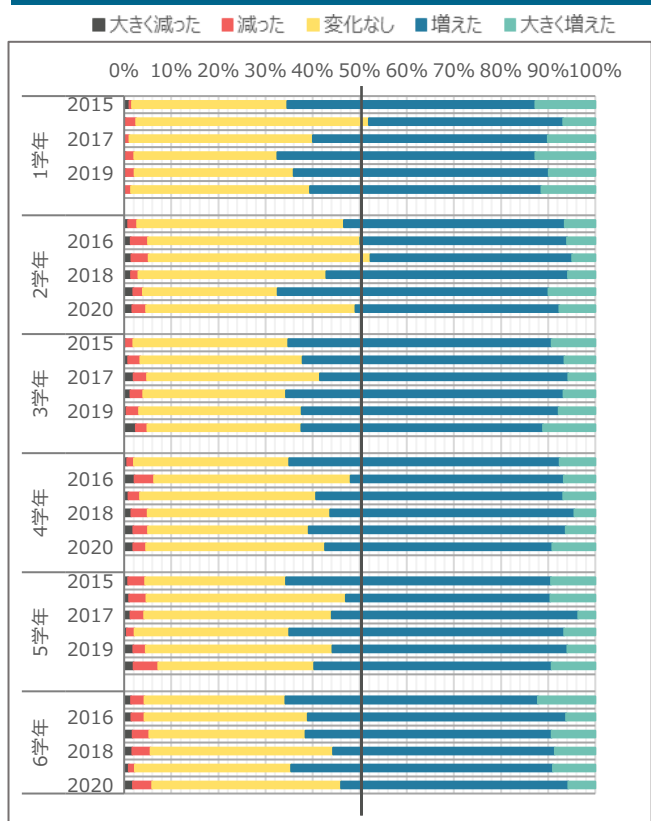
『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね7～8割を占めており、他の汎用的スキルと比較して成長度合いが高くなっています。

専門分野や学科の知識



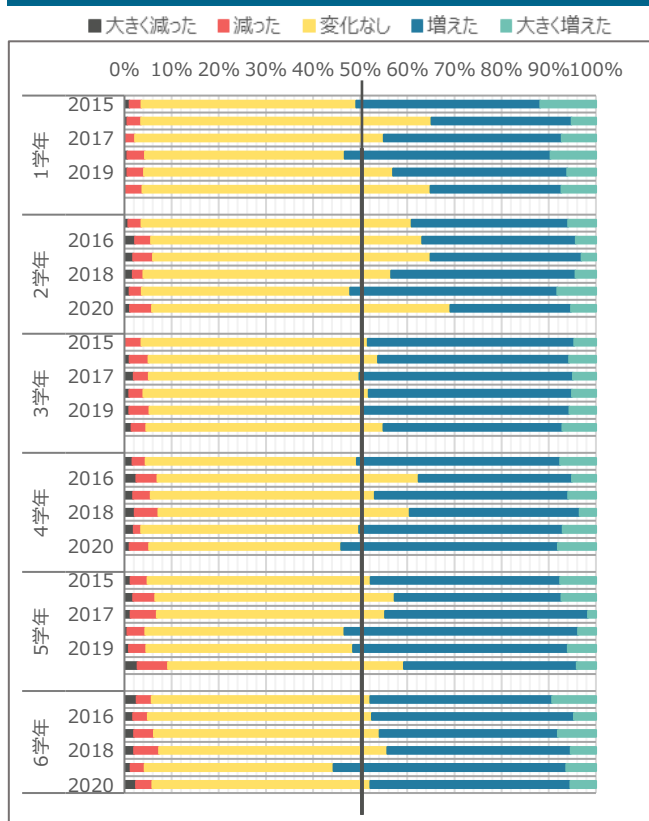
『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数を占める結果となりました。また、学年が上がるごとに『増えた』『大きく増えた』の回答数が増加している傾向がありますが、『変化なし』が3～4割程度存在していることも注目されます。

多様な文化に対する知識と理解



『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。年度ごとの変化に一定の傾向は見られません。

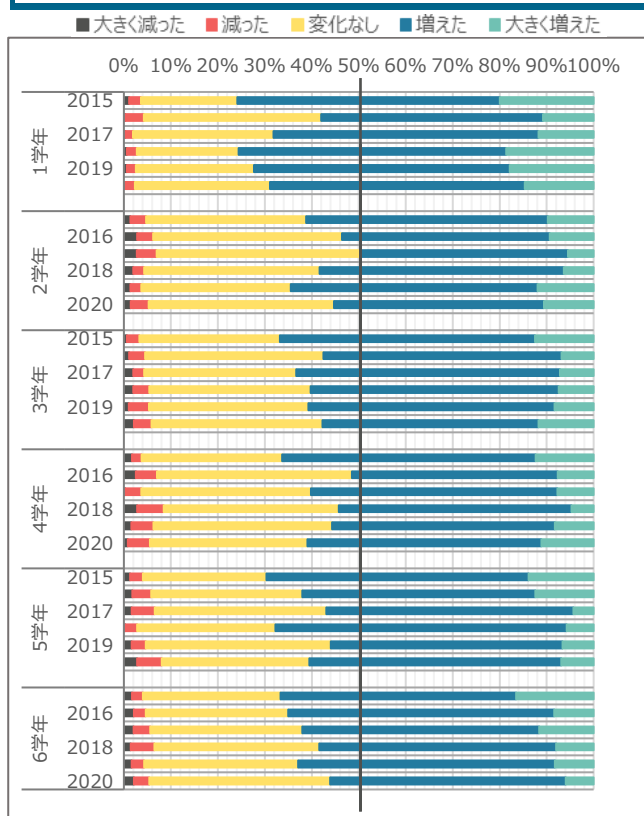
リーダーシップの能力



『変化なし』が約半数を占めており、他の汎用的スキルと比較して成長度合いが比較的低くなっています。

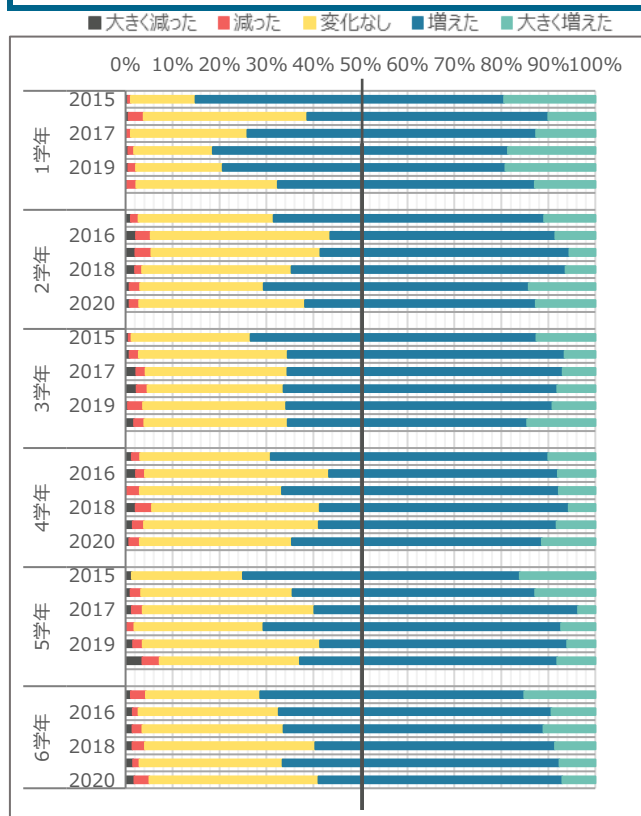
05_ 成長自己評価

人間関係を構築する能力



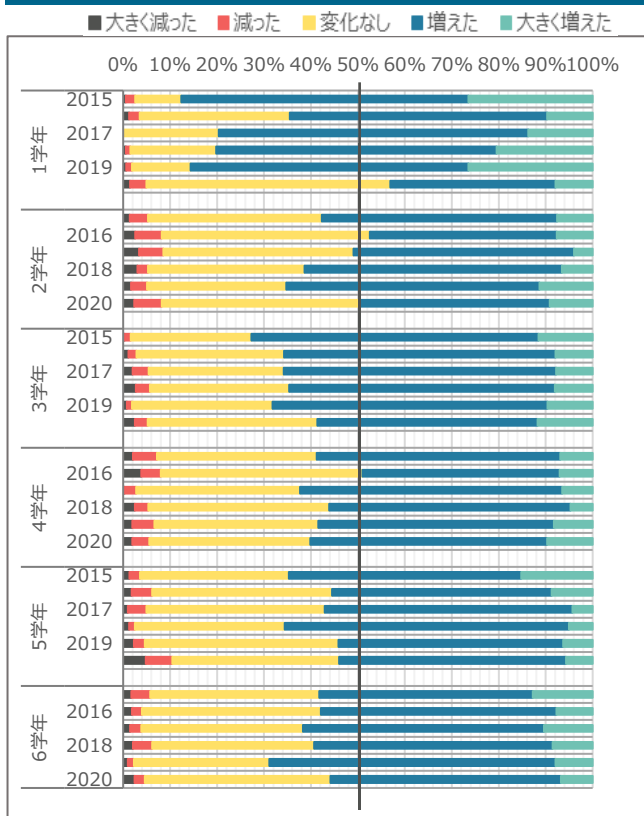
『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数以上を占める結果となりました。一方で、『大きく減った』『減った』の回答も、全学年、全年度に見られます。

他の人と協力して物事を遂行する能力



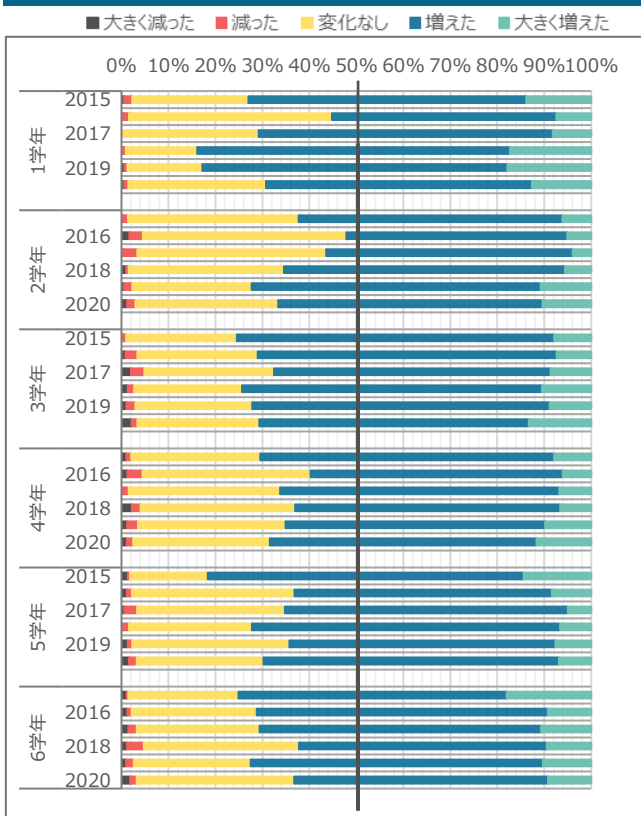
『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね6割を占める結果となりました。物事を遂行する能力と人間関係を構築する能力のどちらも、高くなったと回答している学生の割合が各学年、年度で同じような結果になっているようです。

他学部・多職種の人々と協力する能力



『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。特に1学年では2016年以外では8割を占めており、多職種連携教育が浸透していると考えられます。また、IPE科目が実施される3学年でも達成度合いは比較的高くなっています。

医療が直面する問題を理解する能力

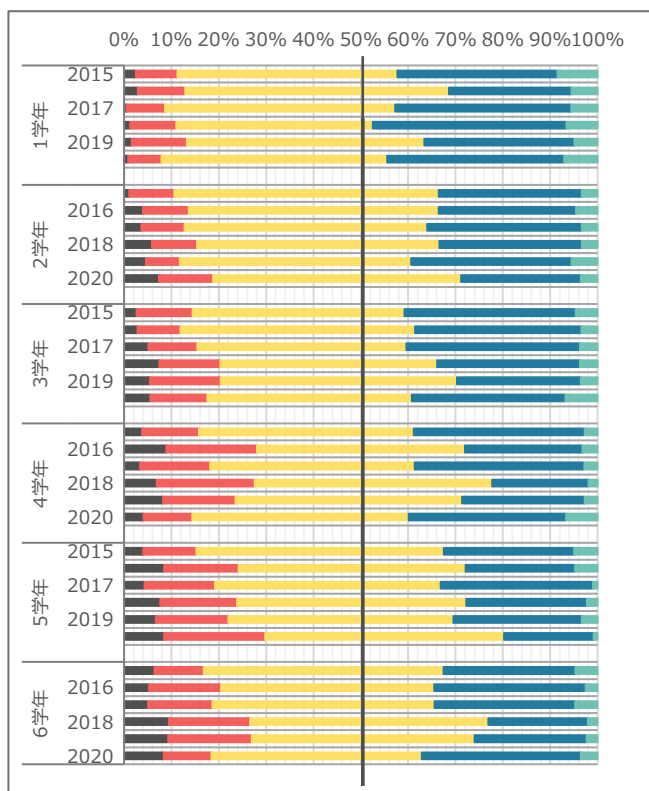


『増えた』『大きく増えた』の回答が6～7割を占める占めています。2016年度以降、1、2学年では『増えた』『大きく増えた』の回答が年々増加する傾向にありますが、3学年以上ではあまり見られません。

05_ 成長自己評価

外国語の運用能力

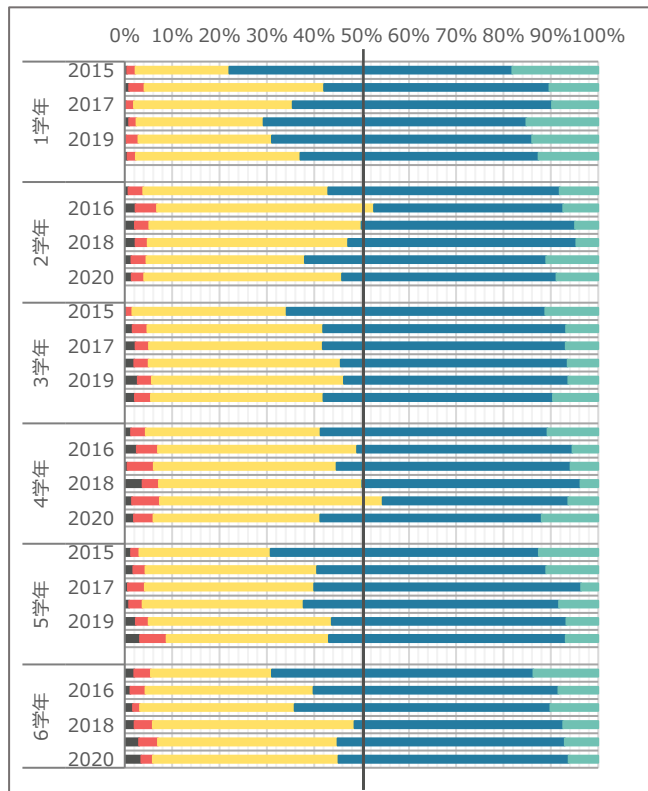
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



3学年以上では『大きく減った』『減った』の回答が増加傾向にあり、2018年度以降は20%を超えています。汎用的スキルの中では、最も成長度合いが低い項目です。

コミュニケーション能力

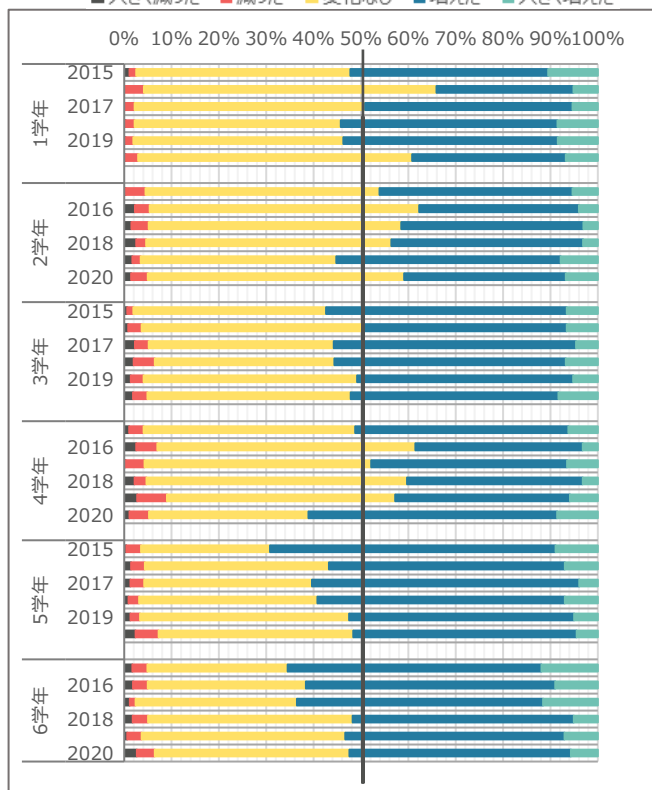
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。特に、学部混成授業やIPE科目が実施される1,3学年、臨床実習が行われる5学年では成長度合いが比較的高くなっています。

プレゼンテーション能力

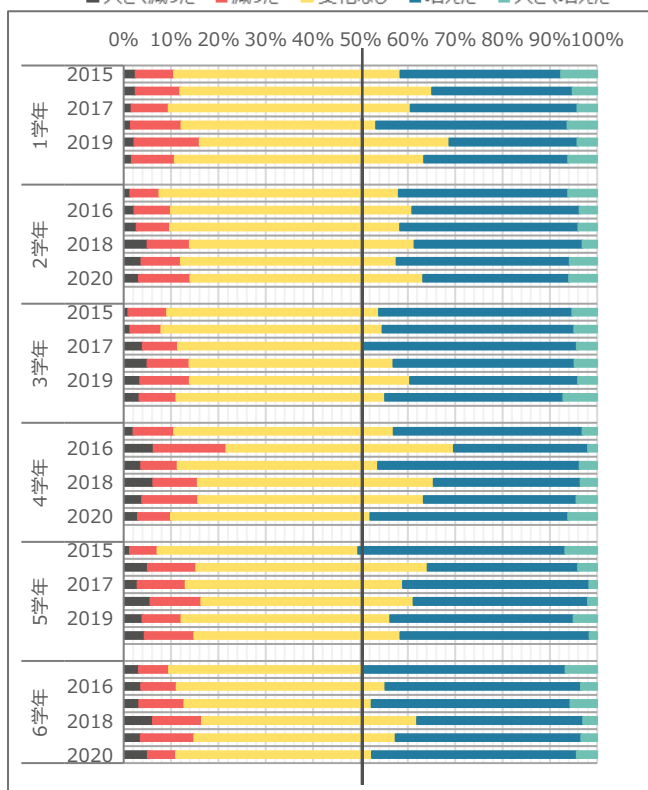
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



IPE科目を実施する3,6学年、臨床実習を実施する5学年で成長度合いが高くなる傾向があります。また、2020年度に4学年において『増えた』が急激に増加したのは、3年後期から臨床実習に取り組んできた看護学部の影響があると思われます。

数理的な能力

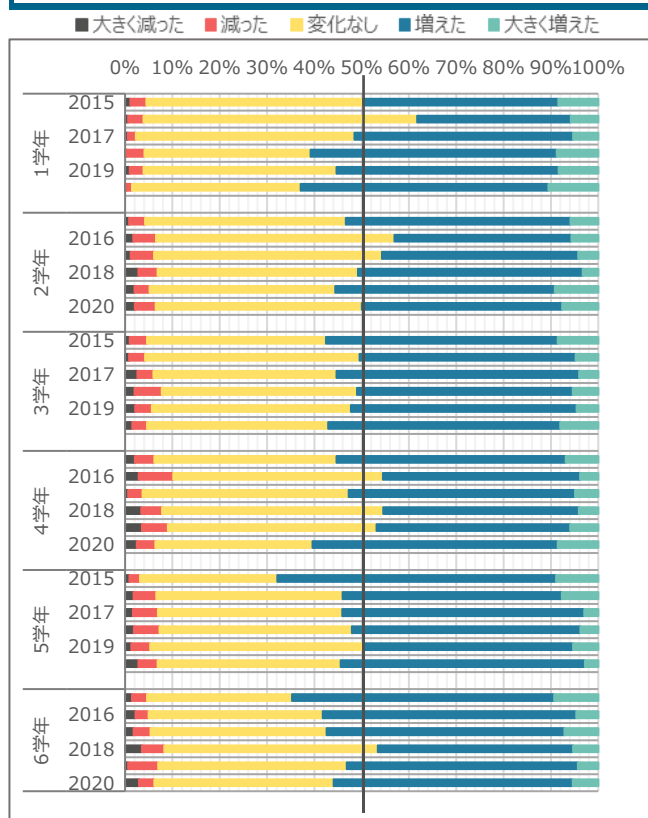
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答の割合が3~4割程度に留まる一方で、『大きく減った』『減った』の回答が1割以上あり、成長度合いが比較的低くなる項目です。

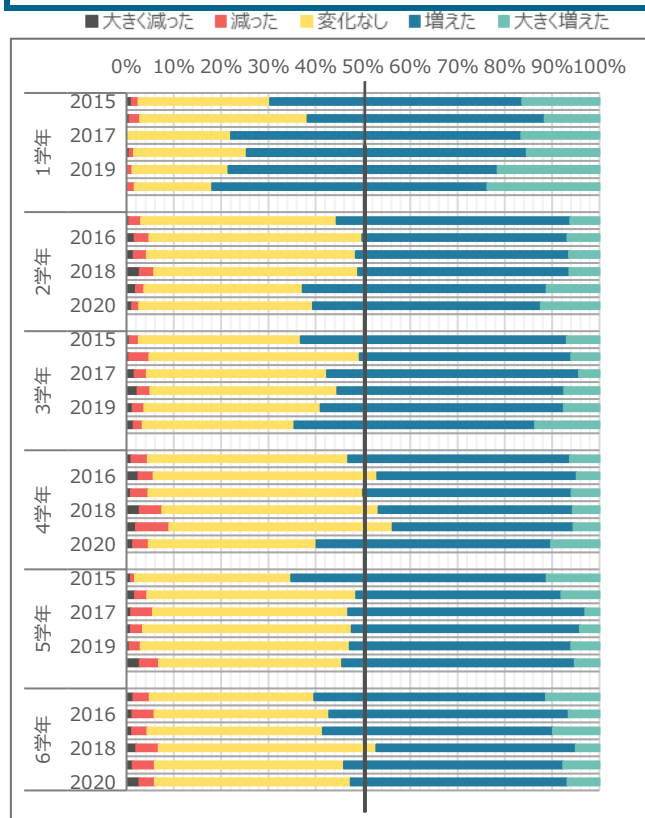
05_ 成長自己評価

論理的な文（教科書や論文など）を読んで理解する能力



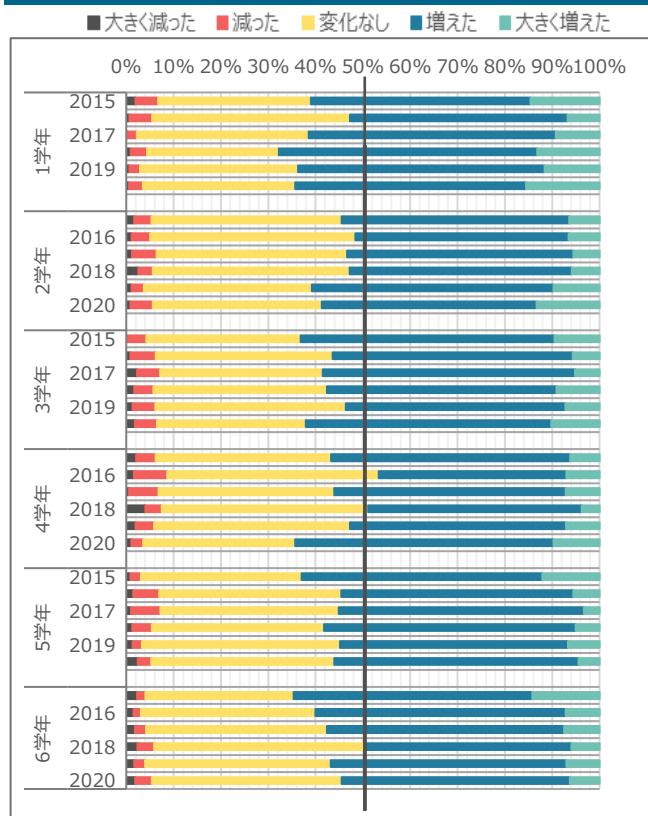
『増えた』『大きく増えた』の回答がほとんどの学年、年度で半数を占めています。『減った』と回答する学生も一定数います。

コンピュータの操作能力



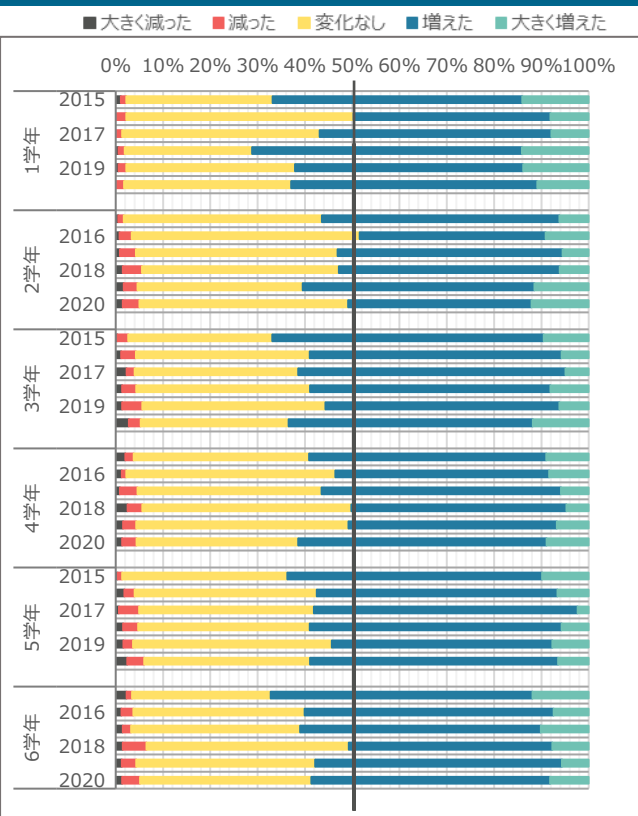
情報リテラシー科目を実施している第1学年で『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占めています。2学年以降は、例年大きな変化は見られません。

時間を効率的に利用する能力



ほとんどの学年、学部で『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。学年進行に伴う変化がほぼ見られません。

客観的な自己理解（または、感情をコントロールする理性）

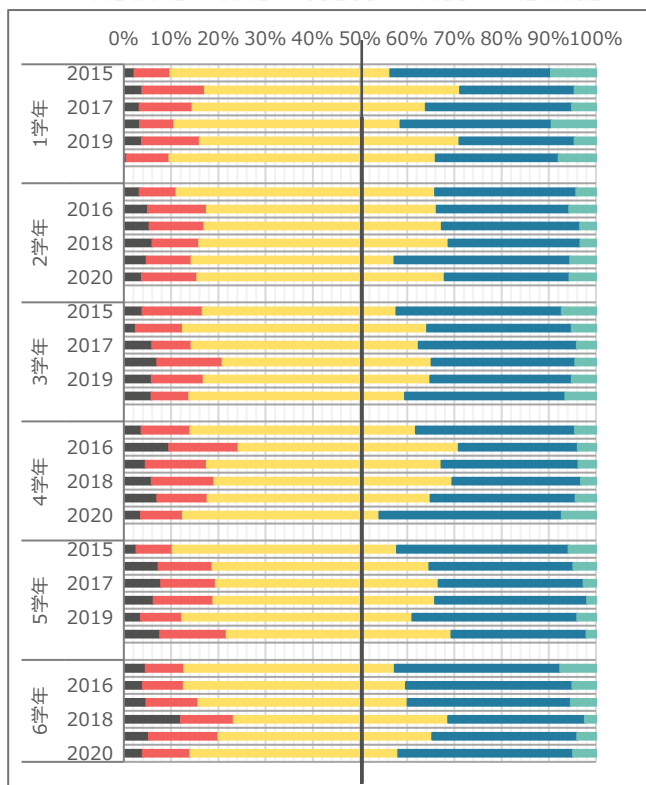


『増えた』『大きく増えた』の割合が半数以上を占めています。学年進行に伴う変化がほぼ見られません。

05_ 成長自己評価

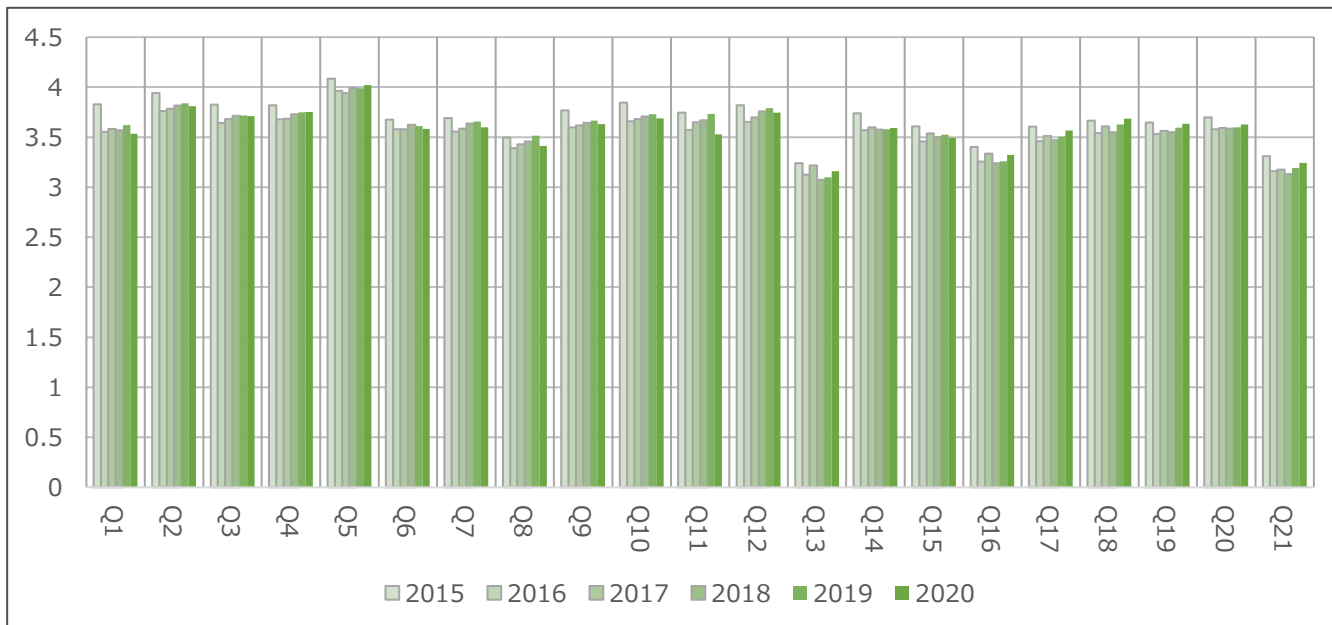
読書力

■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『変化なし』の回答が一番多く、次点で『増えた』が続きます。一方で、『大きく減った』『減った』の回答が合わせて20%程度になる学年も見られ、【外国語の運用能力】に次いで成長度合いの低い項目となります。

「授業・実習での経験」各設問の平均スコア



【設問】

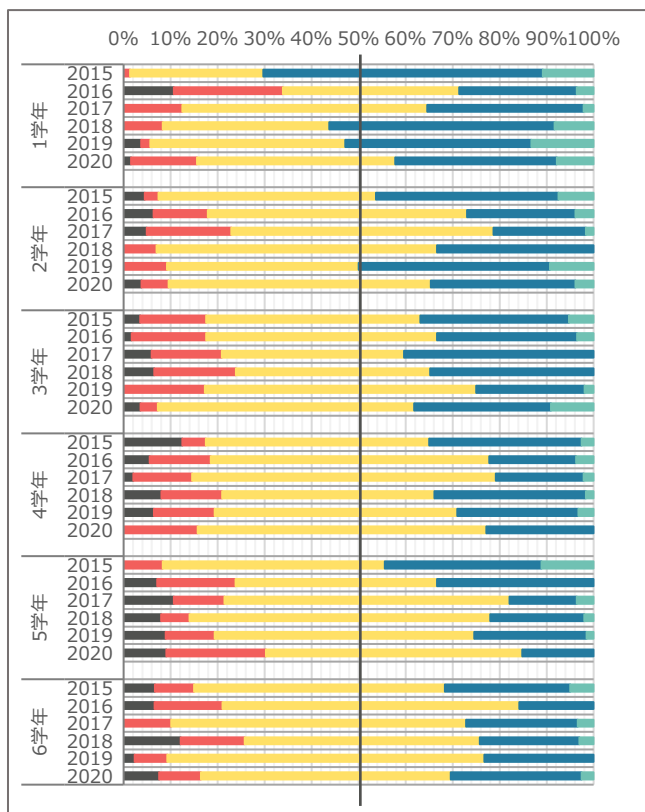
- Q1_ 一般的な教養
- Q2_ 医療人に求められる倫理性
- Q3_ 他の人のために働く利他的行動
- Q4_ 収集した情報の分析力や問題解決能力
- Q5_ 批判的に考える能力
- Q6_ 専門分野や学科の知識
- Q7_ 多様な文化に対する知識と理解
- Q8_ リーダーシップの能力
- Q9_ 人間関係を構築する能力
- Q10_ 他の人と協力して物事を遂行する能力
- Q11_ 他学部・他職種の人々と協力する能力

- Q12_ 医療が直面する問題を理解する能力
- Q13_ 外国語の運用能力
- Q14_ コミュニケーション能力
- Q15_ プレゼンテーション能力
- Q16_ 数理的な能力
- Q17_ 論理的な文を読んで理解する能力
- Q18_ コンピュータの操作能力
- Q19_ 時間を効果的に利用する能力
- Q20_ 客観的な自己理解
- Q21_ 読書力

06_教育内容満足度

教養教育の授業実習

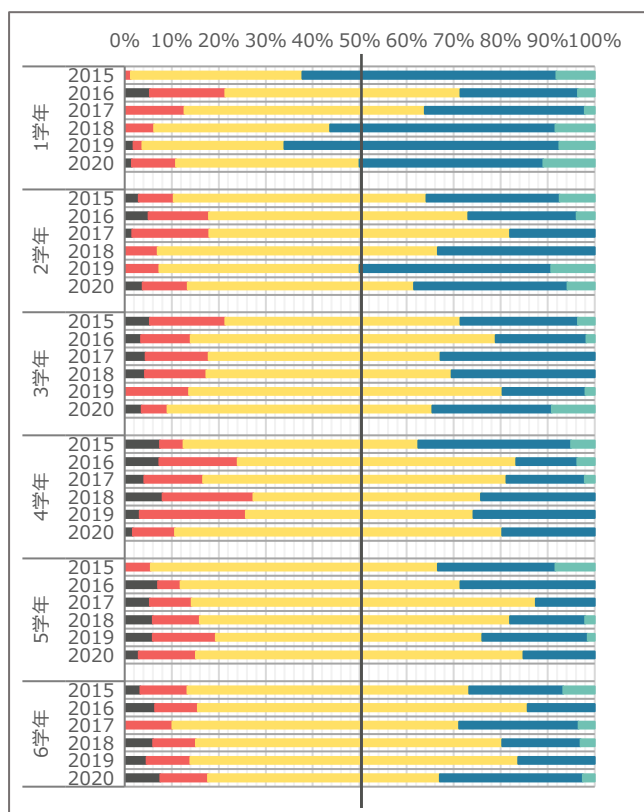
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答が低学年ほど高く、また1学年で見ても2018、2019年度は『満足』『とても満足』が比較的多いことから、満足度は上昇傾向にあると思われます。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響が反映されていることも考えられます。

初年次生を対象とした専門教育

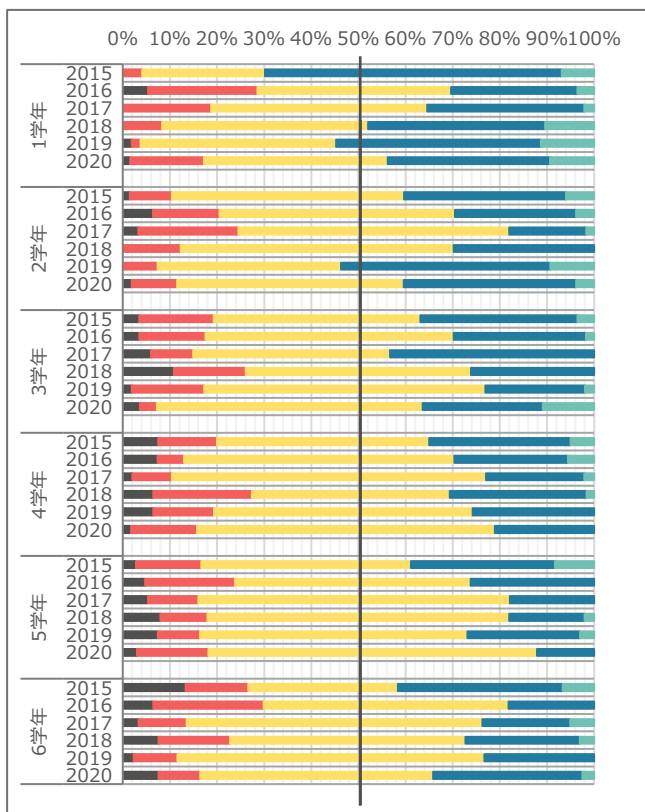
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答が低学年ほど高く、また1学年で見ても2016年度以降満足度は上昇を続けています。2020年度は少し下降しましたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響が反映されていること

授業の全体的な質

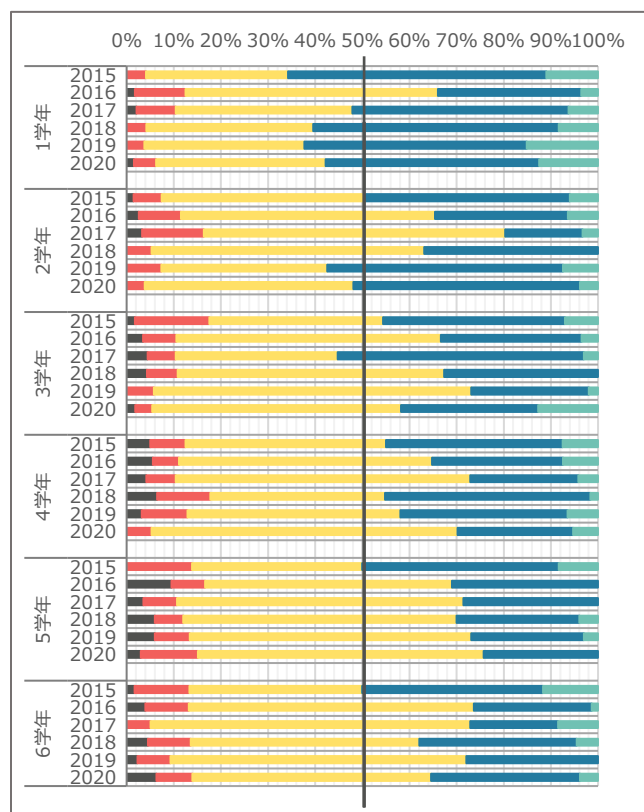
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にありますが、『どちらでもない』と併せると8割以上となります。2020年度においては、1学年の『不満』の回答が前年よりも大きく増加していますが、新型コロナウイルス感染症対策等が影響している可能性があります。

将来の仕事と授業内容の結びつき

■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足

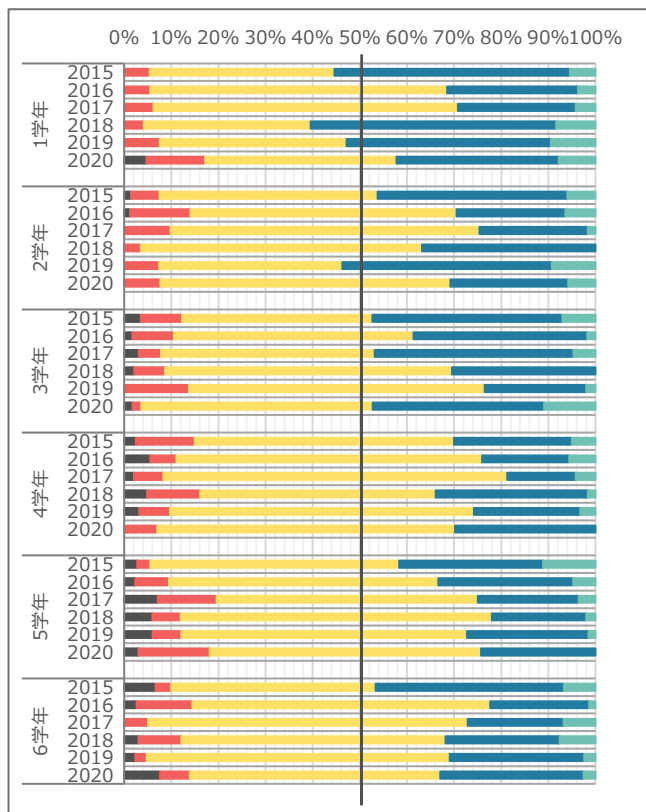


『満足』『とても満足』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にあります。『不満』『とても不満』の回答は3学年時に増加し、それ以降はほぼ横ばいになっています。

06_教育内容満足度

教員と話をする機会

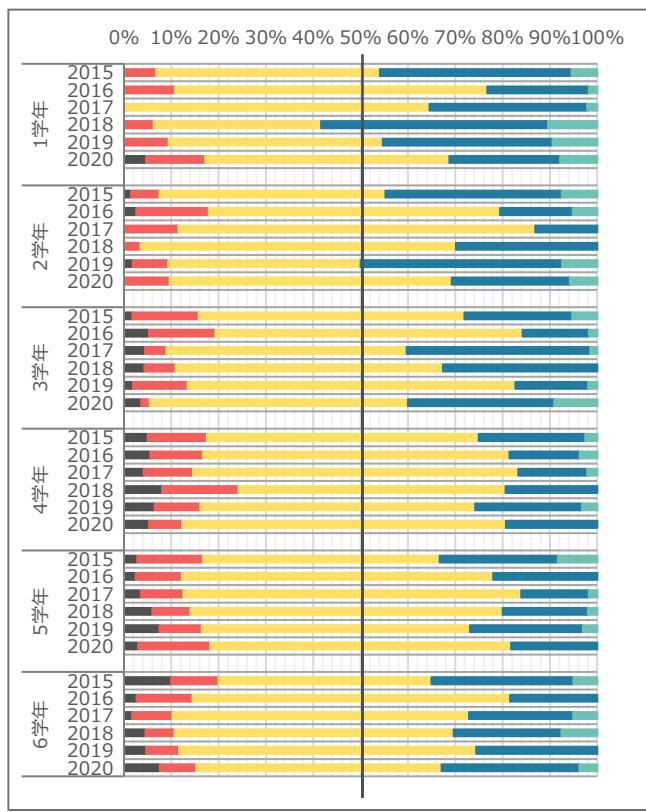
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は比較的1学年が多い結果となりました。『不満』『とても不満』の割合は例年一定数あり、特に変化していません。

学習支援や個別の学習指導

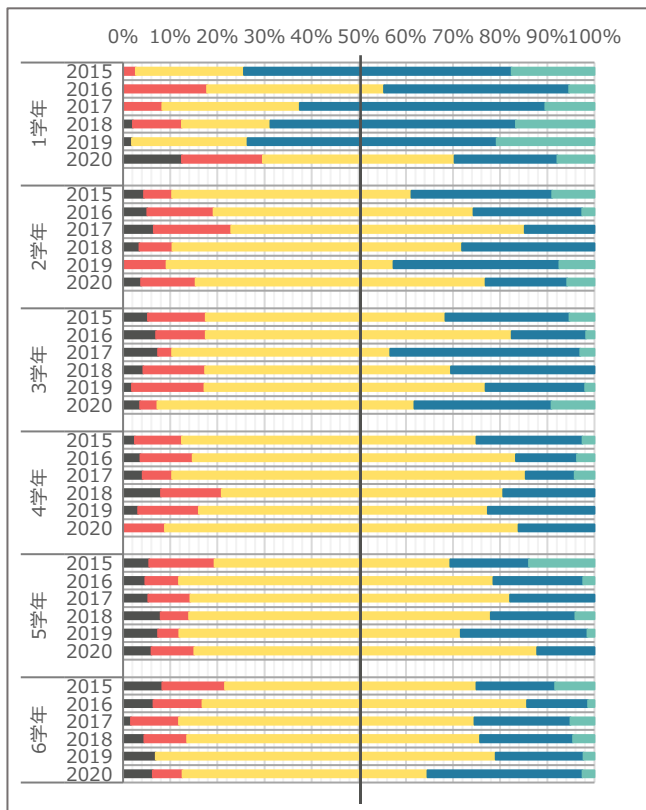
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は20～30%程度となる一方で、『とても不満』『不満』は10%以上となる傾向があります。特に3学年以上では『とても不満』も割合も増加してきます。

他学部の学生と交流する機会

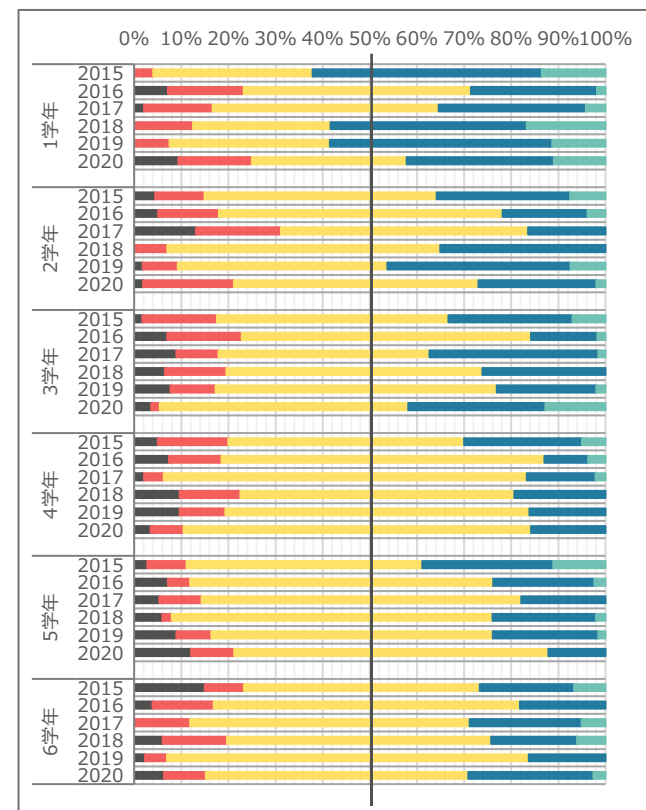
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



1学年では学部混成の授業が実施されることから、多学年と比較して満足度が顕著に高くなる傾向がありますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、『とても不満』『不満』が多学年よりも多いという逆転現象が生じました。

大学の中での学生同士の一体感

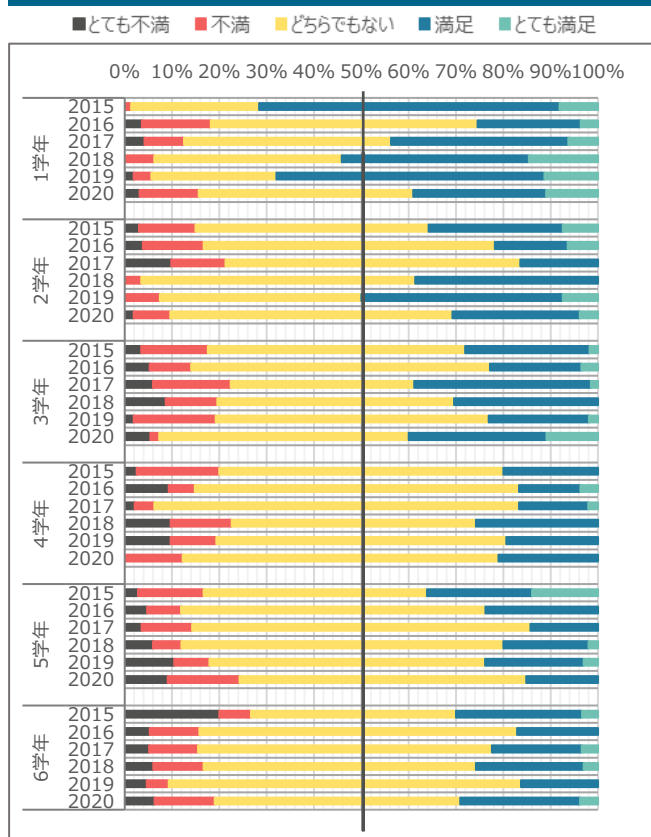
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は1学年が一番多く、約半数となっていますが、2学年以降では、特に4学年の満足度が低くなる傾向があります。1学年の『満足』『とても満足』の回答は2018年度以降増加傾向にありましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると考えられます。

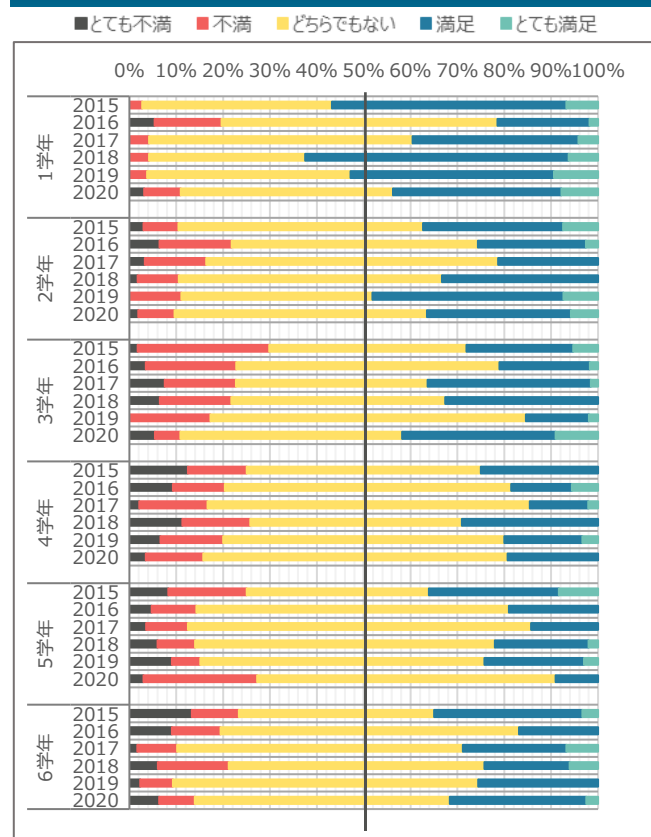
06_教育内容満足度

多様な考え方を認め合う雰囲気



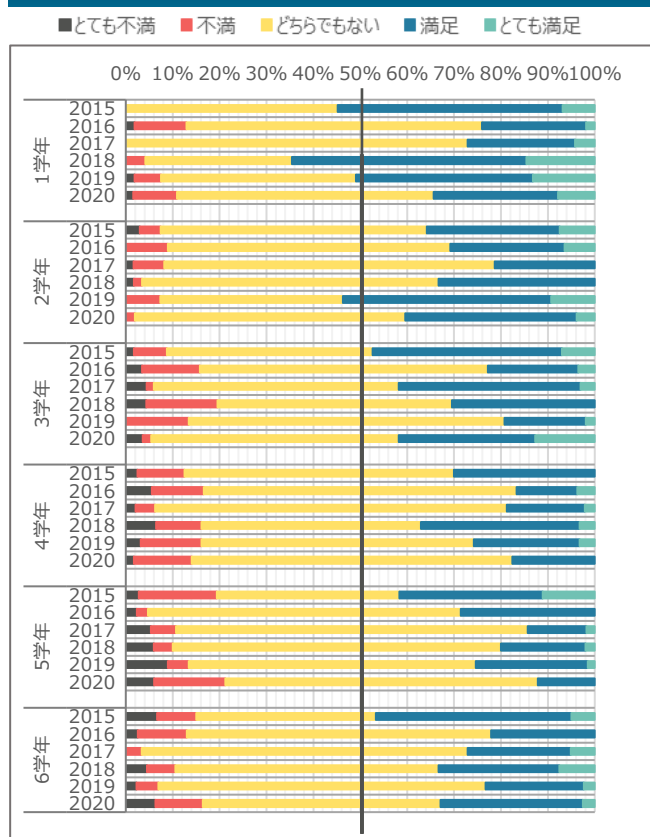
第1学年では2016年度以降満足度が上昇してきましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染対策として講義形式が一部制限されたこと等により、満足度は低下しました。一方、いずれの学年でも『とても不満』『不満』の回答は一定数見られます。

卒業時の学修成果に向けたカリキュラム構築



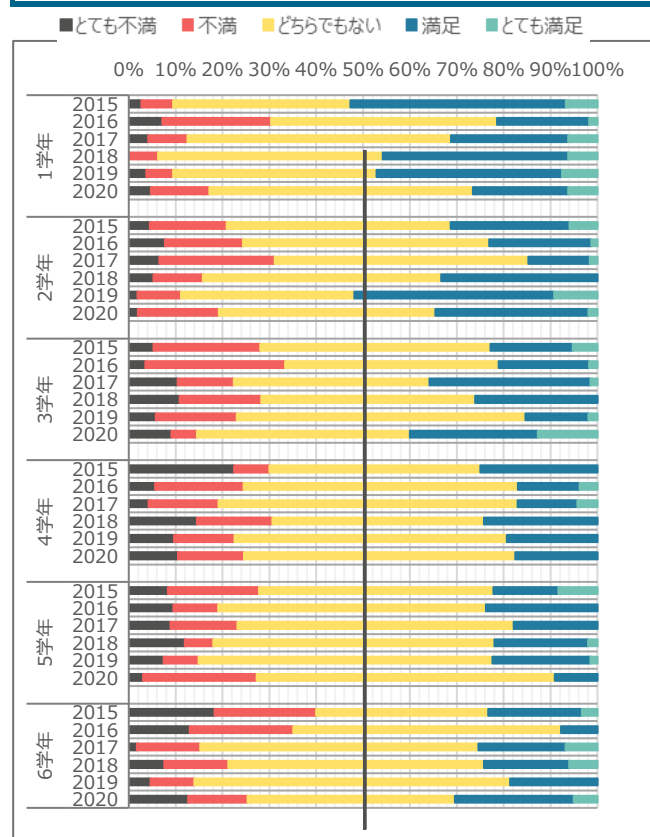
『どちらでもない』の回答が一番多い結果となりました。2019年度においては、1、2学年の『とても満足』『満足』が50%程度にまで増加しているのに対して、3年生以降では20%程度にとどまるとともに、『とても不満』『不満』の割合が高くなる傾向があります。

医療・介護の現場における実習・インターンシップ

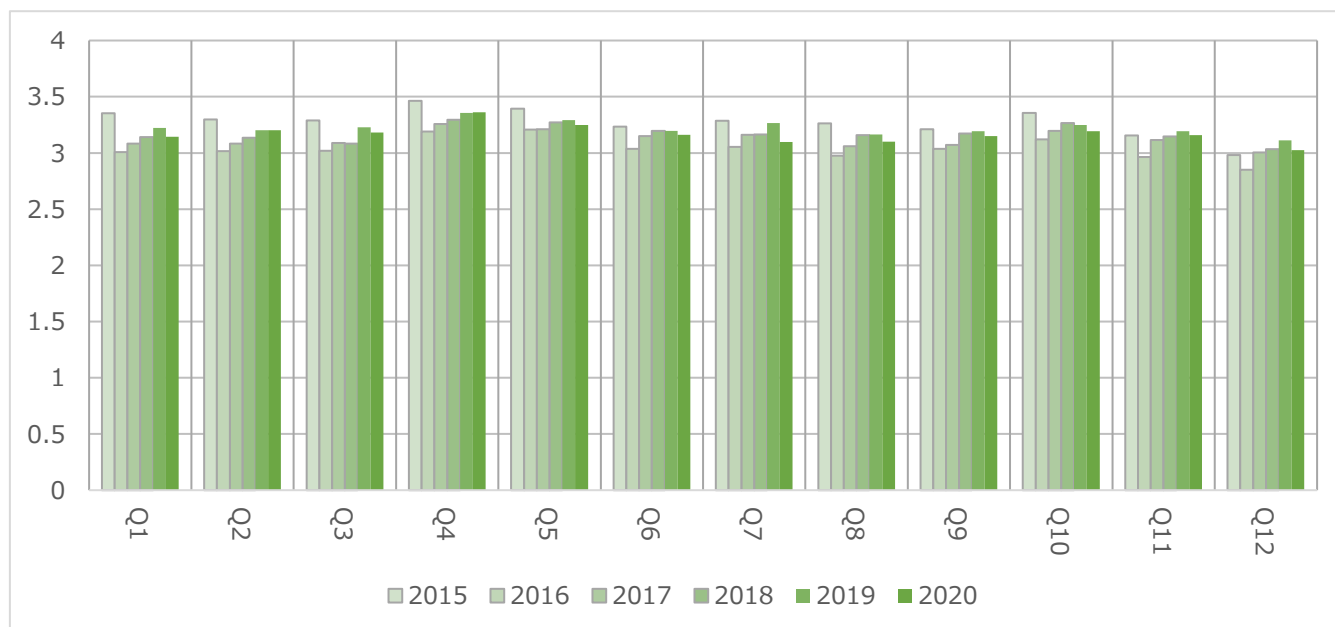


『どちらでもない』が最も多くなっており、『とても満足』『満足』は30%前後となっています。特に3～5学年では『とても不満』『不満』の回答が多学年に比べて多くなっています。

進級試験・卒業試験の適切性



『どちらでもない』の回答が一番多く、満足度の評価は2極化しています。



【設問】

Q1_教養教育の授業・実習

Q2_初年次生を対象とした専門教育

Q3_授業の全体的な質

Q4_将来の仕事と授業内容の結びつき

Q5_教員と話をする機会

Q6_学習支援や個別の学習指導

Q7_他学部との学生と交流する機会

Q8_大学のなかで学生同士の一体感

Q9_多様な考え方を認め合う雰囲気

Q10_医療・介護の現場における実習・インターンシップ

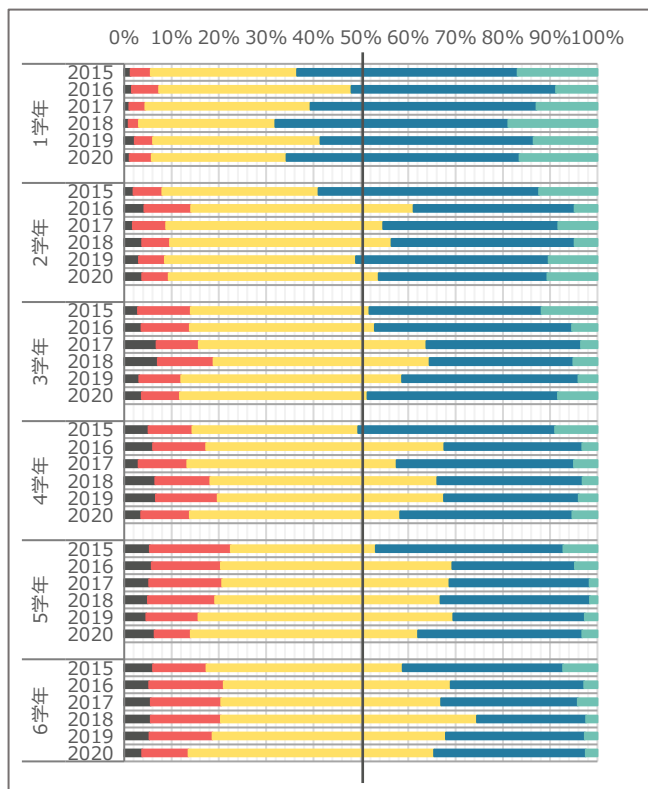
Q11_卒業時の学修成果に向けたカリキュラム構築

Q12_進級試験・卒業試験の適切性

07_学修環境満足度

図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）

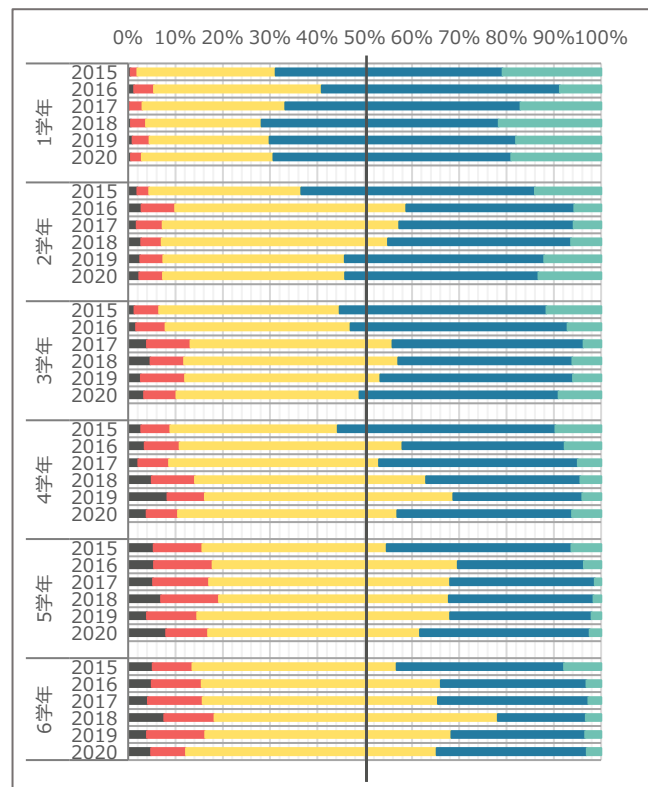
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度は減少傾向にあります。2020年度も大きな変化はありません。

実習室の設備や器具

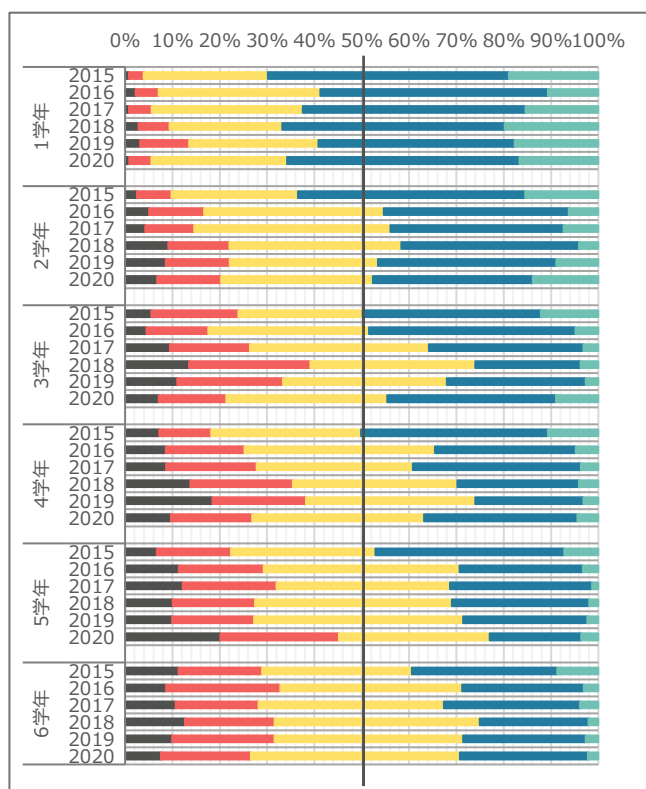
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足している回答が減少傾向にありますが、『どちらでもない』を併せると80%以上は不満を感じていません。

自習スペース

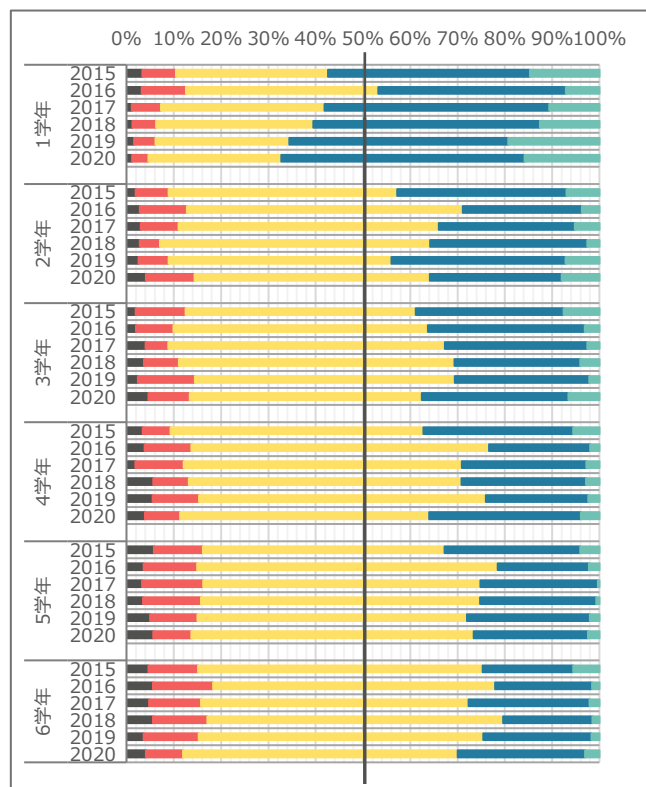
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度は減少傾向にあります。他の学修環境と比較して、『とても不満』の割合が高い傾向にあります。

コンピュータリテラシーの訓練や援助

■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足

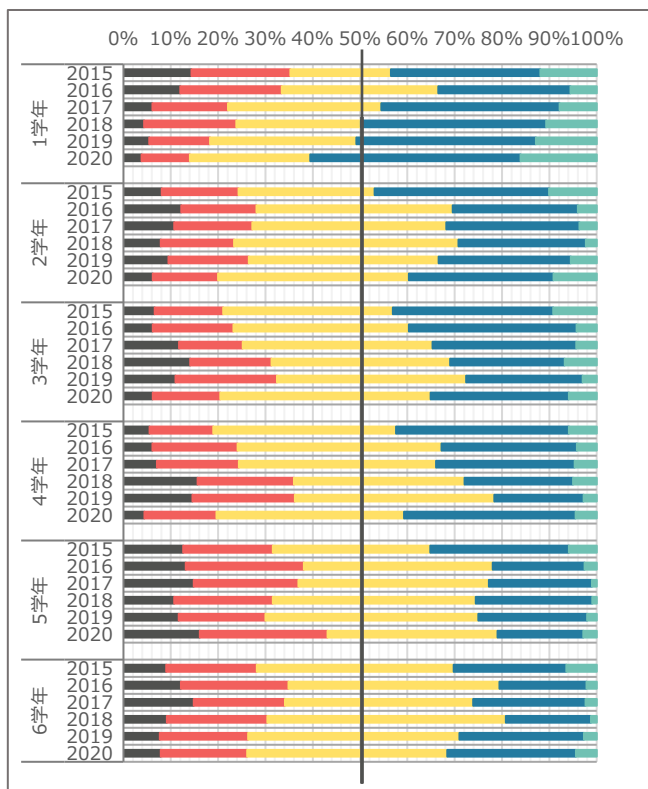


情報リテラシー教育を実施している第1学年において、2016年以降満足度が継続的に上昇しており、内容が充実したものになってきていることが伺えます。

07_学修環境満足度

インターネット環境

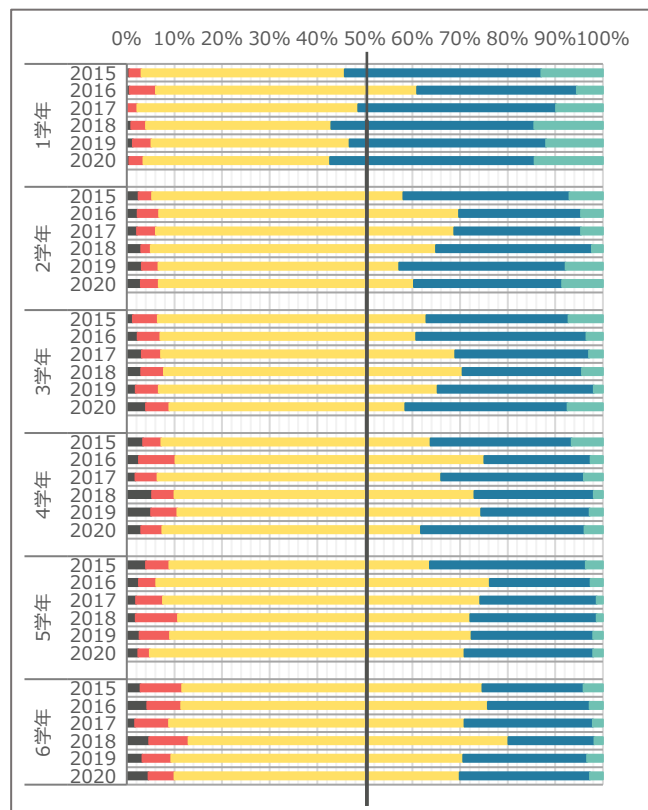
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『とても不満』『不満』がすべての学年、年度で20~30%となっており、2020年度は、5,6年生において『不満』の割合が『満足』の割合を超えています。2019年度末にキャンパス内のWi-Fi環境の整備を行ったことから、次年度以降満足度が上昇してくることが期待されます。

健康面サービス（心身の健康にかかわる診断や相談）

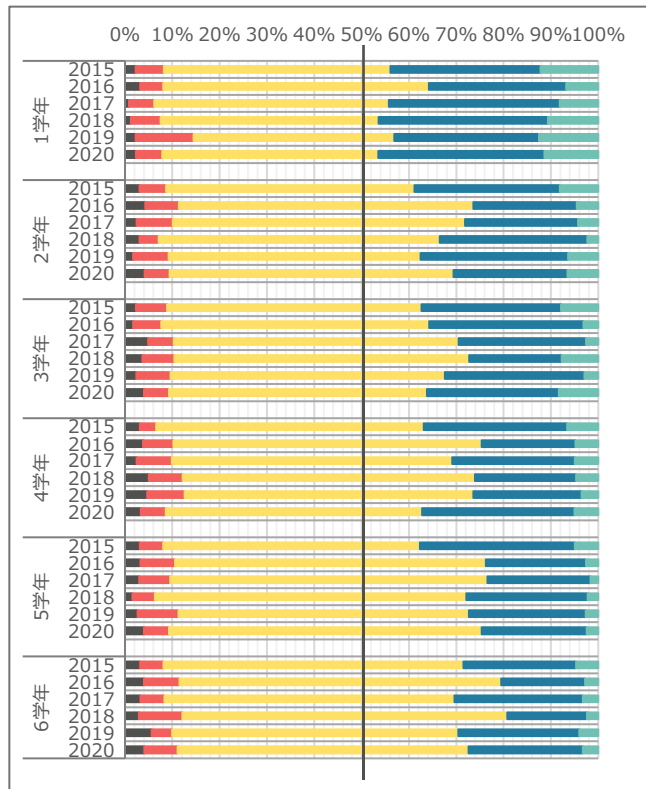
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて満足度が減少傾向にありますが、不満と回答する割合と比較すると、満足度は低いと考えられます。

奨学金などの学費援助の制度

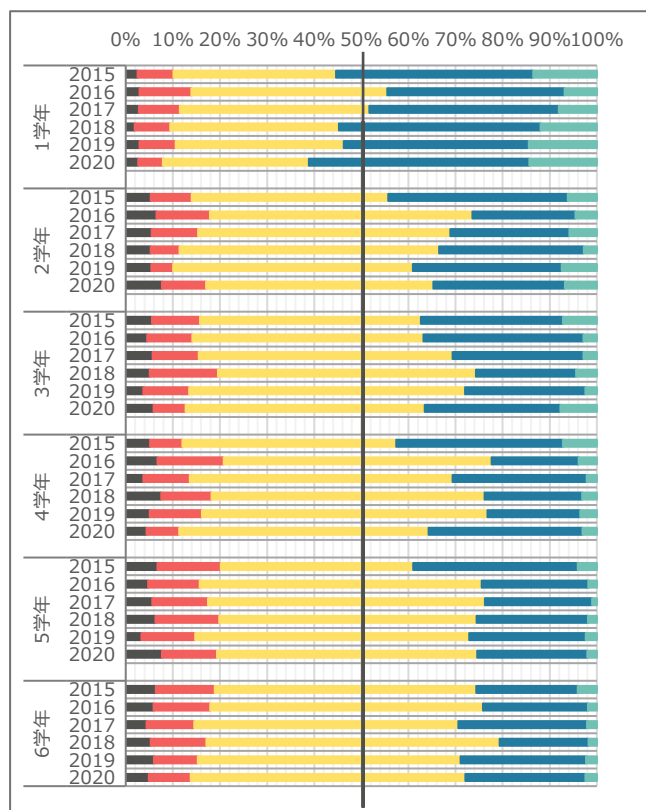
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『とても満足』『満足』『どちらでもない』の回答を併せて、90%程度に達していることから満足度は低くないと考えられますが、『不満』『とても不満』の回答は一定数あり、学年・年度によってあまり変化していません。

体育施設

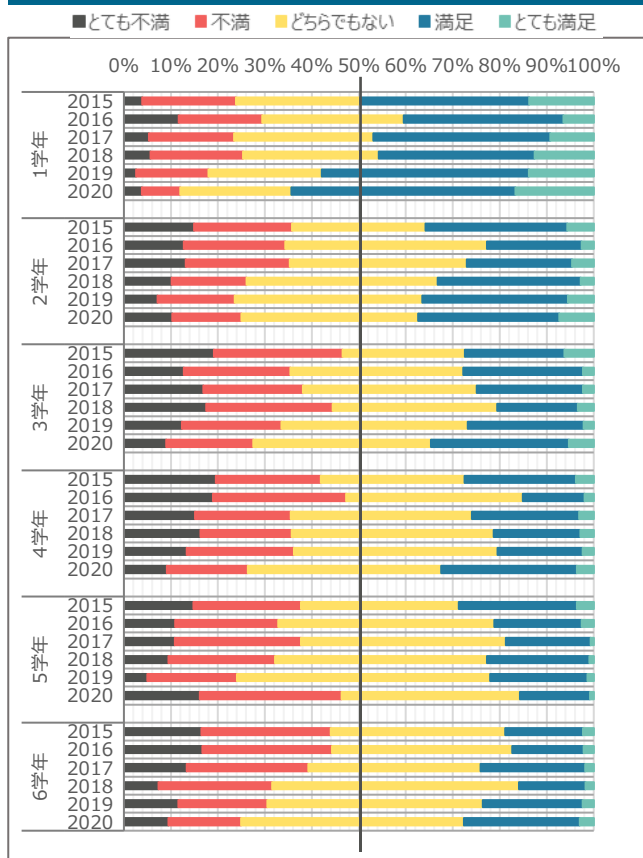
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答が1学年で半数近くを占めています。2学年以降は満足が減少し、不満の割合が若干増加します。

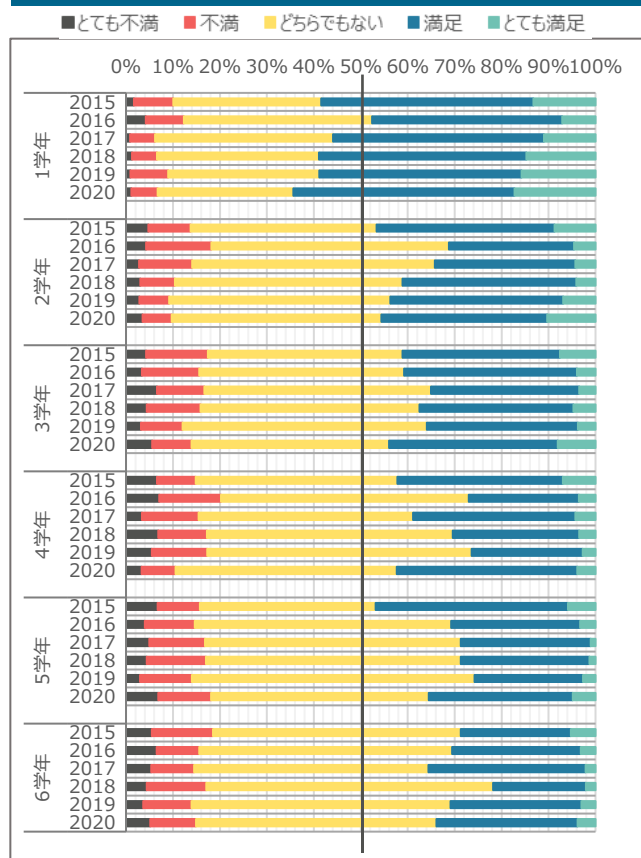
07_学修環境満足度

食堂・売店



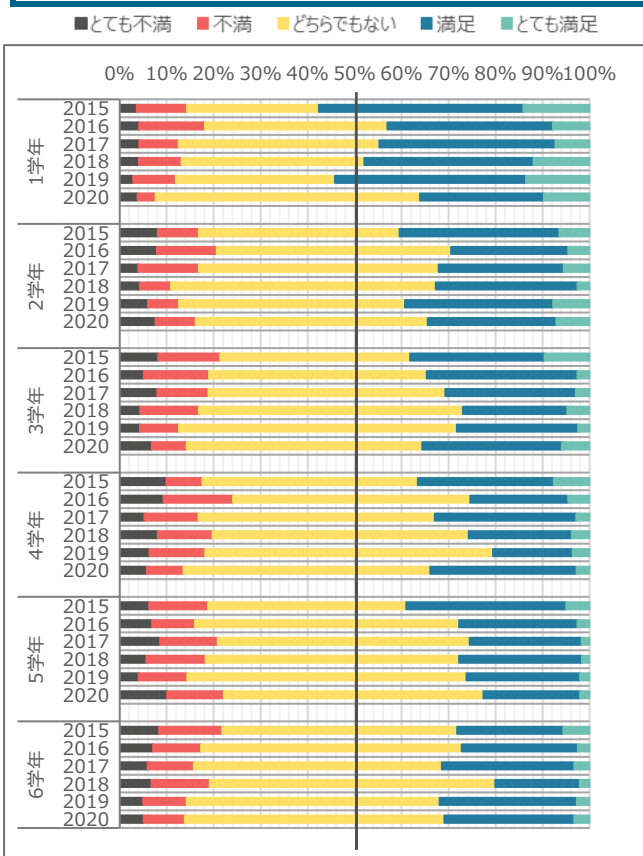
学修環境の中で最も満足度が低い項目となっており、ほとんどの学年、年度で、肯定的な回答よりも否定的な回答の数が上回っていますが、直近は『とても不満』『不満』を併せた回答率が低下傾向にあります。

書籍販売店



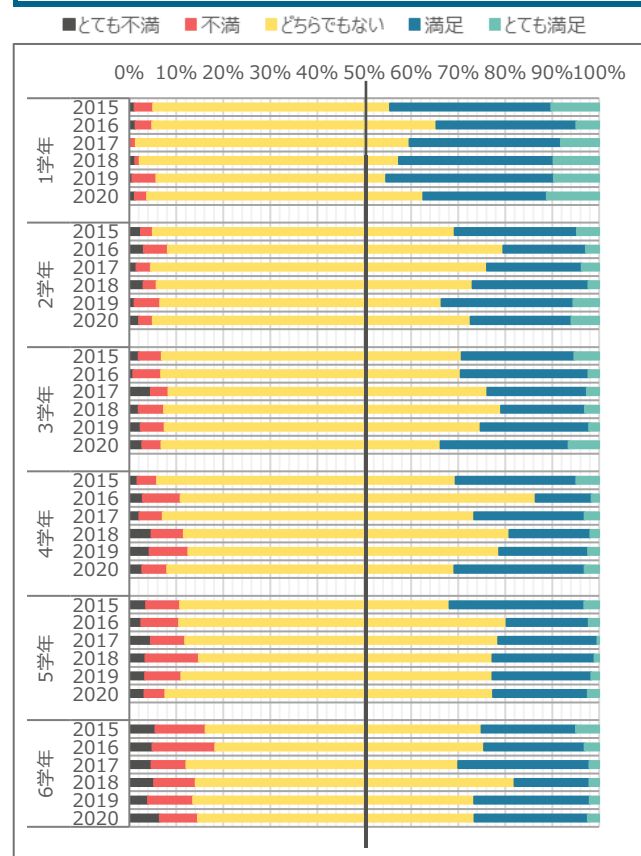
1学年では『満足』『とても満足』の回答が半数近くあり、『不満』『とても不満』の回答が他学年より少ない傾向にあります。また、2学年以降は『満足』『とても満足』の回答が減少した分、『不満』『とても不満』が増加している傾向にあります。

クラブ活動の施設

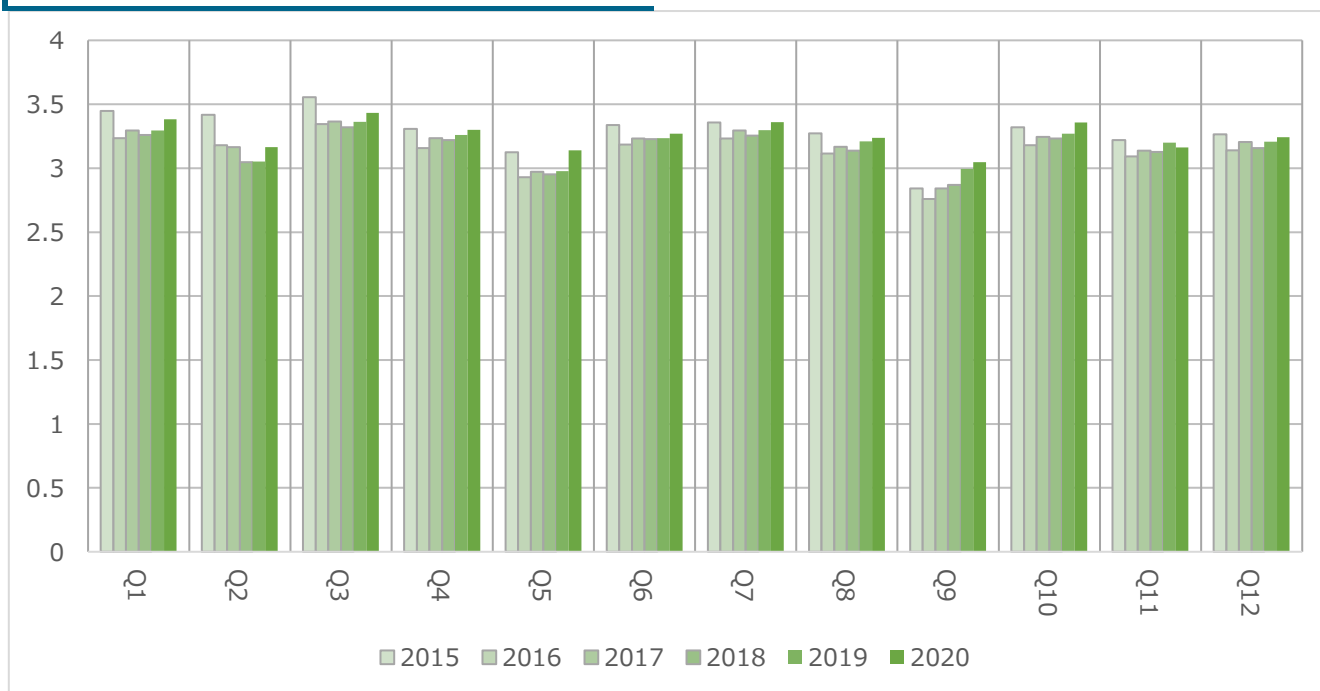


『満足』『とても満足』の回答が学年があがるにつれて減少傾向にあります。『不満』『とても不満』の回答は学年、年度によって大きな変化がありません。

キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



学年があがるにつれて、『とても不満』『不満』が増加傾向にあります。『どちらでもない』『満足』『とても満足』を併せると90%程度に達します。



【設問】

Q1_図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス)

Q2_自習スペース(多目的ホール、SGL、ラーニングコモンズなど)

Q3_実習室の設備や器具

Q4_コンピュータ・リテラシーの訓練や援助

Q5_インターネット環境

Q6_奨学金などの学費援助の制度

Q7_健康面サービス(心身の健康に関わる診療や相談)

Q8_体育施設

Q9_食堂・売店

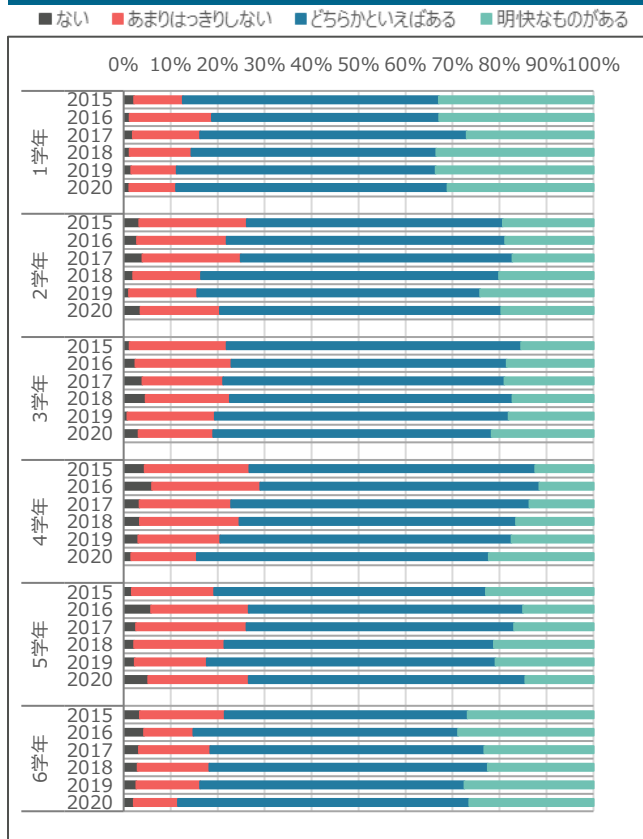
Q10_書籍販売店

Q11_クラブ活動用の施設

Q12_キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)

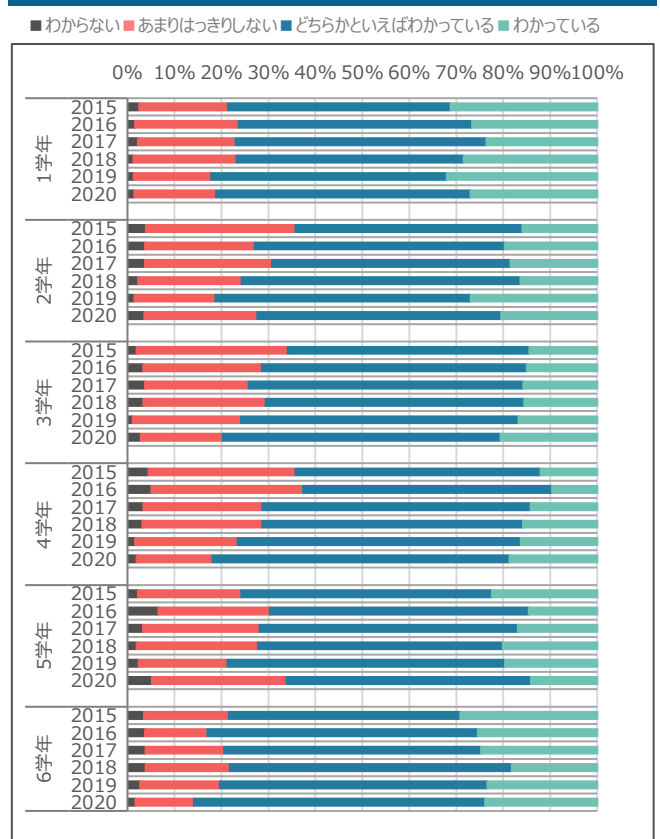
08_ 将来ビジョンとモチベーション

将来こういう医療人でありたいというビジョン



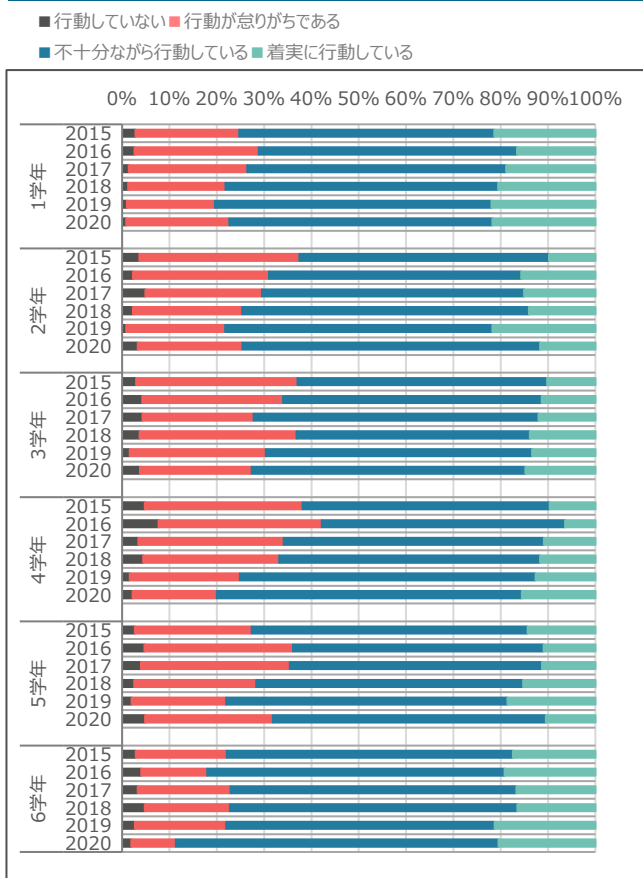
肯定的な回答が7割以上を占める結果となりました。『明快なものがある』の回答は1学年以降減少し、4学年頃から徐々に増加していく傾向があります。

将来像実現のために、なすべき具体的な目標



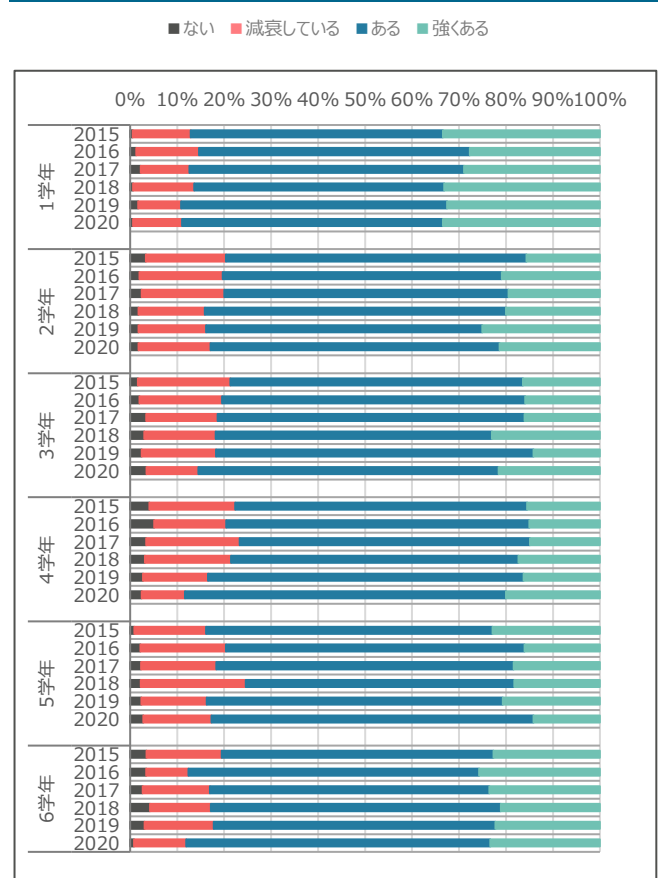
肯定的な回答が6割以上を占める結果となりました。肯定的な回答は1学年以降減少し、4学年頃から徐々に増加していく傾向があります。

目標実現のための行動



肯定的な回答が6割を超える結果となりました。肯定的な回答は年々若干の増加傾向にあります。

勉学を継続する意欲(自己の成長に取り組む意欲)



肯定的な回答が約8割を占める結果となりました。特に2020年度は、ほとんどの学年で否定的な回答が前年を下回りました。

4-1 年度別卒業者数・卒業率推移

出典データ：岩手医科大学 大学概要 データ編 他

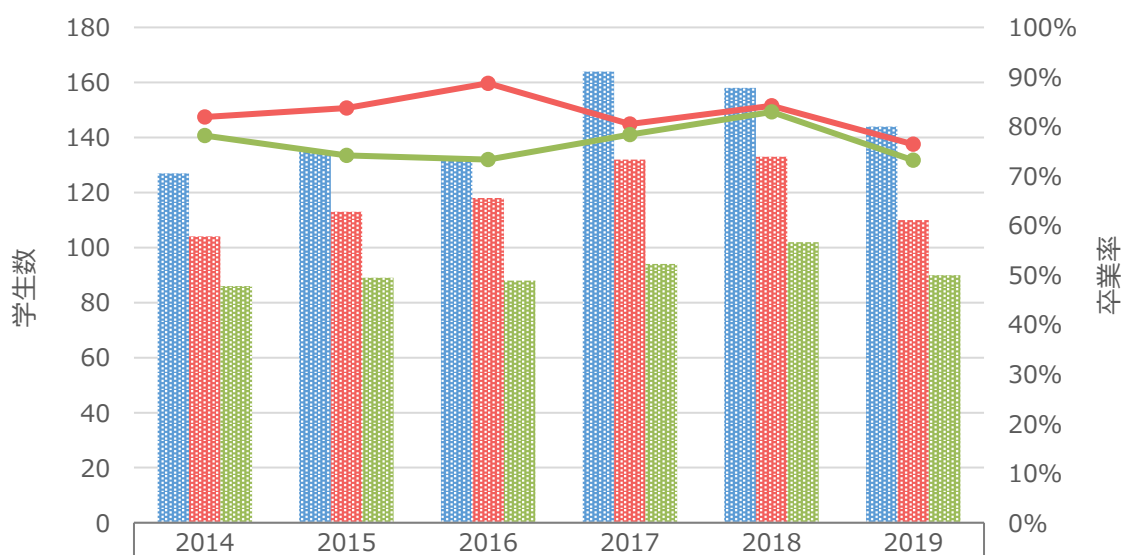
卒業者数：当該年度に卒業した学生数

卒業率：6年学生数に対する卒業者の割合

修業年限内卒業者：大学が定める修業年限（医歯薬学部：6年 看護学部：4年）以内に卒業した学生数

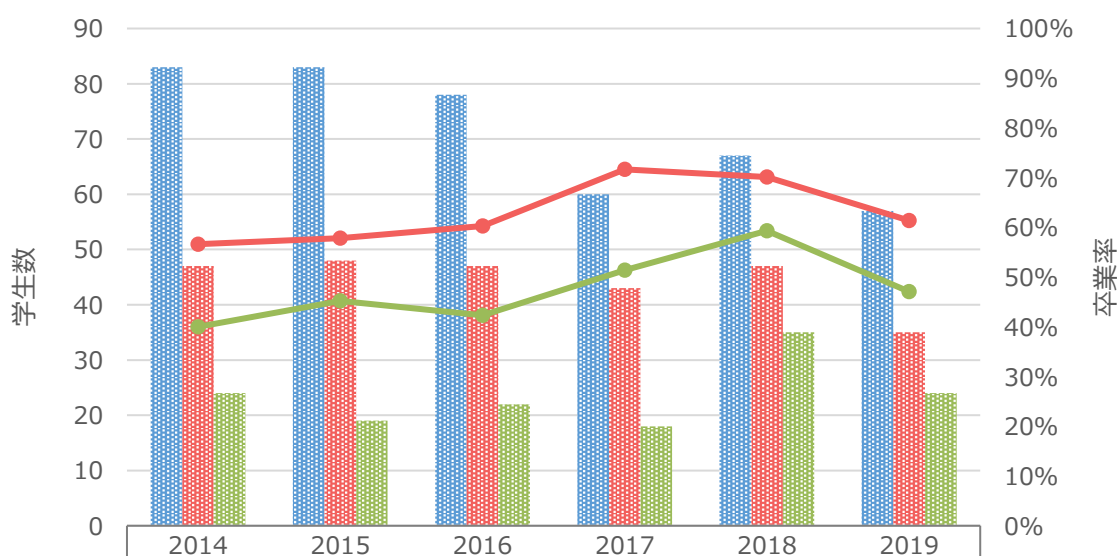
修業年限内卒業率：大学が定める修業年限以内に卒業した学生の割合（入学時の学生数を分母とする）

医学部



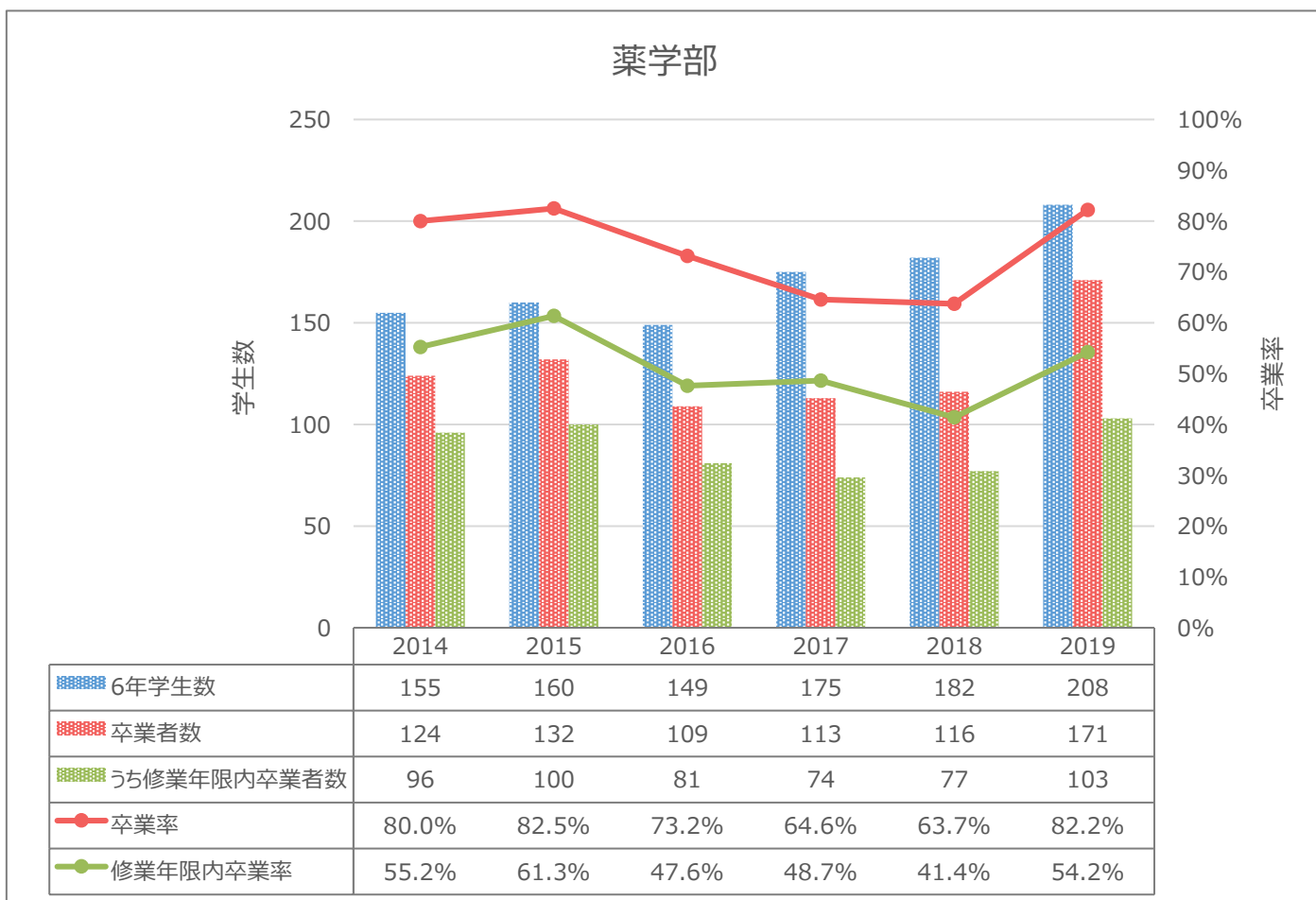
6年学生数	127	135	133	164	158	144
卒業者数	104	113	118	132	133	110
うち修業年限内卒業者数	86	89	88	94	102	90
卒業率	81.9%	83.7%	88.7%	80.5%	84.2%	76.4%
修業年限内卒業率	78.2%	74.2%	73.3%	78.3%	82.9%	73.2%

歯学部



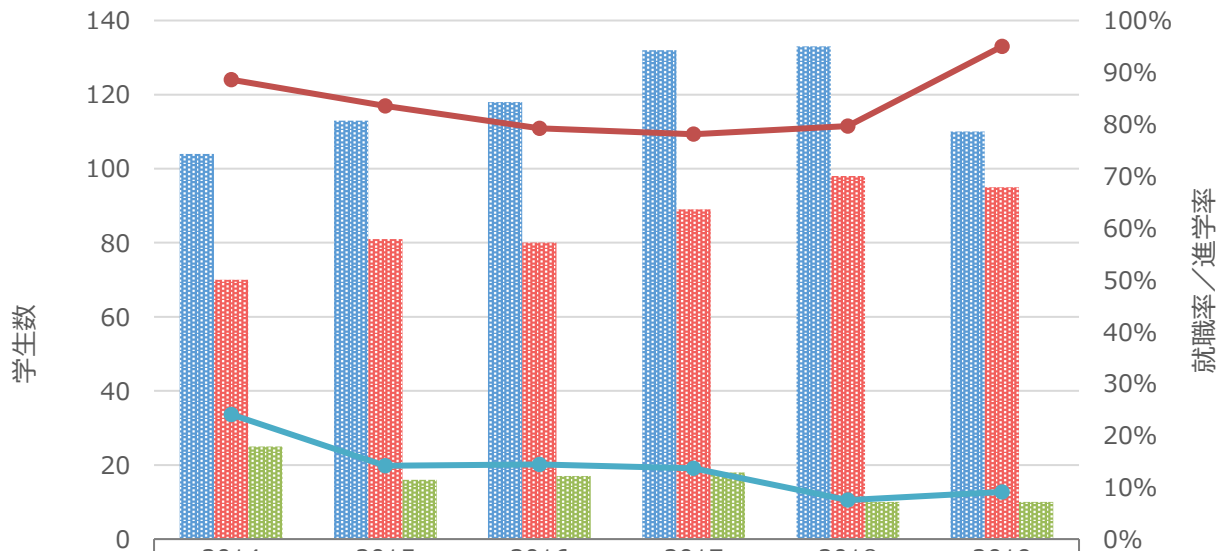
6年学生数	83	83	78	60	67	57
卒業者数	47	48	47	43	47	35
うち修業年限内卒業者数	24	19	22	18	35	24
卒業率	56.6%	57.8%	60.3%	71.7%	70.1%	61.4%
修業年限内卒業率	40.0%	45.2%	42.3%	51.4%	59.3%	47.1%

年度別卒業者数・卒業率推移（つづき）



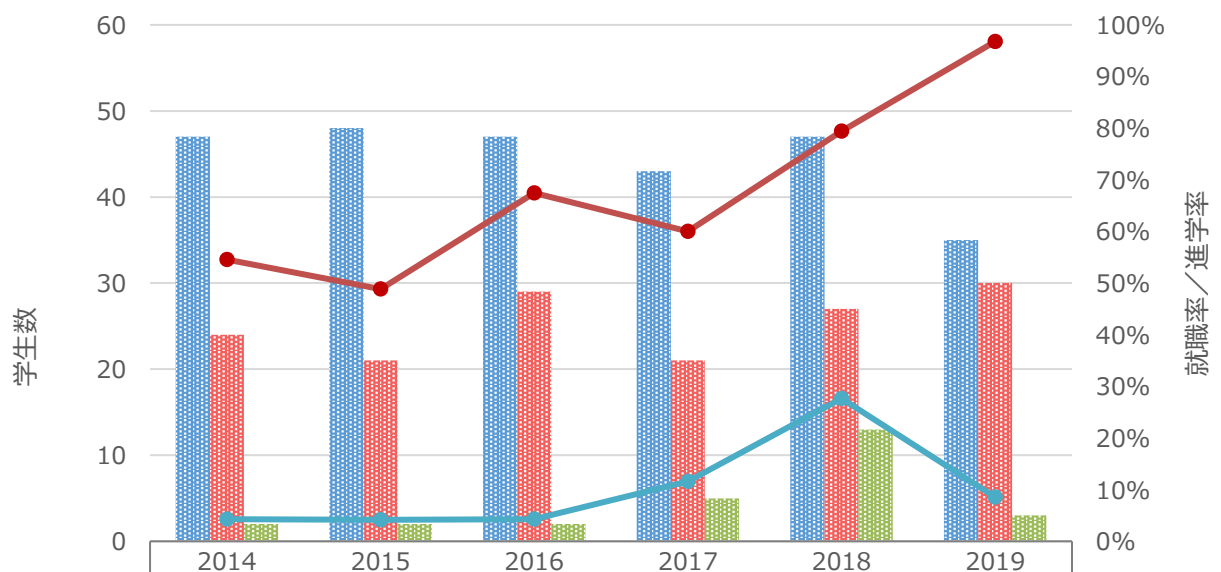
就職者：医学部・歯学部においては国家試験に合格し、かつ臨床研修医・臨床研修歯科医として勤務先が確定した者
 薬学部においては国家試験に合格し、かつ薬剤師として就職した者（大学院進学者を兼ねるものを含めない）
 大学院進学者：卒業者のうち、大学院に進学した者（臨床研修医を兼ねる者を含む）

医学部



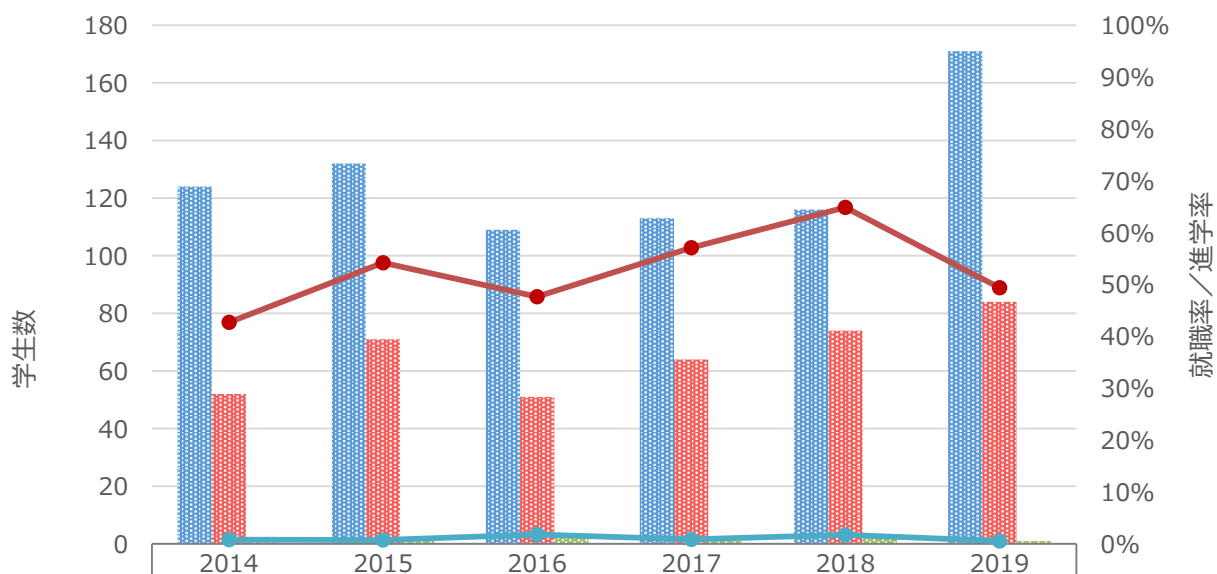
卒業生	104	113	118	132	133	110
就職者	70	81	80	89	98	95
大学院進学者	25	16	17	18	10	10
就職率	88.6%	83.5%	79.2%	78.1%	79.7%	95.0%
進学率	24.0%	14.2%	14.4%	13.6%	7.5%	9.1%

歯学部



卒業生	47	48	47	43	47	35
就職者	24	21	29	21	27	30
大学院進学者	2	2	2	5	13	3
就職率	54.5%	48.8%	67.4%	60.0%	79.4%	96.8%
進学率	4.3%	4.2%	4.3%	11.6%	27.7%	8.6%

薬学部



	2014	2015	2016	2017	2018	2019
卒業生	124	132	109	113	116	171
就職者	52	71	51	64	74	84
大学院進学者	1	1	2	1	2	1
就職率	42.7%	54.2%	47.7%	57.1%	64.9%	49.4%
進学率	0.8%	0.8%	1.8%	0.9%	1.7%	0.6%

4-3 国家試験合格率推移

出典：厚生労働省ホームページ 資格・試験情報

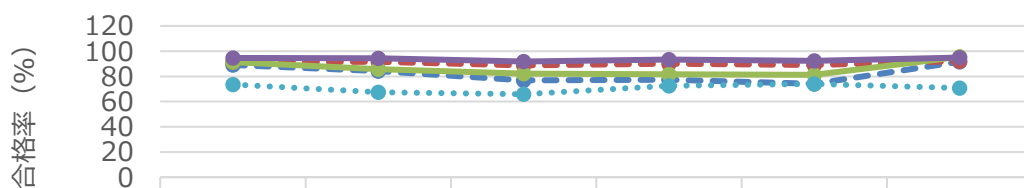
https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shikaku_shiken/

全体：既卒者を含めた大学卒業生全体の合格率（点線表示）

新卒：各年度における新卒者のみの合格率（実線表示）

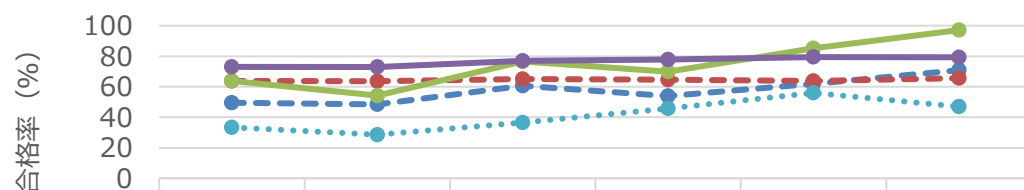
修業年限内での国試合格率：入学時の学生数を分母とした場合の修業年限内で卒業した学生の国試合格率（破線）

医師国家試験合格率推移



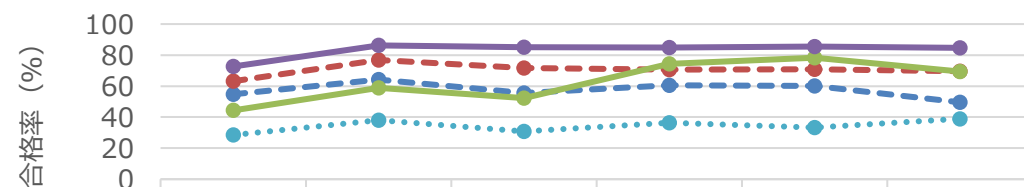
	2014 109回	2015 110回	2016 111回	2017 112回	2018 113回	2019 114回
岩手医科大学（全体）	88.9	84.3	76.8	77.3	74.1	91.6
全国平均（全体）	91.2	91.5	88.7	90.1	89	92.1
岩手医科大学（新卒）	91.3	85.8	82.2	81.7	81.2	95.5
全国平均（新卒）	94.5	94.3	91.8	93.3	92.4	94.9
修業年限内での国試合格率	73.6	67.5	65.8	72.5	74.0	70.7

歯科医師国家試験合格率推移

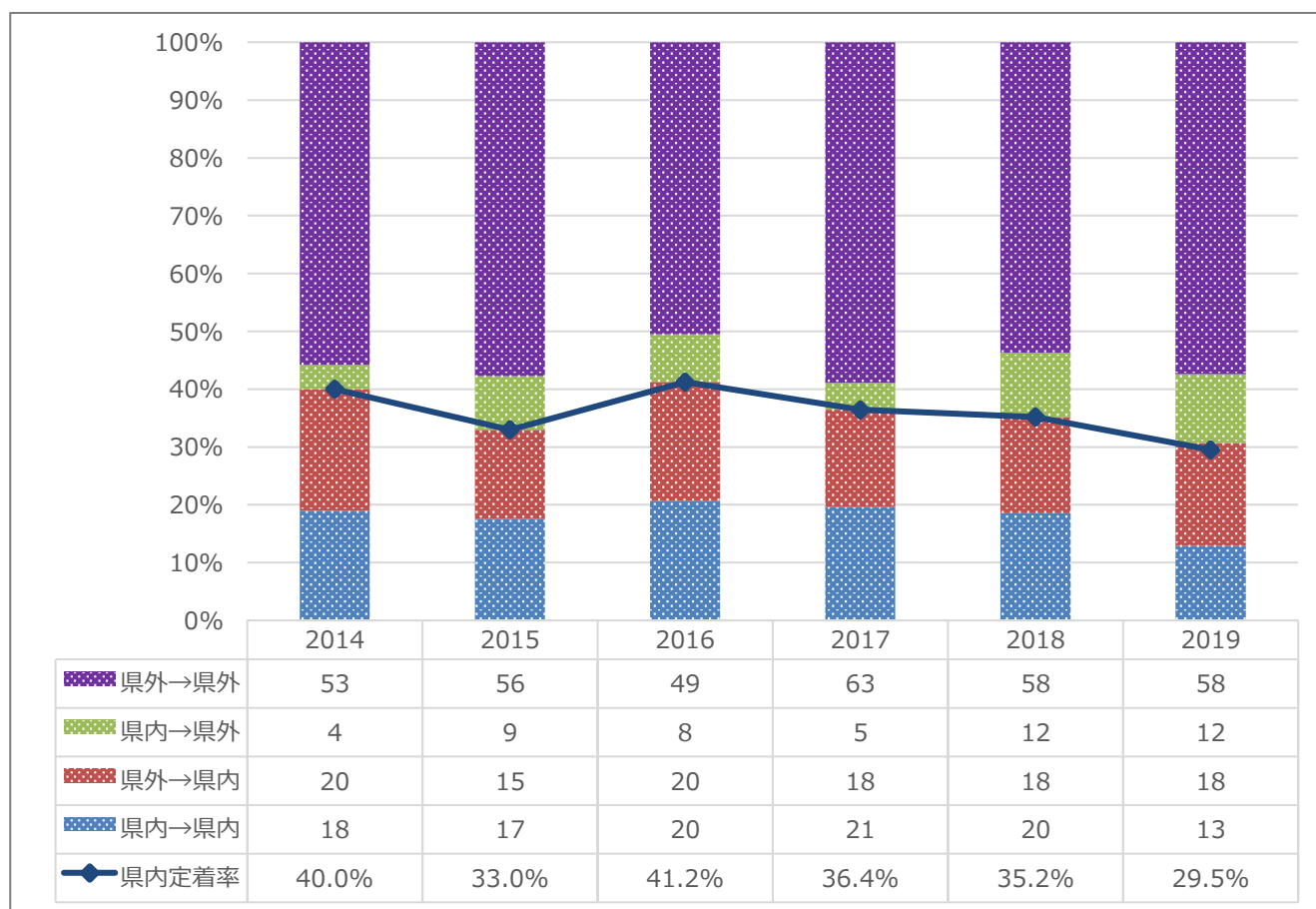


	2014 108回	2015 109回	2016 110回	2017 111回	2018 112回	2019 113回
岩手医科大学（全体）	49.5	48.4	60.6	53.8	61.9	70.8
全国平均（全体）	63.8	63.6	65	64.5	63.7	65.6
岩手医科大学（新卒）	63.8	54.2	76.6	69.8	85.1	97.1
全国平均（新卒）	73	72.9	76.9	77.9	79.4	79.3
修業年限内での国試合格率	33.3	28.6	36.5	45.7	55.9	47.1

薬剤師国家試験合格率推移

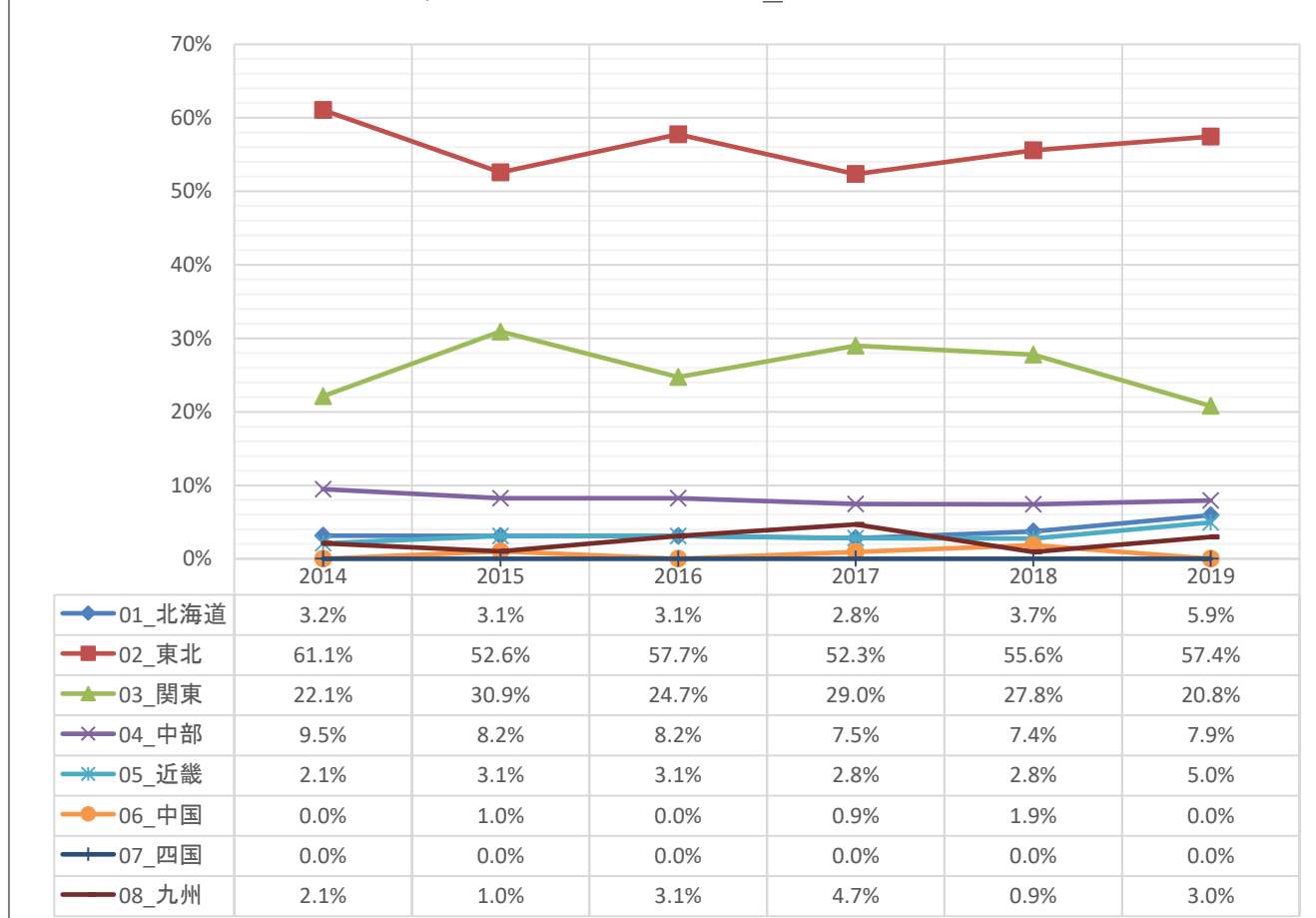


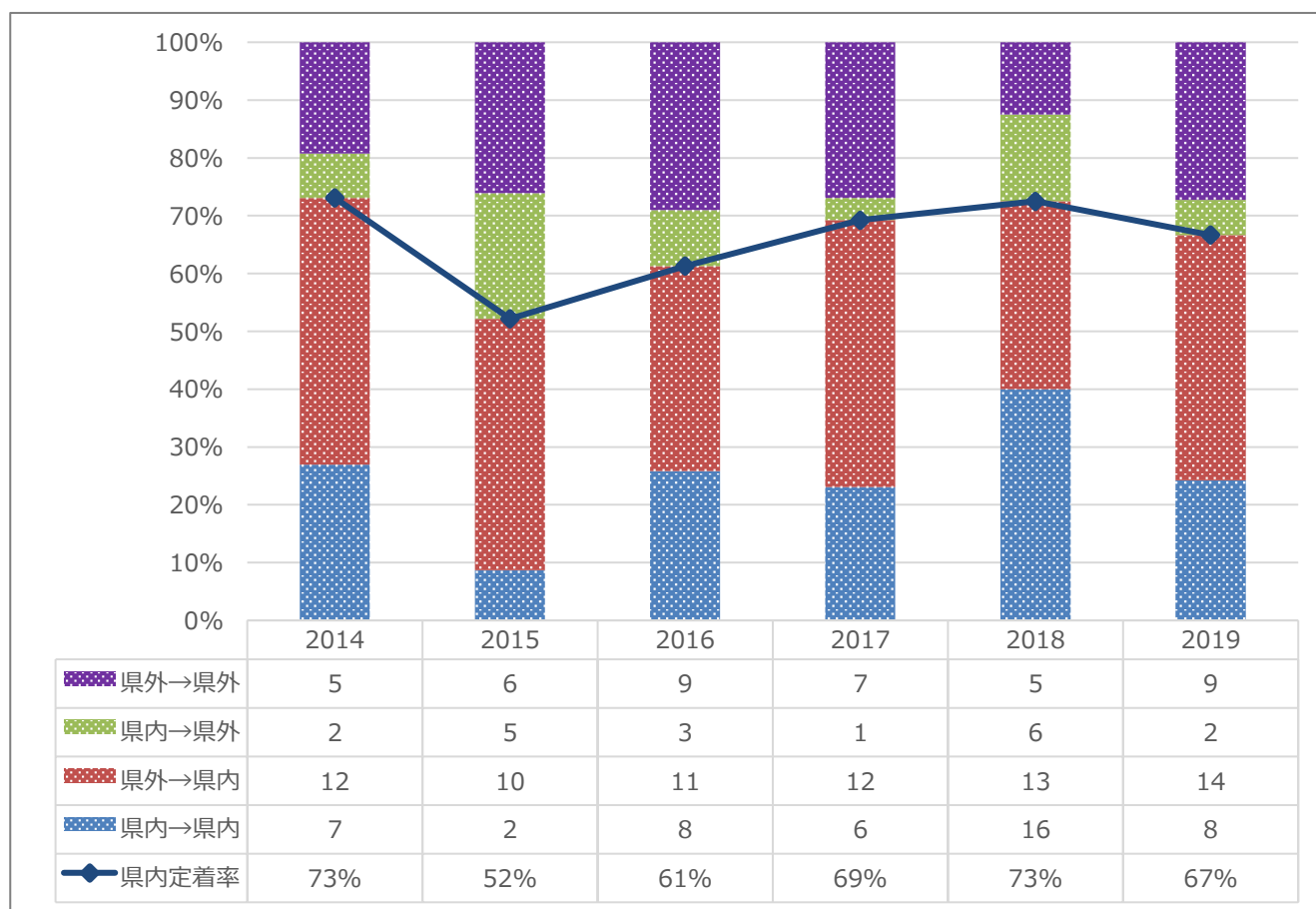
	2014 100回	2015 101回	2016 102回	2017 103回	2018 104回	2019 105回
岩手医科大学（全体）	54.7	64.2	55.5	60.4	60.22	49.57
全国平均（全体）	63.2	76.9	71.6	70.6	70.91	69.58
岩手医科大学（新卒）	44.4	58.9	52.3	74.4	78.31	69.37
全国平均（新卒）	72.7	86.2	85.1	84.9	85.5	84.78
修業年限内での国試合格率	28.5	38.0	30.7	36.5	33.3	38.9



※凡例は「出身高校の所在する県→臨床研修先の病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

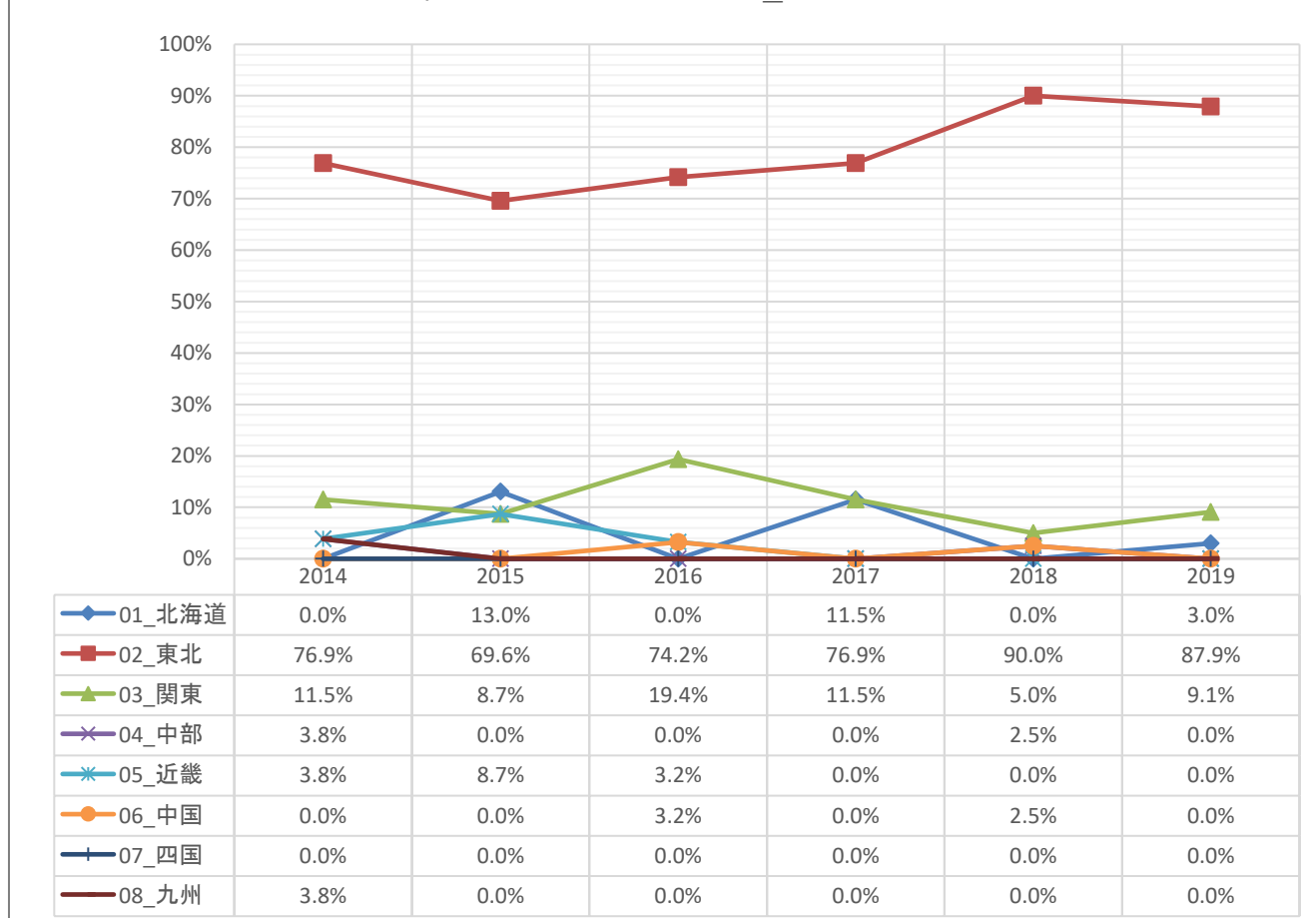
卒業後臨床実習先所在地_地方別割合

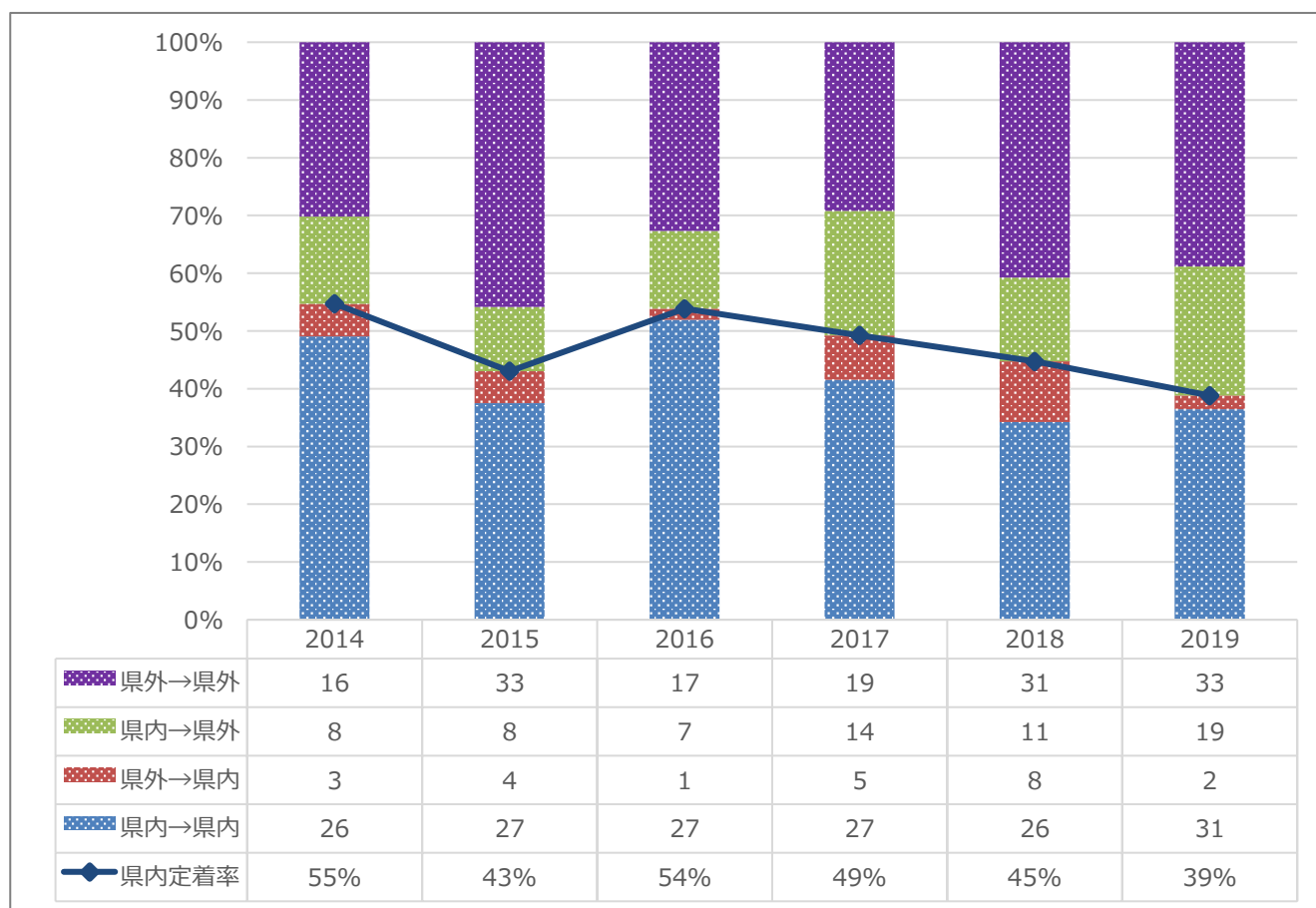




※凡例は「出身高校の所在する県→臨床研修先の病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

卒業後臨床実習先所在地_地方別割合





※凡例は「出身高校の所在する県→就職先企業、病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

卒業後就職先所在地_地方別割合

